

平成27年度

事業報告書

目 次

事業の総括	1
事業実施概要	
基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう	3
基本目標Ⅱ みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう	7
基本目標Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、福祉のネットワークをつくろう	10
基本目標Ⅳ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	13
推進基盤の強化	17
常設委員会の実施	18
北九州市社協創設50周年記念関連事業の実施	19
事業別実施内容	
総務部関連	
会務運営	21
民間社会福祉施設整備資金貸付事業	22
民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業	22
広報誌の発行事業	23
収益事業	23
施設部関連	
ウェルとばた運営事業	25
地域福祉部関連	
住民による地域づくり事業	29
地域相談支援事業	38
北九州市社会福祉大会（北九州市社協50周年記念事業）	41
生活福祉資金	42
民間社会福祉事業従事者共済事業	43
各施設協議会等との連携	45
民生委員互助共励事業	46
心配ごと相談所事業	47
生活困窮者自立相談支援事業	49
福祉人材バンク運営事業	55
認知症サポーターキャラバン事業	58
介護サービス相談員派遣事業	61
高齢者見守りサポーター派遣事業	65
高齢者地域交流支援通所事業	68
健康マイレージ事業	73
権利擁護・市民後見センター関連	
地域福祉権利擁護事業	79
法人後見事業	84
社会貢献型市民後見人養成事業	87
ボランティア・市民活動センター関連	
ボランティア振興事業	90
社会福祉ボランティア大学校事業	101
北九州シニアネットワークアカデミー関連	
北九州シニアネットワークアカデミー事業	105
1 周望学舎事業	105
2 穴生学舎・穴生ドーム事業	114
3 地域活動情報支援センター	124
全部署共通	
常設委員会	127

事業実施概要

事業の総括

本会は、北九州市地域福祉活動第四次計画「住民ふくしの元気プラン」に基づき、住民一人ひとりが安心して生き生きと暮らすまちづくりを目指し、さまざまな福祉課題の解決に取り組みました。

今年度は、既存の事業に加え、生活保護に至る前の生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援する「生活困窮者自立相談支援事業」と地域包括ケアシステムの構築に向けて地域の見守り・支え合い活動を強化する「地域相談支援事業」を北九州市から受託し、地域の多様化する生活・福祉課題の解決に取り組みました。

「健康マイレージ事業」においては、社協のネットワークを最大限活用することにより、市の目標値である応募者 25,000 人を達成し、平成 27 年度は 27,104 人の応募がありました。住民の生涯を通じた健康づくりの推進に大きく貢献するとともに、小地域福祉活動の活性化にもつなげることができました。

「認知症サポーターキャラバン事業」においては、市の目標値である応募者 8,000 人を上回る 8,981 人の応募があり、認知症サポーターが累計 64,922 人に増加しました。市民一人ひとりが、認知症を正しく理解し、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めました。

また、市内で災害が発生した際に、災害ボランティア活動や被災者支援を効率的かつ効果的に行うことができるよう「災害時相互協力協定」を 3 つの団体と締結し、災害ボランティアセンターの運営に関すること等について協議する場を整備しました。

あわせて、平成 26 年度に引き続き、「災害ボランティアセンターの設置・運営訓練」を実施し、センターの設置や被災者支援の技術の蓄積に努めました。

さらに、本会創設 50 周年を記念して、各種事業の実施や創設 50 周年記念誌の発行等を行いました。

本会を取り巻く環境は、福祉課題の多様化や緊縮する財政事情など、依然として厳しい状況にありますが、今後も多くの関係機関・団体と緊密に連携するとともに、3 月に策定した平成 28 年度から 32 年度までの 5 ヶ年計画である北九州市地域福祉活動第五次計画「住民ふくしの元気プラン 2016～2020」に基づき、地域福祉活動の充実強化を図り、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の推進に努めてまいります。

北九州市地域福祉活動第四次計画 「基本目標」と「実施項目」

基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう

- 1 広報・啓発の強化
- 2 福祉教育の推進
- 3 地域福祉人材の育成

基本目標Ⅱ みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう

- 1 小地域福祉活動の活性化
- 2 ボランティア・市民活動の支援
- 3 災害時の福祉救援体制づくり

基本目標Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、福祉のネットワークをつくろう

- 1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整
- 2 共同募金会との連携
- 3 小地域福祉活動計画の推進

基本目標Ⅳ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

- 1 権利の擁護と相談体制の充実
- 2 社会参加・自立の支援
- 3 調査・研究・提言

推進基盤の強化

常設委員会の実施

市社協創設50周年記念関連事業の実施

平成27年度 事業報告

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めるためには、地域社会の福祉課題を住民一人ひとりが理解・共有すること、また、課題を抱える当事者とともに、住民がみんなで解決に動き出せる仕組みづくりが必要です。

そのため、様々な手段により福祉の風土の醸成を図るとともに、一人でも多くの住民の関心を高めることができるよう地域の福祉活動に積極的に参加できる人材の育成に努めました。

目標達成のための取り組み

1 広報・啓発の強化

(1) 広報紙・パンフレット・ガイドブック等の発行、活用

- ・テレビや新聞等のマスメディアの積極的な活用 <全部署>
- ・広報紙の発行 <総務課・施設部・活動推進課・研修課・周望・穴生>
（「きたきゅうしゅう市協だより」：年4回 172,000部）
（「ウェル新聞」：年12回）
（「周望学舎新聞」：年1回、「周望かわら版」：年3回）
（「穴生学舎新聞」：年1回、「穴生かわら版」：年3回）
- ・校(地)区社協活動先進事例集・手引き等の活用 <地域支援課>
- ・ボランティアガイドブック「ボランティアというカタチ」の発行(3,000部)
<活動推進課>
- ・研修パンフレット「やさしさの広がるまちづくり」の発行(4,500部)
<研修課>
- ・ハローワーク、市民センター、各種学校、市内の店舗、JR駅への就職面談会等のチラシ・ポスターの掲示 <福祉人材バンク>
- ・新聞や折込広告等の有料広告の活用 <福祉人材バンク・周望・穴生>
（福祉人材バンク：新聞広告等(873,500部)）
（周望・穴生：新聞広告(2/1朝刊：朝日、読売、毎日)）
- ・北九州穴生ドームの利用情報の提供(年12回) <穴生>
- ・年長者研修大学の講座や高齢者ボランティア情報の提供 <周望・穴生>
（市政だよりにシニアカレッジ、年長者と孫のつどい、講座等掲載44回）

- ・次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ)活動紹介資料の活用
＜地域支援課＞

(2) 啓発イベント等の実施

- ・市社協創設 50 周年記念社会福祉大会（表彰記念式典・記念講演会・福祉ボランティア劇）の実施
＜全部署＞
- ・各種イベント等での「プチボザウルス」着ぐるみの活用（26 回）
＜総務課＞
- ・物品販売による広報・啓発
＜財務企画課・地域支援課＞
（Tシャツ 440 枚、エプロン 58 枚、ポロシャツ 123 枚の販売）
（まちづくりクッキー販売 692 箱）
- ・市社協創設 50 周年記念市民ふれあいフェスティバルの開催
＜活動推進課＞
（参加者 4,955 人）
- ・高齢者の生涯学習参加啓発講座の実施（30 コース）
＜周望・穴生＞

(3) ホームページによる地域福祉関連情報の発信

- ・ホームページのタイムリーで効果的な情報更新
＜全部署＞
（アクセス数：109,791 件）
- ・「ウェルとばた」ホームページを活用した情報発信（随時）
＜施設部＞
（ユーザー数：47,727 名、アクセス数：76,229 件、ページ閲覧数：471,687 ページ）
- ・健康マイレージブログを活用した情報発信（31 件）
＜生活福祉課＞
- ・ホームページによる校(地)区社協活動の紹介
＜地域支援課＞
（新規作成 20 校(地)区）
- ・地域福祉権利擁護事業、法人後見事業の周知及び広報（年 2 回更新）
＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・北九州シニアネットワークアカデミー事業の情報発信
＜周望・穴生＞
（周望学舎職員ブログ「周望の丘から」：年 35 件）
（「穴生学舎つれづれ日記」：年 31 件）

(4) 出前講演活動の実施

- ・関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施
＜全部署＞
（76 回、参加者 3,371 人）
- ・校(地)区社協主催の住民福祉講演会の開催促進
＜地域支援課＞
- ・健康モデル都市を目指した穴生ドーム職員によるニュースポーツ出前講座
＜穴生＞

(5) 各種事業を通じた広報啓発の取り組み

- ・ウェルとばたにおける映画上映を通じた福祉課題の情報発信
＜施設部＞
（1 回、84 人）

- ・視察等の積極的な受け入れによる地域福祉活動拠点機能のPR <施設部>
(5回、123人)
- ・年長者研修大学校での短期自主講座の開催(年33講座) <周望・穴生>
- ・大学と連携したシニアカレッジを開催 <周望・穴生>
(周望:3回、156人 穴生:2回、93人)

2 福祉教育の推進

(1) 子どもを対象とした福祉教育

①地域住民主導の福祉教育

- ・校(地)区社協・学校と連携した次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ活動等)の効果的推進(35校(地)区、参加児童798人) <地域支援課>
- ・夏ボランティア体験学習の実施(2コース、2,342人) <活動推進課>
- ・世代を超えた伝承活動、世代間ふれあい交流会の実施 <周望・穴生>
(周望:18回、245人 穴生:3回、253人)
- ・世代間交流として幼稚園・小学校・中学校・福祉施設を対象にニュースポーツの体験事業の実施(年1回、7,252人) <穴生>
- ・「年長者と孫のつどい」、「シニアと孫の夏休み」での世代間交流、文化伝承
(周望:45人 穴生:30人) <周望・穴生>

②学校等と連携した福祉教育 <活動推進課>

- ・小地域や小・中学校を基盤とした福祉体験・ボランティア学習の支援
(5,020人)

(2) 市民を対象とした福祉教育

①住民啓発講座等による福祉教育

- ・認知症サポーターキャラバン事業の実施 <生活福祉課>
(登録サポーター累計64,922人、登録メイト累計391人)
- ・社会福祉施設及び市民センターにおける体験学習の実施 <周望・穴生>
(周望:12回 穴生:4回)

②年長者研修大学校による福祉教育 <周望・穴生>

- ・年間コースの共通科目としての福祉教育の充実(年間30コース)
- ・校(地)区社協、福祉施設等における現地活動体験
(周望:12回、220人 穴生:4回、73人)
- ・留学生との交流事業の実施(周望:1回、25人 穴生:4回、98人)

3 地域福祉人材の育成

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- ・介護支援ボランティア事業における新規活動者研修会の実施
(年21回、243人) <活動推進課>
- ・まちづくりのためのセミナー・講座の実施 <研修課>
(8回、26日、998人)

- ・年長者研修大学校修了生等の地域福祉活動への参加啓発 <周望・穴生>
- ・地域活動情報センターでの地域福祉活動人材育成、コーディネート、活動情報収集・発信、地域活動の支援、研修修了後の活動支援（年 447 件）
<周望・穴生>

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

- ・校(地)区社協及び地区民児協と連携した研修事業の実施 <地域支援課>
- ・校(地)区社協単位で実施する新任者、現任者及び役員の育成 <研修課>
(19 回、23 日、1,953 人)
- ・地域活動を目指すコース研修生と地域活動者との交流事業の実施
(周望：2 回、59 人 穴生：2 回、33 人) <周望・穴生>
- ・学舎ボランティアグループの活動支援 <周望・穴生>
(周望：活動回数 1,242 回、活動者数延べ 5,249 人)
(穴生：活動回数 1,669 回、活動者数延べ 7,589 人)

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

- ・入門者向け、活動者向け、リーダー向け研修・講座の実施
(9 回、14 日、306 人) <研修課>
- ・高齢者を人生キャリアのあるエイジレスタレントとして育成し、その活動を支援（講師活用、学舎の施設ボランティア採用） <周望・穴生>
- ・シルバーバンク、高齢者ボランティアグループ等の活性化と活動支援
<周望・穴生>
- ・パソコン講座の補助ボランティアとしての「パソコンボランティア」の育成
(周望：11 人 穴生：17 人) <周望・穴生>
- ・健康ボランティアの養成（年 58 回、417 人） <周望>

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の養成

- ・民間社会福祉施設従事者を対象とした職場のメンタルヘルス研修会の実施
(1 回、43 人) <地域支援課・福祉人材バンク>
- ・ボランティア紹介・登録、調整など実際の活動への支援の強化 <活動推進課>
- ・企業のための社会貢献活動セミナーの実施（1 回、1 日、30 人） <研修課>

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

- ・管理者向け研修・講座の実施（1 回、1 日、32 人） <研修課>

基本目標 Ⅱ みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう

地域社会の福祉課題の解決のためには、それぞれの地域においてあらゆる社会福祉関係者ととともに、幅広い住民が地域の福祉活動へ参加することが必要です。

このため、支援を必要としている人たちのニーズを把握し、支援を必要としている人がその課題解決に向かえるよう、幅広い関係者と支援の輪をつくり、住民の主体的参加による福祉活動に取り組みました。

目標達成のための取り組み

1 小地域福祉活動の活性化

- (1) 「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化 ＜地域支援課＞
- ・「ふれあいネットワーク活動推進事業」（基本事業）の充実・強化（154校(地区)）
 - ・地域相談支援事業と連携した地域支援コーディネート機能の強化（地域支援コーディネーター7名配置、会議等出席1,215回）
 - ・個人情報の共有による小地域福祉活動の推進（個人情報の手引きの活用）
 - ・平成27年度高齢者のサロン事業実態調査報告書兼事例集の発行（2,000部）
 - ・実績報告・中間報告・第三者評価等のしくみを活かした課題整理
 - ・校(地区)社協の機能・役割の周知
 - ・校(地区)社協と福祉関係者（民生委員・児童委員・いのちをつなぐネットワーク担当係長等行政・福祉施設職員等）やNPO・市民活動団体との連携強化・情報の共有
 - ・福祉のまちづくりモデル事業の実施（小倉北区・八幡西区：各1校区）
- (2) 校(地区)社会福祉協議会活動メニュー事業Ⅰの実施 ＜地域支援課＞
- ・校(地区)社協の課題に対応したメニュー事業の実施
 - ・地域支援コーディネートによる高齢者のサロン事業の推進（104校(地区)）
 - ・校(地区)社協・学校と連携した次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動等）の効果的推進（35校(地区)区、参加児童798人）【再掲】
 - ・次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ）活動紹介資料等の活用【再掲】
 - ・校(地区)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進（2校(地区)区）
（小地域福祉活動計画策定研修「ふくしプランニング工房」：3回、2校(地区)区、延べ51人）

- (3) テーマ型ボランティア・市民活動団体との協働
- ・校(地)区社協とテーマ型ボランティア・市民活動団体の協働の推進 <活動推進課>
 - ・中間支援組織間の連絡会の開催(6回) <活動推進課>
 - ・健康と福祉のまちづくり事業の支援(穴生ドーム早朝開放 11,466人) <穴生>
 - ・年長者研修大学校修了生の小地域福祉活動への参加促進 <周望・穴生>
 - ・「ふれあいいきいきサロン」の実施(年22回、1,583人) <穴生>
 - ・高齢者による子育て活動への支援 <周望・穴生>
(子育て支援研修 周望:1件、30人)
(昔遊びの指導等による世代間交流 周望:18件、245人 穴生:3件、253人)
 - ・健康づくり活動支援としてニュースポーツ出前講座(年73回、1,760人)【再掲】 <穴生>
- (4) 校(地)区社会福祉協議会会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の開催 <地域支援課>
- ・校(地)区社協会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の定期的な開催の支援

2 ボランティア・市民活動の支援

- (1) ボランティア・市民活動への支援
- ・各種基金助成金等の情報提供、申請協力による活動支援 <財務企画課>
(情報提供:18件 申請協力:1件)
 - ・ウェルとばたの管理運営事業を活用した、ボランティア活動の場や市民活動発表の場の提供(随時) <施設部>
 - ・施設を有効活用した市民参加型のにぎわい創出事業の実施(随時) <施設部>
 - ・ボランティア活動保険加入助成(活動者助成:22,722人) <活動推進課>
 - ・研修参加支援(参加助成1名) <活動推進課>
 - ・活動相談・情報提供機能の充実 <活動推進課>
 - ・福祉体験教材の貸与 <活動推進課>
 - ・年長者研修大学校の地域開放事業等の実施 <周望・穴生>
(周望:1,300人 穴生:9,595人)
- (2) ボランティア・市民活動ネットワークの構築
- ・区を横断する市域のボランティア・市民活動団体ネットワーク構築の推進 <活動推進課>
 - ・中間支援組織間の連絡会の開催(6回)【再掲】 <活動推進課>
 - ・コーディネーターの連絡機関組織化の推進 <活動推進課>
 - ・区域におけるボランティア機関・団体との連携 <周望・穴生>
 - ・北九州シニアネットワークアカデミー機能の活用 <周望・穴生>

- ・年長者研修大学校ボランティア指導員の登用 (周望・穴生)
(周望：8人、穴生：6人)

3 災害時の福祉救援体制づくり

(1) 災害時の福祉救援体制づくり

- ・民生委員・児童委員と連携した福祉救援活動への取り組み推進 <地域支援課>
- ・ウエルとばた入居団体との災害時支援体制づくり <施設部>
- ・ウエルとばた入居団体・近隣事業所との戸畑駅前地区防災相互応援協定に基づく総合防災訓練(年2回、295人) <施設部>
- ・緊急速報メールを活用した全市民参加型防災訓練に参加 <施設部>
(年1回、9月：140人)
- ・校(地)区社協機能を活用した災害時の福祉救援体制づくりの推進 <地域支援課>
(メニュー事業Ⅱ：28校(地)区)
- ・私にもできる災害ボランティア入門講座の実施(1回、1日、28人) <研修課>
- ・災害ボランティア・フォローアップ研修の実施(1回、1日、28人) <研修課>
- ・年長者研修大学校研修生に対する救急救命講習の実施による防災意識の推進 <周望>
(周望：5回、481人)
- ・防火・防災訓練の実施(周望：2回 穴生：2回) <周望・穴生>
- ・災害時の災害ボランティアセンターとの連携及び支援 <周望・穴生>
- ・周望学舎の宿泊施設及び穴生ドームを予定避難所として活用するための体制づくり <周望・穴生>

(2) 災害時ボランティアセンター設置に向けた体制整備

- ・北九州市防災会議への参画 <総務課・地域支援課>
- ・災害時相互協力協定の締結(3団体) <活動推進課>
- ・区を拠点とした市・区社協協働による災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施(2区、144人) <活動推進課>
- ・災害ボランティアに関する情報提供 <活動推進課>
(災害関連情報の定期提供)

(3) 災害への対応

- ・災害時のボランティアコーディネーションの検討 <活動推進課>

基本目標 Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、 福祉のネットワークをつくろう

市民の価値観や生活様式の多様化によって、地域の福祉課題についても複雑化し、いくつかの課題を同時に抱える場合もあります。

そのため、保健、医療、福祉等の関係機関・団体との連携を強め、総合的に課題の解決に取り組みました。

目標達成のための取り組み

1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整

- (1) 民生委員・児童委員との連携 ＜地域支援課＞
- ・ 民生委員・児童委員と福祉協力員等との地域情報共有化による小地域福祉活動の円滑な連携の推進
 - ・ 市民生委員児童委員協議会事務局の運営
(会議：30回、研修会：5回、大会：1回)
 - ・ 各区民生委員児童委員協議会との連携
 - ・ 民生委員互助共励事業の実施による民生委員・児童委員活動の充実と推進
(弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業の実施：2地区民児協、活動振興事業の実施：1地区民児協)
 - ・ 「個人情報保護を正しく理解し共助の力を高めるために！民生委員や福祉協力員等の個人情報の取り扱い」冊子の活用【再掲】
 - ・ 九州ブロック民生委員・児童委員関係事業会議の開催（89人）
- (2) 専門職等の参加による連絡調整会議の充実
- ・ 地域包括支援センター派遣職員と地域福祉活動者との協力体制づくり
(統括・地域包括支援センター：14名、予防給付ケアマネジャー：9名)
＜総務課＞
 - ・ 校(地)区社協連絡調整会議の定例化及び活性化 ＜地域支援課＞
(全市で延べ1,340回)
- (3) 社会福祉関係機関・団体による地域の福祉課題の啓発活動 ＜周望・穴生＞
- ・ 地域活動者との交流授業の実施
(周望：2回、59人 穴生：4回、98人)
 - ・ 校(地)区社協及び福祉施設等における現地活動体験
(周望：12回、220人 穴生：4回、73人)

- (4) 各施設協議会等との連携
- ・社会福祉施設協議会連絡会の開催（年3回） <地域支援課>
 - ・第58回大都市社会福祉施設協議会（京都市）大会への参加 <地域支援課>
 - ・ウェルとばた入居団体との協議体制構築の推進（連絡会3回） <施設部>
- (5) 福祉の職場の就労斡旋
- ・潜在的有資格者就労支援事業「介護有資格者向け就労支援セミナー」の開催（2回、28人） <福祉人材バンク>
 - ・「福祉のしごと 合同就職面談会 in 北九州」の開催 <福祉人材バンク>
（2回 求人101施設、求人356件917人、求職者161人、採用16人）
 - ・社会福祉施設等との情報交換による求人の開拓 <福祉人材バンク>
（求人数902件 2,284人、採用者数24人）
 - ・求職登録者への定期的な求人情報の提供（1,016件、1,032人） <福祉人材バンク>
 - ・求人登録事業者への求職者情報の提供 <福祉人材バンク>
（福祉人材情報システム「COOLシステム」の活用）
 - ・福祉サービス事業従事者が安全・安心に労働できる職場環境整備の推進
（メンタルヘルス研修：1回、43人） <地域支援課・福祉人材バンク>
 - ・福岡労働局、ハローワーク等他の雇用施策事業所との連携 <福祉人材バンク>
 - ・年長者研修大学校修了生等の活動拠点の確保 <周望・穴生>
- (6) 社会福祉施設・団体への支援
- ・民間社会福祉事業従事者共済事業の実施 <地域支援課>
（加入：213施設、4,674人）
 - ・民間社会福祉事業従事者共済事業担当者研修会の実施 <地域支援課>
（メンタルヘルス研修：1回、43人）
 - ・各社会福祉施設協議会等への福祉情報提供や行事への参加 <地域支援課>
（保育所連盟行事、児童養護施設協議会施設長会等への参加）
 - ・民間社会福祉施設整備資金貸付事業の実施 <財務企画課>
 - ・スポーツ観戦招待シートの招待施設等への斡旋及び提供 <財務企画課>
 - ・社会福祉施設・団体を対象とした地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施（年1回、15人） <権利擁護・市民後見センター>
 - ・他団体等からの視察の受入（年4回、視察者27人）
 - ・地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加 <権利擁護・市民後見センター>

2 共同募金会との連携

- (1) 共同募金会各区支会連絡協議会業務の活性化 <財務企画課>
- ・福岡県共同募金配分委員会への参画
 - ・福岡県共同募金推進委員会への参画

- (2) 共同募金の広報活動推進強化 ＜財務企画課＞
- ・共同募金運動物品販売への協力
 - ・ウェルとばたを活用した共同募金啓発パネル展の実施及び募金箱の設置
 - ・歳末たすけあい募金運動への協力

3 小地域福祉活動計画の推進

- (1) 校(地)区単位の小地域活動計画づくりの推進 ＜地域支援課＞
- ・校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進 (2校(地)区)【再掲】
 - ・小地域福祉活動計画策定の手引きの活用
 - ・小地域福祉活動計画策定研修(ふくしプランニング工房)の開催
(小地域福祉活動計画策定研修「ふくしプランニング工房」:3回、2校(地)区、延べ51人)

基本目標 IV 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

誰もが地域の中で生き生きと自立した生活ができるよう、住民と関係機関・団体との連携のもとで、プライバシーに配慮しながら、支援を必要としている人に対する活動を行っています。

また、住民の日常生活上のニーズを把握し、住民の生活感覚に沿った提言を行い、新しい活動の仕組みづくりに取り組みました。

目標達成のための取り組み

1 権利の擁護と相談体制の充実

- (1) 地域福祉権利擁護・法人後見事業の充実 <権利擁護・市民後見センター>
- (平成 27 年度末 地域福祉権利擁護事業 実契約者数 286 人)
 - (平成 27 年度末 法人後見事業 成年後見人等受任数 47 人)
 - ・出前講演等による事業の周知
 - (校(地)区社協等への出前講演：年 16 回、参加者 691 人)
 - ・他団体等からの視察の受入(年 4 回、視察者 27 人)【再掲】
 - ・他都市が開催する研修会等への講師派遣(年 4 回、参加者 679 人)
 - ・成年後見センター「みると」と連携した総合相談機能の強化(相談：675 件)
 - ・地域包括支援センター等と連携した被虐待者への対応
 - ・関係団体との連携による効果的かつ効率的なサービスの実施(行政、介護事業所、障害者支援団体、ホームレス支援団体等)
 - (金銭管理サービス総回数：4,856 回、生活支援サービス総回数：9,006 回、財産保管サービス回数：103 回)
 - ・専門機関との連携による法人後見事業の円滑な遂行(家庭裁判所、成年後見センター「みると」、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等)
 - (法人後見事業活動総回数：1,441 回)
 - ・職員のスキルアップと専門知識の習得
 - (専門員、支援員合同研修会の実施：年 2 回、78 人)
 - (ブロック会議の実施：年 1 回、40 人)
 - ・地域福祉権利擁護事業利用者の成年後見制度への移行支援(移行件数：5 件)
 - ・市民後見人養成研修の実施と市民後見人として個人で選任される仕組みづくりの検討
 - (実務研修：計 8.5 日間[座学：5.5 日間、施設実習：2 日間、同行実習：0.5 日間、家庭裁判所見学：0.5 日間])
 - (市民後見人の個人受任に向けた検討会：年 10 回)

- (2) 要支援者への情報提供や相談機関等の紹介
- ・各区社協における心配ごと相談所の運営 <地域支援課>
(相談件数：774件〈内訳：解決228件、他機関紹介339件、その他207件〉)
 - ・心配ごと相談員研修会の開催(1回、147人) <地域支援課>
 - ・生活福祉資金相談コーナーでの相談受付 <地域支援課>
(窓口等相談件数：2,418件、教育支援資金制度説明会開催：2回)
 - ・小地域福祉活動を活用した見守り対象者への情報提供 <地域支援課>
(23,706世帯、208,964回)
 - ・地域福祉権利擁護事業利用者への生活支援サービスによる情報提供や苦情申立ての支援 <権利擁護・市民後見センター>
(生活支援サービス総回数：9,006回)
- (3) 社会福祉施設と連携した相談体制の充実
- ・介護サービス相談員派遣事業の実施(120事業所、延べ1,552回派遣) <地域支援課>
 - ・社会福祉施設・団体を対象とした地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施(年1回、15人) <権利擁護・市民後見センター>
(他団体等からの視察の受入：年4回、視察者27人)【再掲】
 - ・地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加【再掲】 <権利擁護・市民後見センター>
 - ・求人、求職に対する相談と情報把握の充実 <福祉人材バンク>
(求人相談：4,594件 求職相談：728件)
 - ・年長者研修大学校による権利擁護事業の理解の促進と福祉サービス等情報の提供(周望：28回、904人 穴生：6回、170人) <周望・穴生>

2 社会参加・自立の支援

- (1) サロン事業の推進 <地域支援課>
- ・地域支援コーディネートによる高齢者のサロン事業実態調査
 - ・サロン活動の手引きを活用した活動の充実
 - ・社協のすすめるサロン活動セミナーの開催(1回、247人)
- (2) 高齢者・障害のある人、母子・父子家庭等への支援(生きがい・健康づくり等)
- ・高齢者見守りサポーター派遣事業の実施(延べ394回派遣) <生活福祉課>
 - ・高齢者地域交流支援通所事業(地域交流型デイサービス)の実施 <生活福祉課>
(市民センター50箇所、週2回、実施日数4,688日、延べ53,765人利用)
 - ・健康マイレージ事業の推進 <生活福祉課>
(事業登録件数：6,987件、事業説明件数：1,306回、応募者数：27,104人)
 - ・ウェルとばたの業務を活用した障害者の就労支援 <施設部>

- ・ 障害者優先調達促進法に基づく障害者の作品のイベントなどでの紹介 ＜施設部＞
 - ・ 特別支援学校、作業所と協力した福祉市場の開催 ＜施設部＞
 - ・ 交流プラザにおける周望学舎・穴生学舎合同作品展の実施 ＜周望・穴生＞
 - ・ 年長者研修大学校修了生の小地域福祉活動への参加促進【再掲】 ＜周望・穴生＞
 - ・ 健康ウォーキングの実施（年 13, 175 人） ＜穴生＞
 - ・ 健康モデル都市を目指した、穴生ドーム職員によるニュースポーツ出前講座（年 75 回、1, 760 人）【再掲】 ＜穴生＞
 - ・ 地域活動を目指すコースの実施 ＜周望・穴生＞
（周望：3 コース、106 人 穴生：3 コース、96 人）
 - ・ 高齢者の生涯学習に対する意識啓発と受講機会の拡大を図るための大学活用型校外授業の実施 ＜周望・穴生＞
（周望：3 回、156 人 穴生：2 回、93 人）
 - ・ 高齢者の社会参加活動支援のための場の提供（ボランティアグループ、研究クラブ、同好会、同窓会、夢追塾卒塾生） ＜周望・穴生＞
（周望：9, 395 人 穴生：9, 595 人）
 - ・ 高齢者の健康・体力づくり事業 ＜穴生＞
（スポーツ教室：年 2 回、482 人 スポーツ大会：年 5 回、899 人）
 - ・ 高齢者の健康づくりを支援する穴生ドームの早朝開放、ニュースポーツ開放デーの実施（早朝開放 11, 466 人、ニュースポーツ無料開放デー706 人） ＜穴生＞
 - ・ 高齢者の特性に合わせた自主講座の実施（811 人） ＜周望・穴生＞
- (3) 障害福祉サービス事業所等と連携した研修生の研修終了後の活動に向けた支援
- ・ 障害福祉サービス事業所の作成品の学舎大学祭での販売の実施 ＜穴生＞
（大学祭出店団体：4 団体）
- (4) ボランティア活動による在宅高齢者の支援 ＜活動推進課＞
- ・ シルバーひまわりサービス（送迎）事業（4, 762 件）
 - ・ 腕自慢おまかせサービス（70 件）
- (5) ボランティア活動による高齢者の社会参加の支援 ＜活動推進課＞
- ・ 高齢者いきがい活動ステーションによる活動機会の紹介(11, 428 件)
 - ・ 介護支援ボランティア事業の実施
（受入施設数：267 施設 ボランティア登録数：1, 608 人）
- (6) 生活福祉資金貸付制度の運用 ＜地域支援課＞
- ・ 生活福祉資金貸付制度の運用による自立の支援
（363 件、95, 748 千円）

- ・教育支援資金説明会の実施（年1回）
- ・生活困窮者自立相談支援コーナーとの連携

(7) 生活困窮者自立相談支援事業 ＜地域支援課＞

- ・生活困窮者の自立支援
（新規相談受付件数：1,412件、支援プラン策定件数：359件）
- ・相談支援員連絡会・研修への参加（延べ14回）
- ・関係機関・団体とのネットワークづくり（28団体）

3 調査・研究、提言

(1) 地域福祉活動のあり方に関する委員会の開催 ＜地域支援課＞

- ・総合企画委員会の開催（3回）
- ・総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画進捗状況の点検・評価及び計画の推進
- ・地域福祉を推進する多様な主体と連携・協働するための地域福祉活動第五次計画の策定（意見交換：25団体、意見聴取：62団体）

(2) 小地域福祉活動の実態把握及び調査・研究、提言 ＜地域支援課＞

- ・地域支援コーディネートによる高齢者のサロン事業実態調査【再掲】
- ・実績報告・中間報告・第三者評価等のしくみを活かした課題整理【再掲】

(3) ボランティア・市民活動実態調査

- ・ボランティア・市民活動団体の意識や活動実態の把握（679団体）
＜活動推進課＞
- ・高齢者の学習ニーズ、ボランティア活動への関心等の調査（各学舎：年1回）
＜周望・穴生＞
- ・年長者研修大学校修了後の地域活動の動向調査（各学舎：年1回）
＜周望・穴生＞

推進基盤の強化

社会福祉法は、地域福祉の推進役として社会福祉協議会を位置づけています。

校(地)区社会福祉協議会・区社会福祉協議会・市社会福祉協議会は、一体となって「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めていくために、各域社協で「組織づくり」「活動拠点の確保」「活動点検」「役割分担」「財政基盤の強化」「人材育成」の視点を持って推進基盤の強化を行い、連携・協働しながら、地域福祉活動を計画的に進めます。

- 1 校(地)区社会福祉協議会への支援 ＜地域支援課＞
 - ・地域福祉活動第四次計画に基づく活動の支援
 - ・総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画推進状況の点検評価及び計画の推進
 - ・活動報告・中間報告・第三者評価等のしくみを活かした地域支援策の具体化
 - ・校(地)区社協役員会・連絡調整会議等の定期的な開催による課題の共有と対応
 - ・校(地)区社協活動の手引きや役員研修会等を通じた校(地)区社協機能の周知・理解の促進

- 2 区社会福祉協議会への支援 ＜地域支援課＞
 - ・地域福祉活動第四次計画に基づく活動の支援【再掲】
 - ・総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画進捗状況の点検・評価及び計画の推進【再掲】
 - ・地域福祉を推進する多様な主体と連携・協働するための地域福祉活動第五次計画の策定（意見交換 25 団体、意見聴取 62 団体）【再掲】

- 3 市社会福祉協議会での基盤強化
 - ・自主財源確保の企画・提案 ＜全部署＞
 - ・新規事業の策定に向けた他都市先進事例の調査研究 ＜全部署＞
 - ・外部研修等の活用による体系的な人材育成 ＜総務課＞
 - ・賛助会員増強運動の推進（法人・団体 228 件、個人 271 件） ＜財務企画課＞
 - ・収益事業拡充の取り組み（駐車場管理） ＜財務企画課＞
 - ・地域福祉を推進する多様な主体と連携・協働するための地域福祉活動第五次計画の策定（意見交換 25 団体、意見聴取 62 団体）【再掲】 ＜地域支援課＞
 - ・総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画進捗状況の点検・評価及び計画の推進【再掲】 ＜地域支援課＞
 - ・全部署を対象とした、物品購入の一元化と入札による経費削減 ＜施設部＞
 - ・省エネ・省資源による施設運営 ＜施設部・北九州シニアネットワークアカデミー＞

- ・第三期指定管理業務の推進 ＜施設部・北九州シニアネットワークアカデミー＞
 （ウェルとばた、年長者研修大学校、北九州穴生ドーム、夢追塾）
- ・研修生の環境リサイクル運動への取り組み ＜周望＞

常設委員会の実施

市社会福祉協議会が実施する事業を適正に遂行するよう、各種常設委員会にて協議を行っています。

- ・生活福祉資金調査委員会（0回（申請なしにより開催なし）） ＜地域支援課＞
- ・民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会（0回） ＜財務企画課＞
- ・民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会（1回） ＜地域支援課＞
- ・ボランティア・市民活動センター運営委員会（3回） ＜活動推進課・研修課＞
- ・北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会（2回） ＜周望・穴生＞
- ・総合企画委員会（3回） ＜地域支援課＞
- ・権利擁護・市民後見センター監視委員会（4回） ＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・権利擁護・市民後見センター運用委員会（8回） ＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・表彰審査委員会（1回） ＜総務課＞

北九州市社協創設50周年記念関連事業の実施

- ・北九州市社協創設50周年記念社会福祉大会の実施（表彰記念式典・記念講演会・福祉ボランティア劇）【再掲】 <全部署>
- ・創設50周年記念誌の発行 <全部署>
- ・50周年記念のつどいの開催 <総務課>
- ・初夏のをどりの開催 <施設部>
- ・夏まつりの開催 <施設部>
- ・スペシャルウェルカムコンサートの開催 <施設部>
- ・歌まつりの開催 <施設部>
- ・福祉を題材にした映画上映会の実施 <施設部>
- ・サロン活動セミナー（校(地)区社会福祉協議会活動者交流会）の実施 <地域支援課>
- ・校(地)区社会福祉協議会活動者交流会の実施 <地域支援課>
- ・高齢者地域交流支援通所事業作品展「50年のあゆみ」の実施 <生活福祉課>
- ・北九州市社協創設50周年記念市民ふれあいフェスティバルの開催【再掲】 <活動推進課>
- ・市民講演会の実施（1回、1日、731人） <研修課>
- ・地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」の開催（1回、1日、784人） <研修課>
- ・校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修の開催（1回、1日、73人） <研修課>
- ・スポーツ大会の実施 <周望>
- ・大学祭の開催 <周望>
- ・ふれあいスポーツ大会の実施 <穴生>
- ・大学&ドームフェスタの開催 <穴生>

事業別実施内容

◇会務運営

本会創設 50 周年の節目である年に、本会では平成 28 年度から 5 ヶ年の新たな活動指針となる「北九州市地域福祉活動第五次計画」を策定し、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向けた体制を一層整えてまいりました。

財務面においては、限られた財源を有効に活用するため、様々な経費削減を図ることに加え、賛助会員の増強運動や自主財源確保に努め、運営基盤の強化にも努めてまいりました。

また、関係法令に沿った適正な機関運営事務の他、税務及び労務事務についても適正な処理を行いました。

1 理事会開催

回	開催年月日	出席者数 /定数	出席者中の 書面表決	議 題
第 245 回	H27. 4. 1	17/19	0	1 会長、副会長の選任について
第 246 回	H27. 5. 27	17/19	2	1 平成 26 年度事業報告について 2 平成 26 年度収支決算について
第 247 回	H28. 3. 28	17/19	0	1 北九州市地域福祉活動第五次計画について 2 平成 28 年度事業計画について 3 平成 28 年度収支予算について 4 事務局処務規程等の一部改正について 5 職員就業規則等の一部改正について 6 経理規程の一部改正について 7 評議員の補充選任について

2 評議員会開催

回	開催年月日	出席者数 /定数	出席者中の 書面表決	議 題
第 196 回	H27. 5. 28	39/40	11	1 平成 26 年度事業報告について 2 平成 26 年度収支決算について 3 理事の補充選任について
第 197 回	H28. 3. 27	34/40	11	1 北九州市地域福祉活動第五次計画について 2 平成 28 年度事業計画について 3 平成 28 年度収支予算について 4 理事の補充選任について

3 監事会

開催年月日	実施監事名	監査の内容
H27. 5. 13	萩原 正之 宗像 正博 武田 信一	1 平成 26 年度事業報告 2 平成 26 年度収支決算

4 市社協正副会長・区社協会長合同会議

開催年月日	出席者数	議 題
H27. 5. 15	9	1 平成 26 年度事業報告について 2 平成 26 年度収支決算について
H28. 3. 16	10	1 北九州市地域福祉活動第五次計画について 2 平成 28 年度事業計画について 3 平成 28 年度収支予算について 4 事務局処務規程等の一部改正について 5 職員就業規則等の一部改正について 6 経理規程の一部改正について 7 理事の補充選任について 8 評議員の補充選任について

◇民間社会福祉施設整備資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設の振興を図ることを目的に、施設の新設、修理、改築、拡張、土地の購入、備品整備等に要する整備資金の貸付を行っていますが、今年度は、新規申込はありませんでした。

【貸付状況の推移】

年度	件数	貸付金額
平成 23 年度	2 件	25,000,000 円
平成 24 年度	3 件	42,000,000 円
平成 25 年度	0 件	0 円
平成 26 年度	4 件	57,000,000 円
平成 27 年度	0 件	0 円

◇民間社会福祉施設短期運営資金貸付事業

市内における民間社会福祉施設を対象に、施設職員の賞与等の支給原資として資金の貸付を予定していましたが、新規申込はありませんでした。

なお、平成 7 年度以降、新規の貸付申請はありません。

◇広報紙の発行业

社協活動を多くの市民に知らせるとともに、福祉に関する正しい理解を広げるため、市社協だよりを年4回発行しました。

発行にあたっては、魅力的な広報紙にするため特集記事や紙面構成などを工夫し、社協活動についての理解促進と、読者の興味を引くような紙面づくりに努めました。

広報紙名	発行回数	1回あたりの発行部数	年間発行部数
きたきゅうしゅう市社協だより	年4回	43,000部	172,000部

◇収益事業

ふれあいネットワーク活動推進事業をはじめとした社協活動の安定的な財源確保のため、収益事業及びその他収益確保の取り組みや賛助会員の加入促進に努めました。

1 駐車場管理

北九州市から遊休地を借用し、駐車場事業を実施しました。

平成27年度末の駐車場数は19箇所、契約台数は年間延べ3,785台で有効駐車台数4,248台に対し、利用率は89%でした。

年度	収益額(円)	箇所数	延べ契約台数	有効駐車台数	稼働率
平成23年度	7,576,534	24	4,184	4,784	87%
平成24年度	7,742,490	24	4,234	4,828	87%
平成25年度	7,852,572	24	4,325	4,884	88%
平成26年度	8,593,978	24	4,281	4,884	87%
平成27年度	6,610,257	19	3,785	4,248	89%

2 きたきゅうしゅう市社協だよりへの広告掲載

年4回発行する広報紙きたきゅうしゅう市社協だよりの紙面を活用して、福祉・保健分野などの事業所や企業・団体の広告を掲載し、収益確保に努めました。

年度	収益額(円)	掲載件数(件)
平成23年度	450,000	13
平成24年度	504,000	14
平成25年度	504,000	14
平成26年度	518,400	11
平成27年度	518,400	13

3 「まちづくりクッキー」の販売

障害者施設との連携強化及び社協活動の周知を目的に、区社協など関係機関、団体の協力を得て「まちづくりクッキー」を販売しました。

年度	収益額（円）	売上数量（個）
平成 23 年度	58,900	589
平成 24 年度	49,300	493
平成 25 年度	44,600	446
平成 26 年度	39,300	393
平成 27 年度	69,200	692

4 賛助会員

安定した地域福祉事業推進のための財政基盤強化を目的として、市内企業等を中心に加入促進に取り組みました。

会員数、総額としては、経済情勢等厳しく、前年度実績より減少しましたが、多くの会員にご支援とご協力をいただきました。

年度	法人・団体会員		個人会員		計	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
平成 23 年度	173	5,890,000	395	1,188,000	568	7,078,000
平成 24 年度	210	6,050,000	254	917,000	464	6,967,000
平成 25 年度	202	5,440,000	308	1,158,000	510	6,598,000
平成 26 年度	254	5,800,000	346	1,181,000	600	6,981,000
平成 27 年度	228	5,310,000	271	923,000	499	6,233,000

※寄付金扱いは除く。

◇ウェルとばた運営事業

第三期指定管理業務の運営2年目にあたり、市民サービスの向上と、ウェルとばたの複合施設としての特徴を最大限に活かし、地域住民・ボランティア、入居団体と協働で、にぎわい創出事業「花火鑑賞会・映画上映会」及び自主事業「初夏のをどり・歌まつり・スペシャルウェルカムコンサート」等を実施し、福祉意識の浸透と地域の活性化及び福祉文化の発信に努めました。

また、指定管理提案事項でもあった福祉文化事業の一環として、「北九州市障害者芸術祭」及び「ふれあいフェスティバル」の共同開催に参加し、事業を行いました。

なお、第三期指定管理の提案内容については、指定管理期間で着実に実施できるよう、長期計画を立て確実に実施していきます。

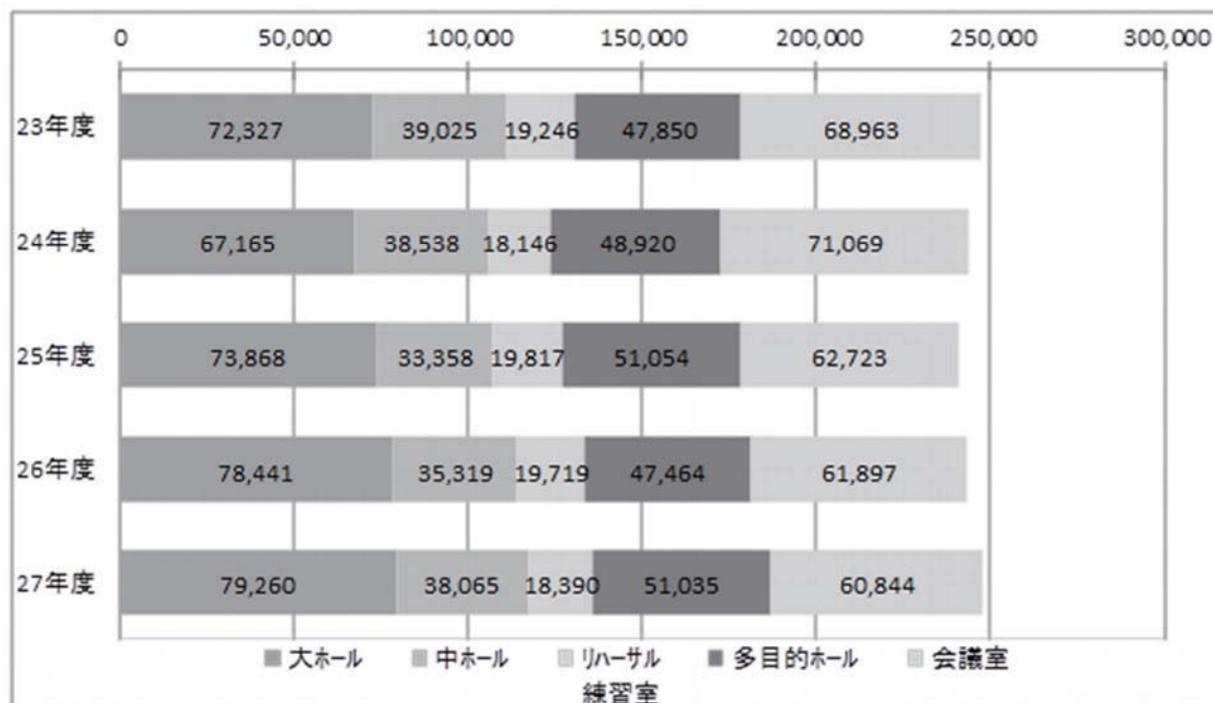
1 会議室等利用状況

(単位：人)

区分	貸館利用者数					合計
	大ホール	中ホール	リハ-サル・練習室	多目的ホール	会議室	
23年度	72,327	39,025	19,246	47,850	68,963	247,411
24年度	67,165	38,538	18,146	48,920	71,069	243,838
25年度	73,868	33,358	19,817	51,054	62,723	240,820
26年度	78,441	35,319	19,719	47,464	61,897	242,840
27年度	79,260	38,065	18,390	51,035	60,844	247,594

【ウェルとばた 利用者数の推移】

(単位：人)



福祉会館の利用者数については、会議室は昨年対比 1.7%減となったが、多目的ホールは昨年対比 7.1%増となった。稼働率は福祉会館全体で 80.5%となり、昨年対比で 3.3%減。

市民会館大・中ホールの利用者数は、昨年対比で 3.1%増。稼働率は、79%となり、昨年対比 0.5%増。八幡市民会館の閉館などがあり、利用者が多い行事が流れてきたと考えられる。

2 にぎわい創出事業

行事名	月 日	来場者	内 容
初夏のをどり	H27. 6. 14	527	戸畑区内で活動する日本舞踊の団体と和太鼓グループの発表会。市民会館大ホールで毎年開催。
くきのうみ 花火の祭典観賞会	H27. 7. 17	412	ウエルとばた 6 階屋上庭園を市民に開放して、花火観賞会を開催。市政だより等で広報。チケット完売。
夏まつり	H27. 8. 23	650	ウエルとばたで練習しているダンスグループの発表の場として、休日版ウエルカムコンサートを開催。地域の商店や障害福祉サービス事業所が出店。
秋まつり スペシャルウエルカム コンサート	H27. 11. 20	148	ウエルカムコンサート出演者の協力を得て、1年の集大成のコンサートを市民会館中ホールで開催。
中ホールで スタインウェイを弾い てみませんか	H27. 7. 30 H27. 12. 17	61	ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないスタインウェイを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館中ホールで開催。
歌まつり	H28. 1. 17	475	戸畑区内で活動するカラオケ6団体が、練習成果を発表する場として、市民会館大ホールで毎年開催。
大ホールで ベーゼンドルファーを 弾いてみませんか	H28. 2. 18	27	新規事業。ピアノ愛好家に日頃なかなか弾く機会のないベーゼンドルファーを弾いて楽しんでいただく事業。市民会館大ホールで開催。
映画上映会	H28. 3. 13	84	福祉を題材にした社協らしい映画上映会を開催。平成27年度は「認知症」をテーマとした作品を中ホールで上映。
ウエルカムコンサート	奇数月第2 木曜日	600	北九州市内で活躍している音楽家に依頼し、隔月第2木曜日の昼休みに交流プラザ特設ステージで様々なジャンルの演奏会を開催。
七夕飾り	H27. 6. 25 ～7. 8	-	交流プラザの有効活用として企画。ボランティアの協力で七夕飾りを設け、来館者に願いごとを書いた短冊の飾りつけを開放。

それぞれの事業に、「福祉文化の発信」の理念を取り込んで事業を行うことが出来ました。

また、北九州市障害者芸術文化応援センターと北九州市人権推進センターと共同開催で事業を行いました。

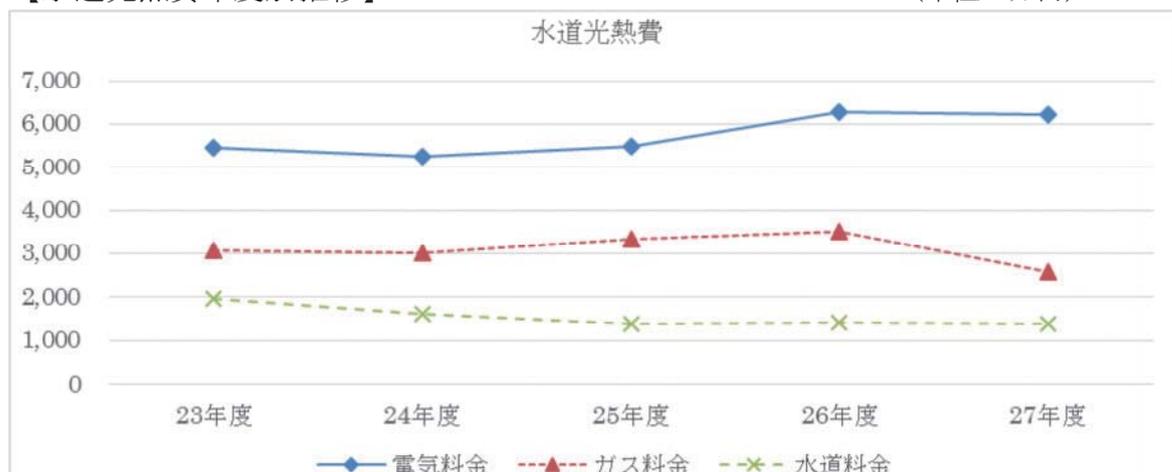
3 水道光熱費削減の取り組み

燃料需給契約は、常に最適化を図っており、日毎、月毎に電気、ガス、水道の各使用量を監視するなど節減に努めています。

ライフライン各社と使用量などについて助言を受けながら契約変更を行う等、徹底した運用管理を行い、光熱水費の価格上昇や消費増税の影響もあるなかで、昨年対比で約9.1%の光熱水費の減額となりました。今後も、継続して省エネを行い、「ウェルとばたエコ・オフィスプラン」を更に推進及び定着するよう入居者や利用者に対して協力を要請し、環境保護の観点からの啓発にも取り組みます。

【水道光熱費年度別推移】

(単位：万円)



(単位：円)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
電気料金	54,732,862	52,537,885	54,992,565	62,796,307	62,208,526
ガス料金	30,815,448	30,120,197	33,480,503	35,142,082	25,741,417
水道料金	19,615,102	16,310,562	13,775,976	14,090,811	13,923,570

4 物品購入の一元化

平成 17 年度より実施している物品購入一元化は、市社協組織全体の物品購入を施設部ウェルとばた管理課で一括管理することにより、経費の低減を目指し、節約の効果もありましたが、部署ごとの個別発注の件数の増加等の理由により、平成 27 年度をもって物品購入の一元化は廃止となりました。

【物品購入一元化 実績表】

(単位：円)

年度	定価(カタログの8割)	購入金額	節減金額	節減率
平成 23 年度	4,385,001	3,244,793	1,140,208	26.0%
平成 24 年度	5,311,314	3,841,295	1,470,019	27.7%
平成 25 年度	3,531,741	2,576,766	954,975	27.0%
平成 26 年度	2,291,435	1,534,556	756,879	33.0%
平成 27 年度	3,179,030	2,372,278	806,752	25.4%

平成 27 年度は、発注総額が増加したことにより、節減金額も増加したが、節減率は7.6ポイント下がった。

5 広報・情報発信状況

市社協だより、ホームページ等の広報に加えて、ウェルとばたフェイスブックを開設し積極的な情報発信を行いました。事業ごとには、マスコミ、コミュニティFM各社の協力により、一定の成果がありました。

6 安全・安心な施設管理の取り組み

施設部全職員及び施設管理業務者に普通救命講習を実施（施設部職員が指導者資格を取得し、指導）し、AEDなどの救急対応ができるように努めました。また、総合案内、管理事務所のネットワーク環境を整理し、セキュリティレベルを維持しつつ大幅なコストダウン（H28年までの5年間で2,750,000円削減）を実現した。

7 駅隣接公共スペースとしてのおもてなしの環境づくり

ウェルとばたにお越しになる方に心なごんでいただけるよう、

- ・1階正面階段脇の花壇に、花を植栽（年2回植えかえ）
- ・2階交流プラザ 総合案内前にプロのアートフラワー作家による「布の花」を展示（年5回入れかえ）
- ・2階交流プラザで心和むBGMを放送
- ・2階国旗掲揚ポールに4月中旬から5月上旬の間、鯉のぼりを設置

◇住民による地域づくり事業

1 地域福祉活動計画推進事業

「北九州市地域福祉活動第四次計画」（平成 23 年度～平成 27 年度）の最終年度にあたる平成 27 年度は、第四次計画が円滑に推進されるよう総合企画委員会、第三者評価委員会等において進捗状況の点検・評価を行いながら協議を重ねてきました。

社会福祉協議会が推進役となり地域福祉活動に取り組むことで、活動計画の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現を目指し、市民に対する広報・啓発活動の強化や、子どもから大人までの福祉教育の推進、活動の担い手となる人材の育成・確保、生活・福祉課題の解決に向けた関係機関・団体や福祉施設とのネットワークづくりを推進しました。

(1) 北九州市地域福祉活動第四次計画 基本理念・基本目標等

基本理念	基本目標	目標達成のための基本項目
みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり	基本目標 I みんなが福祉の風土を広げよう	1 広報・啓発の強化
		2 福祉教育の推進
		3 地域福祉人材の育成
	基本目標 II みんなが身近な地域の福祉活動を進めよう	1 小地域福祉活動の活性化
		2 ボランティア・市民活動の支援
		3 災害時の福祉救援体制づくり
	基本目標 III 関係機関・団体が手を結び、福祉のネットワークをつくろう	1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整
		2 共同募金会との連携
		3 小地域福祉活動計画の推進
	基本目標 IV 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう	1 権利の擁護と相談体制の充実
		2 社会参加・自立の支援
		3 調査・研究、提言
	推進基盤の強化	1 校（地）区社協の推進基盤強化
2 区社協の推進基盤強化		
3 市社協の推進基盤強化		
校（地）区・区・市社協の機能を活かした官民協働による新たな仕組みの構築	1 絆プロジェクト北九州への参画※	

※絆プロジェクト北九州は平成 25 年 3 月末で解散。

2 住民福祉活動促進事業

本年度も、平成5年度から推進してきた校(地)区社協の基本活動「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化などに努めました。

基本事業としては、連絡調整会議の活性化を図るとともに、福祉協力員等による見守り活動により地域の支援が必要な世帯を見つけ、課題解決のために関係機関・団体等につなぎました。

メニュー事業としては、地域の高齢者の居場所づくりとして「高齢者のサロン事業」、次代へ地域福祉活動をつないでいくために「次世代地域福祉活動者育成事業」、地域課題の把握と解決のための中長期の指針として「小地域福祉活動計画づくり」を重点事業として実施するなど、地域の特性に合わせた校(地)区社協活動を展開しました。

(1) ふれあいネットワーク活動推進事業（基本事業・メニュー事業）の推進 ア 各区福祉協力員・ニーズ対応員数と活動状況

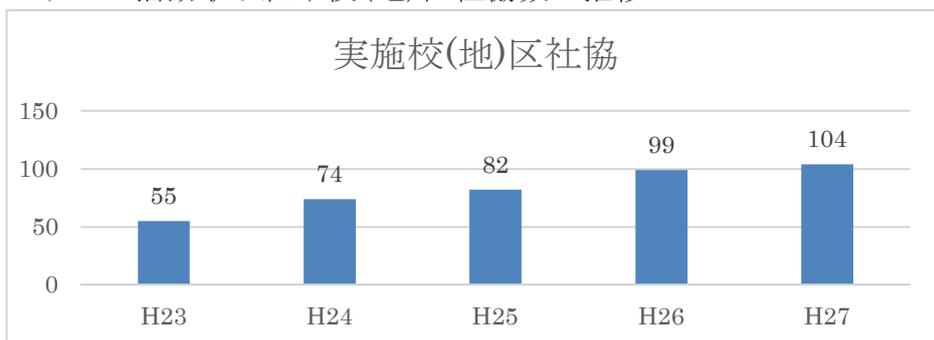
事業別 区名	実施地区	見守り活動			助け合い活動		
		福祉協力員数	見守り対象世帯		ニーズ対応チーム人数	対応件数	
			世帯数	内訳		対応数	対応内容内訳
門司	21	795	11,878	高齢者世帯 (昼間高齢者 だけを含む)	981	51,790	話し相手 320,392
小倉北	25	1,196	22,955	106,083	1,655	166,429	買い物支援 29,571
小倉南	27	1,261	21,972		1,386	65,381	生活情報の提供 208,964
若松	13	508	7,518	障害のある人の世帯	487	27,738	薬とり 3,390
八幡東	21	637	13,892	単身で子育て中の世帯	1,817	131,052	庭掃除 3,219
八幡西	33	1,978	26,869	2,630	1,968	162,629	布団干し・入れ 1,798
戸畑	14	579	9,478				2,275
全 市	154	6,954	114,562		8,854	642,584	ゴミ出し 59,810
							その他 12,925

イ メニュー事業Ⅰ実施状況
メニューⅠ-①「高齢者のサロン事業」

(単位：校(地)区社協)

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑
藤松	藍島	北方	浜町	高見	木屋瀬	東戸畑
大里南	足原	東谷	深町	槻田第三	陣原	鞆ヶ谷
大里柳	足立	貫	修多羅	大蔵第一	穴生	大谷第一
大里東	到津	葛原	藤ノ木	枝光第一	陣山	浅生
小森江西	井堀	長行	二島	枝光北	則松	天籟寺
小森江東	泉台	若園	鴨生田	中央第二	熊西	一枝
庄司	今町	企救丘	江川	尾倉第四	上津役	三六
清見	霧丘	湯川	高須	前田北	本城	中原
田野浦	貴船	城野	青葉台	前田第三	浅川	西戸畑
大積	清水	沼		前田第四	八児	牧山東
松ヶ江南	米町	守恒			鳴水	
	塚町	長尾			引野	
	天神島	東朽網			中尾	
	桜丘	広徳			塔野	
	三郎丸				青山	
	寿山				光貞	
	富野				楠橋	
	城野第一				千代	
	中島				池田	
	中井				竹末若葉	
	西小倉				永犬丸西	
	日明				黒畑	
	南小倉				赤坂	
	南丘				八枝	
					黒崎	
					星ヶ丘	
11	24	14	9	10	26	10
全市計						104校(地)区

メニューⅠ－①「高齢者のサロン事業」
 サロン活動取り組み校(地)区社協数の推移



サロン活動セミナーの開催 (校(地)区社協活動者交流会)

実施日	参加者数	内 容
H28. 1. 26	247 人	<p>(1) 基調講演「サロン活動を通じたこれからの地域づくりについて」 講師：西南女学院大学 保健福祉学部 教授 岡田 和敏</p> <p>(2) 介護予防体操「すわったままできるらくらくストレッチ」 講師：BSF 代表 大井手 一平</p> <p>(3) パネルディスカッション「地域に期待されるサロン活動」 ①「地域のつながりづくり・居場所づくり」 パネラー：牧山東地区社会福祉協議会 相談役 松本 剛重 ②「障害者の人も参加できるサロン運営について」 パネラー：鴨生田校区社会福祉協議会 ふれあいネットワーク部長 久保田 京子 ③「地域に開かれたサロンを目指して」 パネラー：あっぷるサロン沼 代表 時枝 さゆり</p> <p>(4) サロン活動事例紹介・パネル展示 ①校(地)区社協サロン活動 門司区清見校区社協「清見ふれあい生き生きサロン」 小倉北区桜丘校区社協「陽だまりクラブ」 小倉南区東朽網校区社協「ふれあい昼食会」 若松区高須地区社協「しゃべり場コットンハウス」 八幡東区枝光北地区社協「井戸端会議」 八幡西区穴生地区社協「大人のサロン」 戸畑区西戸畑地区社協「転倒予防健康サロン」 ②校(地)区社協以外のサロン活動 門司区「ゆうゆうサロン」 小倉南区「たそがれサロン」 戸畑区「スイミー」</p>

メニュー I - ② 「次世代地域福祉活動者育成事業」

門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
清見 松ヶ江北 柄杓田	泉台 北小倉 富野	貫 曾根 朽網 曾根東 合馬 山本 徳力 東朽網	小石赤崎 古前 二島	高見 高槻 大蔵第一 大蔵第三 河内 中央第一	折尾西 永犬丸西 竹末・若葉 赤坂	—	27
3	3	8	3	6	4	—	27

※基本事業としてウェルクラブ活動を実施した校(地)区社協

藤松 伊川	貴船 今町	道原	鴨生田	—	—	天籟寺 大谷第二	
2	2	1	1	—	—	2	8

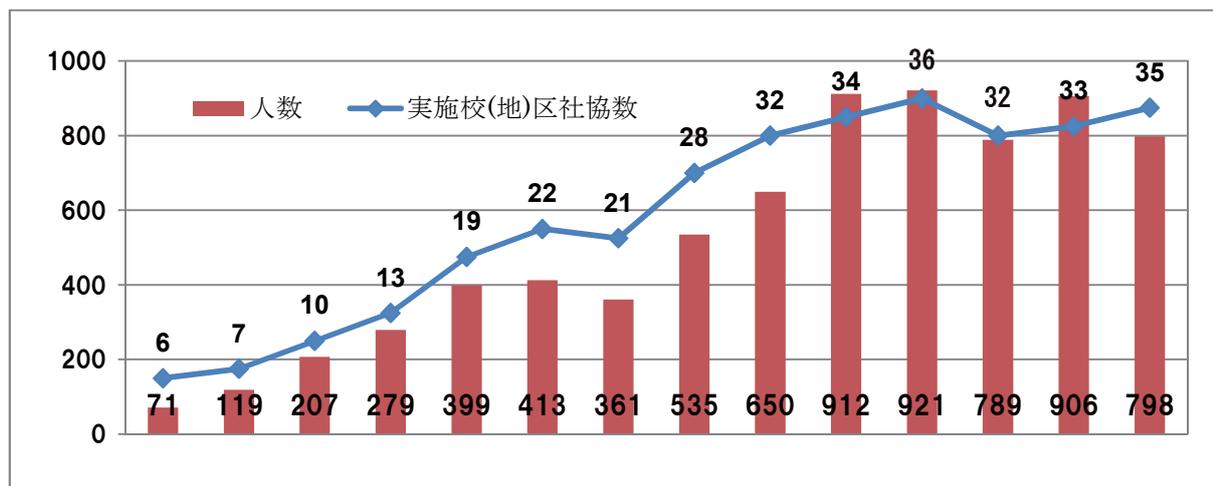
次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動）の実施状況

	校(地)区社協	小学校	参加児童数	活動内容								特徴等	
				見守り(訪問)活動	助け合い活動	話し合い活動(活動報告会)	疑似体験	施設訪問・交流	共同募金活動	認知症を学ぶ講座	サロン訪問		その他の地域行事
1	清見	港が丘	11	●	●	●	●	●	●		●	●	買物支援(朝市)
2	松ヶ江北	松ヶ江北	52	●	●	●	●	●		●		●	障害者との交流
3	藤松	藤松	10	●	●	●		●					
4	柄杓田	柄杓田	12	●	●	●							
5	伊川	伊川	23			●						●	世代間ランドゴルフ大会
6	泉台	泉台	20			●	●	●			●	●	高齢者・障害者疑似体験
7	今町	今町	9			●						●	敬老会
8	北小倉	北小倉	22		●	●	●	●				●	清掃活動
9	富野	富野	8	●		●		●					
10	貴船	貴船	15	●				●				●	職業疑似体験
11	貫	貫	14	●			●					●	認知症徘徊訓練
12	曾根	曾根	30	●	●	●	●	●	●			●	まつりみなみ
13	合馬	合馬	20	●		●				●		●	敬老会

14	朽網	朽網	29	●	●	●	●	●			●	まつりみなみ		
15	曾根東	曾根東	10	●	●	●	●	●	●		●	防犯パトロール		
16	山本	すがお	82	●	●	●					●	敬老会		
17	道原			●	●	●					●			
18	徳力	徳力	24	●	●	●		●	●		●	ふれあい餅つき		
19	東朽網	東朽網	28	●										
20	小石赤崎	小石赤崎	18	●		●		●						
21	鴨生田	鴨生田	32	●		●		●			●			
22	古前	古前	53	●							●	ふれあい昼食会		
23	二島	二島	58								●	高齢者との交流		
24	高見	高見	7	●	●	●	●	●		●	●			
25	高槻	高槻	21	●	●	●	●				●	ホタルまつり		
26	大蔵第一	大蔵	15	●	●	●	●	●			●	発表会にOB参加		
27	大蔵第三			●	●	●	●	●			●	●	ふれあい昼食会	
28	河内	河内	6	●	●	●	●				●	七夕まつり		
29	中央第一	八幡	13	●	●	●	●	●			●	●	まち美化清掃	
30	折尾西	折尾西	20	●		●		●						
31	永犬丸西	永犬丸西	27	●		●	●	●			●	●	グラウンドゴルフ大会	
32	竹末・若葉	竹末	15			●	●	●			●	●	敬老会	
33	赤坂	赤坂	14			●				●	●	●	ボランティア講演会参加	
34	天籟寺	天籟寺	26	●							●	●	給食交流会、授業参観	
35	大谷第二	大谷	54							●				
全市計													35校(地)区 798人	

メニューⅠー②「次世代地域福祉活動者育成事業」

ウェルクラブ活動 取り組み校(地)区社協数及び参加児童数の推移



メニューⅠ－③「校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくり」

小地域福祉活動計画策定校(地)区と重点実施項目

校(地)区社協名		重点実施項目として継続的・段階的に取り組んでいくもの
小倉南	田原	「老いても 安心して住めるまち たはら」(平成28～32年度) ①地域の福祉活動を広める ②活動基盤の体制づくり
八幡西	上津役	「上津役思いやりプラン」(平成28～32年度) ①次世代地域福祉活動者(福祉協力員)の育成 ②高齢者の居場所づくり「サロン活動」
計		2校(地)区

小地域福祉活動計画策定研修(ふくしプランニング工房)の開催

① 講師 福岡県立大学人間社会学部社会福祉学科 准教授 村山 浩一郎

② 会場 ウェルとばた12H1研修室

回	実施日	参加者数	内容
1	H27. 6. 2	18人	【開講挨拶・オリエンテーション】 【講義】①計画づくりの意義 ②基本計画(計画の体系図) ③地域の福祉課題の抽出 【演習】課題を視覚的に抽出・整理するカードワーク
2	H27.10. 9	17人	【講義】基本計画(計画の体系図)と重点実施項目 【演習】重点実施項目を選んで実施計画をつくろう 【講義】計画書の編集
3	H28. 3.11	16人	【発表】計画書の発表～基本計画の特徴と重点実施項目～ 【講義】計画の推進・広報について
計		51人	

ウ メニュー事業Ⅱ実施状況

(単位:校(地)区社協)

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	全市計
① 地域交流活動 世代間交流、健康づくり等	8	20	26	12	19	26	4	115
② 生活支援活動 買い物支援、子育て支援等	3	10	12	4	5	9	0	43
③ 研修・学習活動 住民啓発講座、視察研修等	2	4	13	7	13	13	2	54
④ 広報・調査活動 広報紙発行、障害理解等	2	3	22	6	12	24	0	69

⑤ 福祉救援体制づくり 要援護者マップ、避難訓練等	0	4	3	2	11	6	2	28
⑥ 年末年始ふれあい活動 見守強化、年末年始行事等	2	13	26	8	14	29	0	92
⑦ その他の活動	0	0	1	1	0	0	0	2
計	17	54	103	40	74	107	8	403

(2) 資料・発刊物

発行時期	資料名	発行部数
H28. 3	北九州市地域福祉活動第五次計画	2,000部
H28. 3	高齢者のサロン事業実態調査報告書兼事例集	2,000部

(3) 出前講演活動の実施

主な内容	回数(回)	受講者数(人)
地域福祉活動推進の要～ふれあいネットワーク活動～	14	723
これからの地域支援と小地域福祉活動への期待	1	38
全ての人を包み込む社会に向けて アニメーションドラマ『探梅』	1	17
地域づくりはサロン活動で！ 『校(地)区社協のすすめるサロン活動』	2	63
あんしんな暮らしのお手伝い～地域福祉権利擁護事業～	16	691
ボランティアの心を学ぶ	13	367
共に生きる地域づくり 障害者の正しい理解と障害者の地域での生活	14	706
生活困窮者の支援と課題	11	395
ひきこもりについて考える ひきこもり支援の現状と課題	3	124
個人情報保護を正しく理解し共助の力を高めるために	1	247
計	76	3,371

(4) 社協活動の紹介等

紹介資料・メディア等	紹介内容等
北九州市政だより H27年12月15日号	ふれあいネットワーク活動の紹介

(5) 社協PR用Tシャツ・エプロン・ポロシャツの頒布

(単位:枚)

Tシャツ大人用	Tシャツ児童用	エプロン	ポロシャツ	計
179	261	58	123	621

(6) 他都市からの照会・視察受入れ

相手先	対応	内容
仙台市社協	照会	校(地)区社協の規約について
遠賀町社協	照会	ふれあいネットワーク活動について
福岡市社協	照会	ふれあいネットワーク活動における総合事業への対応・実態把握状況等について
大分市社協	照会	個人情報の取り扱いの手引きについて

(7) その他会議への参画

内容	回数
平成 27 年度社会福祉協議会活動全国会議	1
九州社会福祉協議会連合会地域福祉委員会	1
北九州市ホームレス自立推進協議会	1
地域包括支援に関する会議	4
平成 27 年度 北九州市居住支援協議会 第一回幹事会	1
北九州市障害者差別解消法連絡会議 普及・啓発会議	4
北九州市障害者差別解消法連絡会議 座長会議	1
北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議	1
平成 27 年度 地域包括支援に関する会議	3
北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議 (調整会議)	3
「北九州市健康づくり推進プラン」の推進にかかる意見交換会	1
北九州市版CCRC推進会合	1
北九州市版CCRC推進セミナー	1
平成 27 年度生活支援コーディネーター研究協議会	1
福岡県地域福祉活動職員連絡会	1

◇地域相談支援事業

平成 27 年度より、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域の見守り・支え合いを強化するために、各区に地域支援コーディネーターを配置し、福祉協力員等の身近な地域での支え手の発掘や互助活動を支援しました。

地域の多様化する生活・福祉課題に対応するためには、地域の見守り・支え合いを強化する必要があり、より多くの支援につなげるために地域活動の担い手を発掘するとともに、地域の関係機関との連携を強化していくことで、地域の互助機能を高める支援を行いました。

1 地域資源の発掘・組織化業務

(1) 地域の状況把握

校(地)区社協、民生委員児童委員協議会、まちづくり協議会等の地域の会合に参加し、地域の状況を情報収集し、地域資源（サービス）情報シートを作成しました。

地域の会議等への参加・PR実績 1,215 回、26,560 人（全市）

(2) ボランティアやNPO法人等の支援者の把握

市、区ボランティア・市民活動センターや地域関係者等から情報収集し、地域資源（サービス）情報シートを作成しました。

【地域資源（サービス）情報シート作成状況】

地域資源種別	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	(件)
生活支援活動（小計）	92	2	14	22	5	9	56	200
①買い物代行	5		1				3	9
②買い物配達	2	2	2	14		5	4	29
③配食サービス	4		1	1			7	13
④調理	2		1				4	7
⑤洗濯	2		1				2	5
⑥外出介助	5		1		3	1	5	15
⑦その他	72		7	7	2	3	31	122
互助活動（小計）	7	0	14	22	6	2	27	78
⑧ゴミ出し							1	1
⑨話し相手								0
⑩見守り・安否確認活動								0
⑪サロンなどの交流会	7		14	22	5	1	21	70
⑫その他					1	1	5	7
合計	99	2	28	44	11	11	82	278

(3) 地域資源を増やすための啓発活動

地域福祉活動者の確保やサロン活動等の参加者を増やすための、チラシや広報紙の作成などの広報活動の支援や、各種会合等での啓発活動、出前講演等を実施しました。

内 容	件 数
チラシの作成支援	5 件
広報紙等による支援	4 件
出前講演の実施	4 回
新規福祉協力員等の確保	31 人
サロン拠点開設カ所数	9 カ所

(4) 地域資源の組織化・継続的な活動支援

校(地)区社協の連絡調整会議や地区民生委員児童委員協議会の会合等に参画し、サロン活動の立ち上げ支援、地域の福祉課題に対する継続的な支援及び相談対応を実施しました。

	門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	計
個別相談に関する相談件数	6	212	11	19	15	14	56	333
互助活動に関する相談件数	37	251	169	139	34	27	211	868

(5) 情報提供・情報発信

地域資源や地域資源に関する情報を地域福祉活動者や区役所関係各課に情報提供を行うとともに、ホームページ等を活用して情報発信しました。

(6) 地域の見守り活動の支援

活動の中で、見守りが必要な人や介護保険サービスが必要な人等に関する情報を得た場合は、いのちをつなぐネットワーク担当係長や地域包括支援センター、区役所関係課に情報提供を行いました。

3 区役所関係課との連携業務

配置場所の区役所保健福祉課（いのちをつなぐネットワーク担当係長、地域包括支援センター及び統括支援センター、地域保健係）をはじめとした関係各課及び市民センター館長等の関係者と連携、情報共有し、地域の互助活動等を支援するためのネットワークづくりを行いました。

4 研修会等への参加

地域支援コーディネーター養成研修をはじめとした、コーディネーターとしての資質向上を図るため下記の研修を実施または参加しました。

期 日	人数・会場	内 容
H27. 4. 1 ～H27. 4. 30	7人 ウェルとばた 他	「地域支援コーディネーター養成研修」 ①地域支援コーディネーターの業務 ②北九州市の地域福祉活動、ふれあいネットワーク活動の現状 ③地域福祉概論、地域福祉援助技法 ④地域包括ケアの推進、地域支援コーディネーターの役割 他
H27. 6. 29 ～H27. 7. 2	9人 総合保健福祉 センター	「介護予防・日常生活支援総合事業に関する説明会」 ①第四次北九州市高齢者支援計画について ②介護予防・日常生活支援総合事業について
H27. 11. 24 ～H27. 11. 25	8人 コムシティ	「福岡県地域支援コーディネーター養成研修」 ①生活支援支援コーディネーター及び協議体とは ②生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割 ③高齢者の生活支援ニーズと生活支援サービス ④サービス開発の方法 他

◇北九州市社会福祉大会 (北九州市社協50周年記念事業)

近年、地域社会では、家族関係の変化や住民相互のつながりの希薄化などを背景に、社会的孤立や生活困窮などの深刻な生活・福祉課題が顕在化しています。地域住民とともに「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を推進していくためには、あらためて人と人とのつながりについて考え、地域の絆や支え合いを再構築することが求められます。

本会創設 50 周年という節目の年に当たり、社会福祉の発展に貢献された方々に感謝の意を表するとともに、市民及び福祉関係者が一堂に会し、今後の地域福祉活動のあるべき姿への決意を新たに、本市の社会福祉の一層の充実を図ることを目的に開催しました。

日 時	参加人数	内 容
H27. 11. 15	784 人 ウェルとばた	1 記念式典 北九州市社会福祉協議会会長表彰 他 2 記念講演会 「これからの地域づくり ～新たな地域福祉活動に向けて～」 講師：九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 高野 和良 3 福祉ボランティア劇 「地域のことは、地域におまかせ」 出演：ふくし劇団こくら南プチボ

◇生活福祉資金

生活福祉資金貸付制度は、低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付けと民生委員を通じた必要な援助指導を行うことにより、その世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的としています。

平成27年4月からは、生活困窮者自立支援法に基づく各事業と連携し、効果的、効率的な支援を実施することにより、生活困窮者の自立の促進を図りました。

1 生活福祉資金貸付状況

(上段：件数、下段：金額、単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合支援資金	生後援費	9	13	10	8	11	7	8	5	12	4	8	4	99
		2,499	4,141	3,184	2,092	3,134	1,906	2,630	1,038	3,263	1,156	2,554	1,024	28,620
	住宅入居費	3	2	1	0	0	0	0	1	1	0	2	1	11
		361	434	167	0	0	0	0	154	108	0	369	32	1,625
	一時生活再建費	3	4	4	1	2	3	1	1	5	2	3	2	31
	449	963	370	448	219	348	93	199	313	132	387	389	4,310	
福祉費	住宅の増改築・補修費用	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
		0	1,240	0	2,030	0	1,868	0	0	0	0	0	0	5,138
	福祉用具購入	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		637	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	637
	障害者自動車購入経費	2	0	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	7
		2,250	0	2,375	900	0	0	3,320	0	0	0	0	0	8,845
	年金掛金	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
		0	242	0	0	0	0	342	0	0	0	0	0	584
	住居の移転・給排水設備	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4
		360	0	0	320	0	159	0	0	307	0	0	0	1,146
	日常生活上一時経費	0	0	1	3	1	0	0	1	0	0	0	0	6
	0	0	69	371	95	0	0	97	0	0	0	0	632	
緊急小口資金	7	5	8	15	11	12	8	5	9	3	13	11	107	
	670	500	800	1,400	1,100	1,070	750	500	866	279	1,220	1,050	10,205	
教育支援資金	教育支援費	0	0	0	0	0	1	2	4	6	3	14	4	34
		0	0	0	0	0	1,026	3,600	2,440	1,752	948	7,644	2,484	19,894
	就学支度費	0	0	0	0	0	0	2	4	6	3	21	9	45
	0	0	0	0	0	0	670	1,235	1,995	1,209	6,027	1,976	13,112	
不動産担保生活資金		1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		27	26	26	30	25	26	24	21	41	15	61	31	353
		7,225	7,520	6,965	7,561	4,548	6,377	11,405	5,663	8,604	3,724	18,201	6,955	94,748
臨時特例つなぎ資金		1	2	1	1	0	1	0	1	0	2	1	0	10
		100	200	100	100	0	100	0	100	0	200	100	0	1,000

注1) 申請(承認)の件数、金額

注2) 福祉資金の、生業費、技能習得費、療養費、就職・技能習得支度費、災害援護資金は本年度申請なし

◇民間社会福祉事業従事者共済事業

民間社会福祉事業従事者の福利増進を目的として、福祉年金、脱退一時金、遺族一時金の支給等の共済事業と、福利厚生事業として、給付事業、貸付事業のほか、様々なスポーツ観戦、演劇鑑賞、宿泊優待事業等を実施しました。

また、加入者数は、年々増加傾向にあり、多くの方々が利用され、従事者とその家族の福利の充実に資することができました。

1 共済加入状況の推移

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
加入施設・団体	196	200	204	209	213
加入人員（人）	4,115	4,360	4,506	4,539	4,674

2 福利厚生事業実施状況

(1) 給付事業

結婚祝金、出産祝金、傷病見舞金、香華料、災害見舞金
(計 362 件、3,457,000 円)

(2) 貸付事業

厚生貸付 2 件 1,000,000 円、結婚貸付 0 件、入学貸付 0 件

(3) スポーツ観戦事業 (1 セット 2 席)

ソフトバンクホークス公式戦 60 セット
(個人負担額 390,000 円、助成金額 260,000 円)
ギラヴァンツ北九州ホーム戦 20 セット
(個人負担額 39,900 円、助成金額 30,100 円)

(4) 演劇鑑賞事業 (1 セット 2 席)

北九州芸術劇場 7 演目 63 セット
(個人負担額 529,200 円、助成金額 352,800 円)

(5) 音楽鑑賞事業 (1 セット 2 席)

北九州ソレイユホール 2 演目 25 セット
(個人負担額 182,500 円、助成金額 122,300 円)

(6) 宿泊優待事業 (1 セット 2 枚)

ハイツ&いこいの村及び九州内旅館 11 施設 61 セット
(個人負担額 671,000 円、助成金額 427,000 円)

(7) 家庭用常備薬斡旋事業

1回目(4月) 申込施設数 69 施設、申込件数 226 件、申込金額 853,640 円

2回目(10月) 申込施設数 65 施設、申込件数 227 件、申込金額 819,690 円

3 共済事業事務担当者会議・研修会

実施日	人員・会場	内 容
H27. 8. 20	43 人 ウエルとばた	(講義)「良好な人間関係の築きかた ～エニアグラム性格タイプ診断を用いて コミュニケーション力をアップ!」 (講師) 若者ワークプラザ北九州 キャリアカウンセラー 島上 未来子 坂本 佳代子

◇各施設協議会等との連携

種別を超えた社会福祉施設協議会間の連携体制づくりや、情報交換、共通理解を深める目的で、市内の各社会福祉施設協議会等の連絡会を開催しました。

今年度は、社会福祉法人制度改革をみすえ、社会福祉法人・施設をとりまく現状等を共有し、地域における公益的な活動についての意識共有や、福祉の職場の人材確保等、地域福祉を推進するための連携のあり方について協議しました。

1 社会福祉施設協議会連絡会の開催

(1) 実務者会議

実施日	人員・会場	内 容
H27. 7. 29	4人 聖愛保育園	【施設見学】 【議題】 1 社会福祉法人の地域貢献について ～北九州高齢者福祉事業協会の取組み～ 2 北九州市地域福祉活動第五次計画について
H28. 1. 21	4人 ウェルとばた	【議題】 1 社会福祉法人の地域貢献と地域交流について 2 今後の社会福祉施設協議会連絡会について ～北九州市地域福祉活動第五次計画の策定に向けて～

(2) 代表者会議

実施日	人員・会場	内 容
H27. 12. 17	6人 ウェルとばた	【報告】 1 第58回大都市社会福祉施設協議会京都市大会 について 2 社会福祉施設協議会連絡会 第6・7回実務者会議について 【議題】 1 第59回大都市社会福祉施設協議会名古屋市大会について 2 平成28年度社会福祉施設協議会連絡会について

2 第58回大都市社会福祉施設協議会京都市大会への参加

実施日	人員・会場	内容及び参加者
H27. 7. 2 ～ 7. 3	10人 リーガロイヤル ホテル京都 (京都市下京区)	【基調講演】 これからの社会福祉施設に求められるもの 厚生労働省社会・援護局専門官 塩野勝昭 【種別研究会】 【交流会】 【特別講演】 無縁社会をつながりある社会に 高台寺執事長、後藤典生

◇民生委員互助共励事業

全国の民生委員・児童委員が、互助と共励を基盤に民生委員活動の充実を図り、地域福祉活動の発展に資することを目的として、弔慰金、見舞金、退任慰労金等を支給する互助事業を実施しました。

また、共励事業として、地区民生委員児童委員協議会活動の活性化を図るため、「指定地区民児協事業」について、2地区を指定し事業を実施しました。

民児協活動振興事業では、1地区を指定し、多様な地域課題に対応するため、関係機関・団体等と協働・連携した事業を実施しました。

1 民生委員互助共励事業給付金支給状況（全社協委託事業）

	公務 死亡	公務 傷病	一般 死亡	配偶者 死亡	一般 傷病	退任 慰労	災害	合計
支給 件数	0	3	2	4	20	29	0	58
金額 (千円)	0	170	60	60	196	103	0	589

2 指定地区民児協事業

(1) 指定期間 平成26年度～平成27年度の2年間

(2) 指定地区 門司区：松ヶ江南地区民生委員児童委員協議会
小倉北区：中井地区民生委員児童委員協議会

3 民児協活動振興事業

(1) 指定期間 平成27年度～平成28年度の2年間

(2) 指定地区 八幡西区：穴生地区民生委員児童委員協議会

(3) 事業内容 「安心して住み続けることができる地域社会づくりへの貢献」

◇心配ごと相談所事業

市民がどんな問題でも気軽に無料で相談できる「よろず相談所」として、各区社会福祉協議会と連携しながら実施しました。

相談には、経験と研修を積んだ民生委員・児童委員などが対応し、様々な問題の解決や関係機関・団体のサービス利用の案内・橋渡しに努めており、社協と民生委員・児童委員が協働し、困りごとを抱える地域住民の支援を行う事業としての役割を担ってきました。

近年、相談内容が複雑・多様化しているため、相談員としての資質向上に向けた研修会を実施しました。

なお、市内に様々な専門相談窓口が整備されたこと等に伴い、心配ごと相談所事業は平成 27 年度末をもって終了しました。

1 各区相談所における実施状況及び相談件数

区	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	計
開催回数	月 2 回	週 1 回	週 1 回	月 2 回	週 1 回	週 1 回	月 2 回	—
開所日数 (日)	22	48	50	22	46	48	24	260
相談件数 (件)	14	215	175	17	92	202	59	774

※小倉北、小倉南、八幡東区については、電話相談件数を含む。

【実施状況及び相談件数の推移】

年度	相談件数 (件)	相談員数 (人)		
		うち、民生委員	民生委員以外	
平成 23 年度	1,136	200	174	26
平成 24 年度	1,307	193	173	20
平成 25 年度	1,129	195	171	24
平成 26 年度	830	188	164	24
平成 27 年度	774	187	163	24

2 心配ごと相談員研修

実施日	人員・会場	内 容
H28. 3. 9	147 人 ウェルとばた	<p>【講 義】「人と関わる心理学～傾聴力を高め、より良い相談支援に向けて～」 (講師) 北九州市ひきこもり地域支援センター 和田 修 氏</p> <p>【行政説明】「地域における相談支援について」 (説明者) 保健福祉局 地域支援部 いのちをつなぐネットワーク推進課 名越 雅 康 氏</p>

3 心配ごと相談所の広報・啓発

- ・ 市政だよりへの掲載
- ・ 各区社協だよりへの掲載
- ・ 相談窓口一覧の作成（10,000部作成）
- ・ ホームページへの掲載

◇生活困窮者自立相談支援事業

平成 27 年 4 月から、生活保護に至る前の段階にある生活困窮者の自立支援を強化するための生活困窮者自立支援制度が施行されました。

平成 26 年度 10 月からの小倉北区でのモデル事業での実績を活かし、市内全 7 区の相談窓口「いのちをつなぐネットワークコーナー」で、制度の中核・必須である自立相談支援事業を実施しました。

地域の多様な専門機関や福祉活動等と連携して、対象者への相談支援に取り組むとともに、生活困窮者支援を行っている関係機関等とのネットワークづくりや生活困窮者の支援に関する社会資源の開発にも、地域福祉の視点で取り組みました。

1 自立相談支援機関の開設と関係機関とのネットワークに関わる業務

(1) 事業の周知及び広報

広報用リーフレット、ポスターを作成し、関係機関・団体とも連携しながら、事業の周知・広報に努めました。

①印刷物の発行（リーフレット 20,000 枚、ポスター 100 枚）

②市・区社協広報紙への掲載

掲載物	掲載回数（掲載号）	備考
市社協広報紙	1 回（8/1）	市内組回覧等
門司区社協広報紙	1 回（5/15）	区内全戸配付等
小倉北区社協広報紙	2 回（4/15、7/15）	〃
小倉南区社協広報紙	4 回（4/15、7/15、10/15、1/15）	〃
若松区社協広報紙	1 回（7/15）	〃
八幡東区社協広報紙	1 回（4/15）	〃
八幡西区社協広報紙	2 回（5/15、7/15）	〃
戸畑区社協広報紙	1 回（9/15）	〃

(2) 関係機関とのネットワークづくりに関わる業務

支援調整会議その他の既存の合議体の活用他に、他の関係機関が行う会議等にも参加し、生活困窮者支援を行っている関係機関等とネットワークづくりに取り組み、支援の際にスムーズに連携できるよう努めました。

【ネットワークづくりを行った主な関係機関・団体】

No.	分類	関係機関・団体名
1	市及び各区の行政関係機関	市保健福祉局いのちをつなぐネットワーク推進課
2		高年齢者就業支援センター
3		母子福祉センター
4		子ども総合センター
5		消費生活センター
6		精神保健福祉センター

7		各区役所保健福祉課、保護課、コミュニティ支援課(市民センター)、国保年金課、納税課、市営住宅相談コーナー、地域包括支援センター
8	市社協関係	市社協課長・区社協事務局長会議、市・区民生委員児童委員協議会、生活福祉資金貸付相談コーナー、福祉人材バンク、権利擁護・市民後見センター、ボランティア・市民活動センター、年長者研修大学校
9	各区社協	校(地)区社協、地区民生委員児童委員協議会、各区心配ごと相談所
10	その他の関係機関	福岡県社会福祉協議会
11		グリーンコープ生活協同組合ふくおか
12		認定NPO法人抱樸
13		福岡労働局
14		小倉公共職業安定所 福祉・就労支援コーナー
15		八幡公共職業安定所 福祉・就労支援コーナー
16		北九州若者サポートステーション
17		若者ワークプラザ北九州
18		子ども・若者応援センター YELL
19		障害者基幹相談支援センター
20		障害福祉団体連絡協議会
21		障害者しごとサポートセンター
22		ひきこもり地域支援センターすてっぷ
23		発達障害者支援センター つばさ
24		法テラス北九州
25		障害福祉サービス事業所
26		医療機関
27		福岡県精神保健福祉士会北九州支部
28	民間企業等(不動産業者等)	

(3) 職員の研修

国の研修を受講した職員等が講師役となり、従事予定者研修や定期的な相談支援員連絡会を行って、他法他施策の理解、相談援助技術の向上に努めました。

また、生活福祉資金貸付コーナー、福祉人材バンクの職員その他、任意事業受託団体の職員にも参加を呼びかけ、実施しました。

① 相談・就労支援員連絡会・研修

開催日・会場	参加人員	内 容
H27.6.15 ウェルとばた	相談支援員 7 事務局等 4 関係団体 1	1 生活福祉資金貸付制度との連携について 2 事例検討(小倉北区、小倉南区) 3 確認事項 (1) 住居確保給付金関係 (2) 他の任意事業との連携状況 (3) 入力・集計支援ツール (4) 関連する社会資源情報・活用状況

H27. 8. 28 ウェルとばた	相談支援員 7 事務局等 4 関係団体 1	1 困窮者支援を通じた地域づくりという視点 2 事例検討（八幡東区、八幡西区） 3 確認事項 (1) 他の任意事業との連携状況 (2) 入力・集計支援ツール (3) 関連する社会資源情報・活用状況
H27. 9. 9 ウェルとばた	就労支援員 7 事務局等 2	1 自立相談支援事業における就労支援について 2 生活福祉資金貸付制度との連携について
H27. 10. 20 ウェルとばた	相談支援員 7 事務局等 3 関係団体 2	1 相談支援員養成研修（全社協主催）伝達研修 2 事例検討（門司区） 3 確認事項 (1) 他の任意事業との連携状況 (2) 生活福祉資金貸付制度・福祉人材バンク (3) 関連する社会資源情報・活用状況
H27. 12. 21 ウェルとばた	相談支援員 7 事務局等 4 関係団体 2	1 就労支援員養成研修（全社協主催）伝達研修 2 事例検討（若松区） 3 確認事項 (1) 他の任意事業との連携状況 (2) 生活福祉資金貸付制度・福祉人材バンク (3) 関連する社会資源情報・活用状況
H27. 11. 7～8 福岡大学	相談支援員 4 事務局等 4	第2回生活困窮者自立支援全国研究交流大会
H27. 11. 19 総合保健福祉 センター	相談支援員 4 事務局 1	障害者の地域生活支援研究会 1 障害者の就労支援 2 北九州障害者仕事サポートセンターについて
H28. 2. 16 ウェルとばた	相談支援員 7 事務局等 2 関係団体 2	1 障害年金の現状、制度について 2 事例検討（戸畑区） 3 確認事項 (1) 他の任意事業との連携状況 (2) 生活福祉資金貸付制度・福祉人材バンク (3) 関連する社会資源情報・活用状況
H28. 3. 24 ウェルとばた	相談支援員 5	包摂型家族支援による子どもの貧困対策 「子ども・家族 marugoto プロジェクト」 の必要性について考える

H28. 3. 29 ウェルとばた	相談支援員 7 事務局等 2	住居確保給付金支給事務について
----------------------	-------------------------	-----------------

②全国従事者研修

開催日・会場	参加人員	内 容
H27. 9. 7 ～ 9 全国社会福祉協議会灘尾ホール	相談支援員	自立相談支援事業 【前期】相談支援員養成研修
H27. 10. 7 ～ 9 全国社会福祉協議会中央福祉学院	1	自立相談支援事業 【前期】相談支援員養成研修
H27. 11. 4 ～ 6 全国社会福祉協議会灘尾ホール	就労支援員	自立相談支援事業 【前期】就労支援員養成研修
H27. 12. 9 ～11 全国社会福祉協議会中央福祉学院	1	自立相談支援事業 【前期】就労支援員養成研修

2 自立相談支援機関の運営に関わる業務

(1) 相談支援業務

「生活困窮者自立相談支援事業実施要綱」に基づき相談支援業務を行いました。

(2) 業務の進捗状況の報告及び打ち合わせ

主任相談員（行政のいのちをつなぐネットワーク担当係長）と、業務の進捗状況や業務内容等を報告し、連携を深めました。

(3) 支援調整会議

支援調整会議設置運営要項に則して実施される支援調整会議に参画し、作成した支援計画の適切性等について協議し、関係機関と支援内容を共有しました。

3 成果

(1) 生活困窮者の自立と尊厳の確保

本人の自己選択、自己決定を基本に、経済的自立のみならず日常生活自立や社会生活自立など本人の状態に応じた自立を支援するよう努めました。

また、他の制度で対応可能と思われるものについては、適切につなぎ、必要に応じてフォローしました。

(2) 困窮者支援を通じた地域づくり

困窮者の早期把握や見守りのため、以下のような場を活用し、地域の関係機関・団体との連携に努めました。

- 市社協課長・区社協事務局長会議（毎月）
- 市・区社協地域福祉活動担当者会議（年4回）
- 校(地)区社会福祉協議会連絡調整会議（適宜）
- 地域支援コーディネーター養成研修（年1回）
- 新任福祉協力員研修（各区1回）

○市・区・地区民生委員児童委員協議会定例会（適宜）

○民生委員児童委員研修（適宜）

【相談受付総数と性別、年齢、相談経路（本人特定のみ、本人同意なしを含む）】

		門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	年間計		
受付総数（人）		141	396	275	90	108	335	67	1,412		
（%）		10.0	28.0	19.5	6.4	7.6	23.7	4.7	100.0		
うち	性	男性	69	208	152	50	67	165	29	740	52.4%
		女性	71	188	122	40	41	170	38	670	47.5%
		不明	1	0	1	0	0	0	0	2	0.1%
	年齢	10代	0	2	2	0	0	0	0	4	0.3%
		20代	8	32	30	5	3	29	4	111	7.9%
		30代	17	57	49	12	15	55	10	215	15.2%
		40代	24	93	57	17	19	91	10	311	22.0%
		50代	28	83	40	21	21	68	15	276	19.6%
		60～64歳	13	46	26	9	11	25	4	134	9.5%
		65歳～	47	78	46	25	25	59	24	304	21.5%
不明		4	5	25	1	14	8	0	57	4.0%	
計		141	396	275	90	108	335	67	1,412	100.0%	
経路	相談	本人/来所	85	157	125	51	66	184	32	700	45.0%
		本人/電話・メール	13	38	52	7	8	33	7	158	10.2%
		家族・知人/来所	17	11	8	2	11	20	0	69	4.4%
		家族・知人/電話・メール	6	4	8	2	5	8	2	35	2.3%
		いのちネットコーナーが把握※	0	0	1	1	0	1	0	3	0.2%
		関係機関・関係者紹介	40	181	56	26	24	119	26	472	30.3%
		その他	1	8	0	0	0	52	0	61	3.9%
		不明	1	3	32	4	0	18	0	58	3.7%
計	163	402	282	93	114	435	67	1,556	100.0%		

※「いのちネットコーナーが把握」は、いのちをつなぐネットワークコーナーがアウトリーチして把握した件数

【スクリーニング（支援の継続性についての判断）の状況】

	門司	小倉北	小倉南	若松	八幡東	八幡西	戸畑	年間計		
スクリーニング 実施ケース数	141	401	274	88	107	334	67	1,412		
うち	情報提供・相談対 応のみで終了	70	141	89	42	40	113	26	521	36.9%
	他制度・他機関等 へのつなぎ	54	184	101	29	46	50	23	487	34.5%
	本人未同意、同意に 向けて取り組む	5	0	0	5	2	1	9	22	1.6%
	継続支援し、プラ ン策定	10	71	76	11	17	169	5	359	25.4%
	スクリーニング判断前に 中断・終了	2	5	8	1	2	1	4	23	1.6%
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	計	141	401	274	88	107	334	67	1,412	100.0%

◇福祉人材バンク運営事業

福祉人材バンクでは、求人事業所と求職者とを結びつけるため、関係機関と連携を図りながら、福祉の仕事に関する相談や無料の職業紹介を実施しています。

平成19年度から実施している就労および雇用の機会を拡大するための、「福祉の職場 合同就職面談会」では、ここ数年、参加施設や求人件数の増加に伴い、求人数は増加しているものの、採用数は減少傾向にあり、マッチングや人材確保の難しさが顕著となっています。

また、介護福祉士やホームヘルパー等の資格を有しながら、介護職に就労していない潜在的な介護有資格者を対象とした「介護有資格者向け就労支援セミナー」を行い、実技を中心に即戦力としての福祉人材の掘り起こしや育成に努めました。

1 求人・求職等取扱状況

求人件数	求人数	求人相談件数 *1	求職者数	求職相談件数 *1	紹介数	応募数	採用数	採用率 *2
902	2,284	4,594	395	728	69	74	24	16.8%

*1: 相談件数には、情報提供数を含む。 *2: 採用率=採用数/紹介数と応募数の和。

有効求人件数	有効求人数	有効求職者数	有効求人倍率*3
2,420	6,236	1,282	4.86

*3: 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数

【求人・求職等取扱状況の推移】

年度	求人件数	求人数	求人相談件数 *1	求職者数	求職相談件数 *1	紹介数	応募数	採用数
平成23年度	785	2,034	4,348	639	4,397	157	265	81
平成24年度	848	2,348	4,784	693	4,253	114	232	58
平成25年度	741	2,165	5,375	647	4,151	162	194	52
平成26年度	863	2,384	3,848	503	1,160	64	62	36
平成27年度	902	2,284	4,594	395	728	69	74	24

2 「福祉のしごと 合同就職面談会 in 北九州」の開催

実施日	参加者数	会場・内容
H27. 9. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者 76人 ・求人施設等 49法人 ・採用数 8人 	【会場】 ウェルとばた 【内容】 求人事業所と求職者との面談 求職相談・登録 福祉の資格相談
H28. 1.28	<ul style="list-style-type: none"> ・求職者 85人 ・求人施設等 52法人 ・採用数 8人 	
計(2回)	求職者161人、求人施設等101施設、採用数16人	

【福祉のしごと 合同就職面談会 in 北九州 実績の推移】

年度	参加施設	求人件数	求人数	来場者数	紹介数	採用数
平成 23 年度	84	244	678	301	85	31
平成 24 年度	102	326	975	288	73	26
平成 25 年度	100	373	1,151	309	97	19
平成 26 年度	101	358	1,043	175	36	16
平成 27 年度	101	356	917	161	44	16

3 行政・関係機関との連携

- ・厚生労働省（事業の後援）
- ・中央福祉人材センター（事業支援、システム研修等）
- ・福岡県内福祉人材センター・バンク（事業の共催、県合同就職面談会への職員派遣等）
- ・北九州市（事業の共催・協力：合同就職面談会、介護の職場出前授業等）
- ・高齢者就業支援センター、シティハローワーク
- ・福岡労働局（事業報告等）
- ・北九州地域ハローワーク（求人情報の提供、面談会の後援と相談員の派遣）
- ・北九州商工会議所（面談会の後援）

4 労働環境の整備の推進

民間社会福祉事業従事者を対象とした職場のメンタルヘルス研修会の開催

実施日	人員・会場	内 容
H27. 8. 20	43 人 ウエルとばた	（講義）「良好な人間関係の築き方 ～エニアグラム性格タイプ診断を用いて コミュニケーション力をアップ！～」 （講師）若者ワークプラザ北九州 キャリアカウンセラー 島上 未来子 坂本 佳代子

5 広報・啓発活動

- （1）定期的な情報提供
 - ・求職者へ求人情報を送付（毎月1回）
 - ・各団体及び求職者へ各種イベント等の案内を送付
- （2）福祉資格等の取得促進支援
 - ・福祉資格取得及び研修受講について情報収集し、相談者に提供
- （3）求人事業者・求職者の開拓
 - ・福岡県内福祉系学校、普通科校、総合大学への案内
 - ・北九州市内社会福祉事業者への案内

(4) 各種媒体の積極的活用

- ・ 広報紙への掲載（市政だより、市社協だより）
- ・ 市社協ホームページへの掲載
- ・ 福祉人材情報システム「福祉のお仕事」
- ・ 新聞広告掲載（毎日新聞、朝日新聞、西日本新聞：452,000部）
- ・ 求人情報紙「パコラ」広告掲載（346,900部）
- ・ 週刊情報誌「リビング北九州」広告掲載（74,600部）
- ・ 合同企業説明会でのブース出展、求職登録受付

(5) 印刷発行物

- ・ 合同就職面談会（チラシ12,000部、ポスター800枚）
- ・ 就労支援セミナー（チラシ8,000部、ポスター600枚）

6 潜在的有資格者就労支援事業「介護有資格者向け就労支援セミナー」の開催

実施日	人員・会場	就職者数	内 容
H27. 8. 4 H27. 8. 5 H27. 8. 6 H27. 8. 10	13人 ウエルとばた	3人	【講義：3日間】 介護保険制度の概要、労働法令の基礎知識、介護技術実技実習、介護現場に求められる人材とは、介護職のやりがい、介護の仕事に携わって、好感度アップの面接マナー等 【施設見学：1日間】 1人2カ所の介護事業所を見学
H27. 11. 18 H27. 11. 19 H27. 11. 20 H27. 11. 27	15人 ウエルとばた	5人	
計	28人	8人	

7 福祉人材バンク運営委員会

実施日	人員・会場	内 容
H27. 6. 26	9人 ウエルとばた	・平成26年度事業報告 ・平成27年度事業計画

◇認知症サポーターキャラバン事業

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーター養成講座の開催や講座の講師役となるキャラバン・メイトの新規養成等を行い、認知症になってもみんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくりを進めました。

平成27年度は、認知症サポーター受講者7,802人、認知症サポーターステップアップ研修受講者1,179人、合計受講者8,981人、認知症サポーターの累計が64,922人となりました。

また、メール配信サービスでは、登録者数が前年より1,000人以上増加し、行方不明の徘徊高齢者の情報や認知症に関する情報を多くの人に配信することができました。

1 認知症サポーター養成講座実施状況

開催回数						サポーター数(人)					
住民団体		企業	学校	行政	計	住民団体		企業	学校	行政	計
校区社協	その他					校区社協	その他				
12	96	103	9	45	265	538	2,693	3,048	484	1,039	7,802

2 認知症サポーターステップアップ研修実施状況

開催回数						サポーター数					
住民団体		企業	学校	行政	計	住民団体		企業	学校	行政	計
校区社協	その他					校区社協	その他				
5	20	4	0	0	29	299	772	108	0	0	1,179
認知症サポーター数(累計)											64,922

3 認知症サポーター養成講座の広報

紹介資料・メディア等	回数
市社協ホームページ事業概要	常設
北九州市ホームページ	常設
きたきゅうしゅう市社協だより	2
市政だより	4
情報誌	2
新聞	2
もりフォーラム	1
ふれあいフェスタ2015	1
認知症啓発月間 街頭啓発	1

4 キャラバン・メイト新規養成研修の実施

実施日	会場・人員	内容
H27. 8. 22	ウェルとばた 43人	1 講義「認知症サポーターに伝えたいこと」 (講師) たつのおとしごクリニック 院長 小野 隆生 2 講義「認知症サポーターとは」 (講師) キャラバン・メイト 田代 久美枝 3 講義「認知症サポーター養成講座運営について」 (講師) キャラバン・メイト 伊藤 千里 4 事務連絡 北九州市社会福祉協議会

5 キャラバン・メイトフォローアップ研修の実施

実施日	会場・人員	内容
H28. 3. 5	ウェルとばた 43人	1 講義「認知症について【予防・対策】」 (講師) 医療法人ふらて会 西野病院 院長 西野 憲史 2 講義「キャラバン・メイトの役割を果たし、 さらにスキルアップしていくためには」 (講師) 北九州市障害者基幹相談支援センター 地域アドバイザー 一広 伸子 3 報告「認知症サポーターキャラバン事業の運営について」

6 一般市民向け認知症サポーター養成講座の開催

開催日	開催場所	キャラバン・メイト	受講人数
H27. 6. 22	ウェルとばた	基礎編：伊藤 千里	103人
		応用編：伊藤 千里	103人
H27. 10. 14		基礎編：田代 元輝	55人
		応用編：高田 芳信	47人
H27. 12. 20		基礎編：荒木 美奈 奥水 薫	51人
		応用編：荒木 美奈 奥水 薫	65人
H28. 3. 1		基礎編：田中 良幸	69人
		応用編：相島 佐智子	66人

7 キャラバン・メイト情報交換会の開催

開催日	開催場所	キャラバン・メイト	内容
H27. 4. 23	ウェルとばた	伊藤 千里	認知症サポーターフォローアップ研修の内容について 認知症サポーター養成講座の進め方について
H27. 5. 29		田代 久美枝	
H27. 7. 29		福嶋 万里子	
H27. 9. 14		富田 弘子	

8 チラシの作成

名 称	発行部数(計)
認知症について学ぶ講座（基礎編・応用編）	5,000 部

9 メール配信サービス状況

登録者数			配信回数				
男性	女性	計	前年度より 増加	行方不明者 情報	行方不明者 発見情報	認知症関連 イベント情報	計
1,856 人	1,613 人	3,469 人	1,043 人	5 回	5 回	6 回	16 回

10 その他

内 容	回 数
北九州市「認知症啓発月間」街頭啓発への参加	1 回
もりフォーラム実行委員会への参加	2 回

◇介護サービス相談員派遣事業

介護サービスの質の向上を図ることを目的として、介護サービス相談員を介護事業所に派遣し、入所者や家族から介護サービス等に関する相談を受け、相談者に代わり事業者へサービス向上、改善に結びつく提案などを行いました。

平成27年度は、新規に26カ所の事業所へ派遣を行い、合計120カ所へ相談員を派遣しました。

この拡大に伴い、介護サービス相談員（有償ボランティア）の対応力の向上、利用者の生活の向上を支援するため、相談員の連絡会を4回開催しました。第3回連絡会では、介護サービス事業所の視察研修を行いました。

また、相談事業の効果的な運営を図るため、事務局担当者が全国介護相談活動事例報告会に参加しました。

1 訪問・相談等実施状況

施設種別	訪問		話を聞いた		相談件数						気づき 伝 え 業 た 所 件 数 に
					事業所に伝えた 件数			相談者の希望に より伝えなかった 件数			
	回数	時間	人数	件数	つ 利 用 者 に	つ 施 い 設 て に	そ の 他	つ 利 用 者 に	つ 施 い 設 て に	そ の 他	
介護老人福祉施設	546	1,115:24	6,490	16,577	7	43	4	2	3	1	49
介護老人保健施設	77	161:35	1,167	3,355	3	7	1	0	0	0	3
通所介護	134	233:05	1,275	3,909	0	1	0	0	1	0	2
認知症対応型共同生活介護	586	1,060:35	4,360	11,111	5	14	1	3	4	0	31
介護療養型医療施設	38	74:10	245	786	4	5	0	0	0	0	1
小規模多機能型居宅介護	171	179:05	1,002	2,409	3	4	0	0	0	0	3
計	1,552	2,823:54	14,539	38,147	22	74	6	5	8	1	89

2 過年度派遣事業の推移

実施年度	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	通所介護	通所リハビリテーション	認知症対応型共同生活介護	介護療養型医療施設	小規模多機能型居宅介護	合計 (カ所)	相談員数 (人)
平成23年度	24	9	61	6	36	4	-	140	106
平成24年度	32	12	45	6	40	4	-	139	99
平成25年度	30	7	39	3	42	2	7	130	91
平成26年度	39	6	20	3	50	2	10	130	92
平成27年度	42	7	8	0	46	4	13	120	88

3 新規派遣開始事業所

施設種別	新規派遣開始	継続派遣中	合計（カ所）
	平成 27 年 9 月～	(平成 27 年 4 月)	(平成 28 年 3 月)
介護老人福祉施設	7	35	42
介護老人保健施設	2	5	7
通 所 介 護	0	8	8
認知症対応型共同生活介護	12	34	46
介護療養型医療施設	2	2	4
小規模多機能型居宅介護	3	10	13
計	26	94	120

4 派遣終了事業所

施設名称	派遣終了事業所数	派遣年数	派遣期間
介護老人福祉施設	5	5年	平成 22 年 7 月～平成 28 年 3 月
介護老人保健施設	2	5年	平成 22 年 7 月～平成 28 年 3 月
通 所 介 護	8	3年	平成 24 年 9 月～平成 28 年 3 月
認知症対応型共同生活介護	7	3年	平成 24 年 9 月～平成 28 年 3 月
介護療養型医療施設	1	5年	平成 22 年 7 月～平成 28 年 3 月
計	23		

5 介護サービス相談員構成

(単位：人)

内 訳	男性	女性	合計
生きがい活動支援員(市社協非常勤職員)	0	8	8
見守りサポーター	1	20	21
北九州市社会福祉協議会 退職職員	1	8	9
一般公募者(平成 20 年度より)	3	32	35
その他	0	15	15
計(平成 28 年 3 月末現在)	5	83	88

6 介護サービス相談員連絡会

実施日	人員・会場	内 容
H27. 5. 13	58 人 ウェルとばた 121・122 会議室	1 講義「介護保険制度改正の概要」 北九州市保健福祉局 介護保険課 居宅サービス係長 横山 伸一 2 連絡事項 ・派遣満了事業所アンケートについて ・健康マイレージ事業について
H27. 8. 18	52 人 ウェルとばた 83・84 会議室	1 グループワーク 事例検討及び発表 (6 グループ) 2 講評 北九州市保健福祉局 介護保険課 事業者支援係長 江口 毅 北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 計画調整担当課長 南里 佳代子 3 連絡事項 ・介護相談・地域づくり連絡会全国調査結果報告 第3回連絡会 (視察研修について)
①H27. 10. 22 ②H27. 10. 23	21 人 20 人 喜楽デイサービス センター行橋市	介護サービス事業所 視察研修 (目的) 介護サービス相談員が担当以外の介護サービス事業所の状況を知ることで、施設サービスについての広い見識を持ち、利用者からの幅広い相談内容に対応できるように、また、視察研修を通じて相談員相互の交流や情報交換を促すことを目的として実施。 (視察内容) ・施設の概要、介護サービス相談員に望むこと ・施設内の見学 ・施設担当者との意見交換
H28. 2. 4	56 人 ウェルとばた 12階H I 研修室	1 講義「あんしんな暮らしのおてつだい～地域権利擁護事業・法人後見事業について」 北九州市社会福祉協議会 権利擁護・市民後見センター 次長 杉本 真奈美 2 連絡事項 ・平成 27 年度派遣満了事業所アンケート調査について ・「身体拘束・虐待の未然防止に向けた取り組み」アンケートについて ・マイナンバー確認書類の提出について ・次年度事業予定

7 新規事業者説明会

実施日	人員・会場	内 容
H27. 8. 25	21 事業所 ウェルとばた 12 階H I 会議室	平成 27 年度北九州市介護サービス相談員派遣事業新規事業者説明会 ※台風接近のため中止、資料送付 ※初回訪問時に事務局より説明

8 報告書・リーフレットの作成

発行日	発行部数	内 容
H27. 7. 30	3,000 300	介護サービス相談員派遣事業リーフレット 介護サービス相談員派遣事業ポスター
H27. 8. 5	1,000	平成 26 年度介護サービス相談員派遣事業報告書

9 研修・報告会

実施日	人員・会場	内 容
H27. 12. 7	1 人 アルカディア市ヶ谷 私学会館 (東京都千代田区)	平成 27 年度市町村介護相談員派遣等事業 事務局担当者研修

◇高齢者見守りサポーター派遣事業

認知症等により見守りが必要な在宅高齢者を介護する家族などの負担を軽減するため、住民参加型在宅福祉サービスとして「見守りサポーター」（有償ボランティア）を派遣しています。高齢者に寄り添い、見守りや話し相手などを行うことにより、高齢者と家族が安心して地域のなかで生活できるように支援しています。

見守りサポーターの活動上の課題を探るため、研修・連絡会を開催し、サポーターの不安解消と対応技量の向上に努めました。

1 派遣状況等

新規利用申請	新規利用登録数	利用登録取消	派遣延べ回数
14	10	19	394

2 関係機関等との連絡調整

内容 相手先	申請方法	利用内容 活動内容	日程調整	介護保険等 他のサー ビスに関 する相談	その他	合 計
家族	10	61	147	0	9	227
サポーター	3	130	215	6	92	446
ケアマネジャー	26	31	30	1	0	88
地域包括等	33	14	3	1	3	54
その他（市民等）	4	4	0	0	1	9
計	76	240	395	8	105	824

3 過年度利用状況の推移

実施年度	利用登録者数	延べ利用者数	サポーター数	派遣延べ回数
平成 20 年度	59	123	49	668
平成 21 年度	60	126	78	590
平成 22 年度	77	67	65	218
平成 23 年度	95	96	49	377
平成 24 年度	80	145	49	559
平成 25 年度	58	119	40	370
平成 26 年度	60	114	50	385
平成 27 年度	51	124	47	394

4 高齢者見守りサポーターへの研修

実施日	会場・人員	内 容
H27. 6. 10	ウェルとばた 12階HI研修室 20人	講義「認知症の基礎知識」 (講師) グループホームきずな施設長 田代 元輝
H28. 1. 21	ウェルとばた 12階HI研修室 22人	1 講義「認知症ケア～その人らしさを支援する為の理解」 (講師) 月うさぎ 福祉グループ施設長 中岡 浩史 2 講習「覚えて安心・応急手当」 (講師) 戸畑消防署

5 事業説明・紹介

内 容	回数	人員
校(地)区社協関連会議	5	244
居宅・医療・施設	11	838
老人会	1	20
家族の会等	2	26
住民	15	728
市社協各部署	20	497
企業	2	36
地域包括(統括)支援センター	33	649
その他	4	157
合 計	93	3,195

6 利用登録者意向確認調査

実施日	対象者	回答数(電話回答含む)	未回答数	回答率
H28. 2. 3	51	43	8	84%
(調査結果概要) 1 今回は登録者(H27年度新規登録者を除く)を対象にアンケートを実施した。 2 利用状況(現在利用者のみ回答) (1)料金について①大変満足2名 ②満足2名 ③ふつう2名 ④不満0名 ⑤その他1名(その他の理由 少し安い) (2)時間について①大変満足3名 ②満足1名 ③ふつう3名 (3)サポーターの活動①大変満足5名 ②満足2名 3 未利用の理由として、①介護保険で対応12名(26%)、②家族の介護で対応9名(20%)、③状態が落ち着いている7名(15%)、④施設入所6名(13%)、⑤その他12名(26%) 4 今後の利用については①すぐに利用再開0名(0%)、②しばらくして利用2名(6%)、③いまのといころ利用の予定なし16名(50%)、④取消希望14名(44%)				

7 サポーター意向確認調査

実施日	人員	更新	辞退
H28. 1. 7	47 人	42 人	5 人

◇高齢者地域交流支援通所事業

高齢者地域交流支援通所事業は、平成 12 年から北九州市より受託し実施している事業です。市内に居住する在宅の 65 歳以上の高齢者のうち、要介護状態等となる恐れの高い状態にあると認められる方に対し、介護予防や自立支援のためのプログラムを提供することを目的に、市内 50 ヶ所の市民センターにおいて実施しました。

特徴的な取り組みは、運動指導士による「運動器の機能向上」、管理栄養士による「栄養改善」、歯科衛生士による「口腔機能向上」を複合的に行う介護予防プログラムで、全市民センターにおいて月 2 回実施し、延べ 13,614 人の利用者が参加して体力年齢の維持向上に努めました。

介護予防の効果により、平均年齢 81.3 歳という約 700 名の高齢者が介護保険の要介護認定を受けずに住み慣れた地域で在宅生活を送っています。

また、支援員や指導員が普段から利用者の状況把握に努め、きめ細かい見守りや助言を行うことで、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を推進しました。

1 年間利用状況

区	市民センター	実施日数 (日)	登録者数 (人)	利用者数 (人)			平均 利用者数
					男	女	
門司区 ⑦	小森江西	95	15	987	0	987	10.4
	清見	92	11	874	0	874	9.5
	白野江	93	13	1,057	0	1,057	11.4
	錦町	95	12	894	0	894	9.4
	萩ヶ丘	94	17	996	101	895	10.6
	松ヶ江北	95	14	1,075	240	835	11.3
	丸山	96	9	652	60	592	6.8
小倉北区 ⑨	足原	91	15	1,078	0	1,078	11.8
	足立	92	16	935	0	935	10.2
	今町	86	20	1,337	95	1,242	15.5
	清水	97	23	1,687	76	1,611	17.4
	寿山	92	15	1,047	111	936	11.4
	中島	92	18	1,207	0	1,207	13.1
	西小倉	93	15	1,032	0	1,032	11.1
	南小倉	94	9	514	102	412	5.5
	井堀	97	15	1,234	7	1,227	12.7
小倉南区 ⑨	長行	94	9	656	122	534	7.0
	葛原	93	16	1,282	256	1,026	13.8
	曾根	93	18	1,465	95	1,370	15.8
	長尾	94	9	689	240	449	7.3
	貫	94	10	811	90	721	8.6
	東朽網	95	15	1,304	321	983	13.7

区	市民センター	実施日数 (日)	登録者数 (人)	利用者数 (人)			平均 利用者数
					男	女	
小倉 南区 ⑨	守恒	94	15	1,176	0	1,176	12.5
	湯川	92	15	1,175	291	884	12.8
	若園	96	12	1,190	277	913	12.4
若松 区 ⑤	赤崎	94	13	1,025	0	1,025	10.9
	高須	91	9	682	51	631	7.5
	深町	95	6	532	0	532	5.6
	二島	95	10	843	0	843	8.9
	若松中央	95	13	1,048	85	963	11.0
八幡 東区 ⑤	枝光	93	13	1,107	84	1,023	11.9
	枝光南	97	5	589	76	513	6.1
	尾倉	95	17	1,228	0	1,228	12.9
	槻田	93	14	1,249	333	916	13.4
	前田	97	17	1,446	0	1,446	14.9
八幡 西区 ⑪	青山	93	16	1,334	176	1,158	14.3
	赤坂	93	9	722	0	722	7.8
	浅川	92	15	1,030	0	1,030	11.2
	池田	93	16	1,223	122	1,101	13.2
	永犬丸	94	17	1,388	0	1,388	14.8
	大原	90	17	1,314	0	1,314	14.6
	楠橋	95	28	2,073	0	2,073	21.8
	木屋瀬	95	19	1,439	83	1,356	15.1
	塔野	97	17	1,301	89	1,212	13.4
	鳴水	96	16	1,200	0	1,200	12.5
	本城	92	8	675	0	675	7.3
戸畑 区 ④	大谷	91	12	871	0	871	9.6
	浅生	95	10	831	0	831	8.7
	中原	94	16	1,243	0	1,243	13.2
	牧山東	94	12	1,018	0	1,018	10.8
計 (50 館)		4,688	701	53,765	3,583	50,182	11.5

2 過年度利用状況の推移

実施年度	実施館数	登録者数	延実施日数	延利用者数	平均利用者数
平成 23 年度	49	696	4,683	53,603	11.4
平成 24 年度	50	699	4,774	53,925	11.3
平成 25 年度	50	682	4,696	51,406	10.9
平成 26 年度	50	703	4,649	52,262	11.2
平成 27 年度	50	714	4,688	53,765	11.5

3 介護予防プログラム

内 容	1館あたりの 年間回数	延実施回数	延参加者数
体力テスト	2	100	1,149
運動器の機能向上プログラム	18	899	10,192
栄養改善プログラム	2	100	1,122
口腔機能向上プログラム	2	100	1,151
計	24	1,199	13,614

※運動器の機能向上プログラムは、空調の故障による当日中止のため、年間回数が17回のセンターが1センターあり

4 研修会

実施日	会場・人員	内 容
H27. 4. 15 ～H28. 3. 9 の間で延べ 16回	市民センター 17人 (対象：新採職員)	平成27年度支援員新任者研修 (1) 北九州市社会福祉協議会について (2) 市民センターについて (3) 高齢者地域交流支援通所事業について (講師) 北九州市社会福祉協議会 生活福祉課
H27. 12. 17 H27. 12. 18	ウエルとばた 2階多目的ホール 144人	平成27年度支援員現任研修 ・講義1「介護予防・日常生活支援総合事業について」 (講師) 北九州市役所 保健福祉局地域支援部 いのちをつなぐネットワーク推進課 総合事業担当係長 田津 真一 ・講義2「認知症の人との上手な接し方」 (講師) キャラバン・メイト 田代 元輝
計 (18回)	161人	

5 会議

会議名	実施回数	内 容
生活福祉課定例会	12	概ね毎月1回、事務局、指導員による事業運営に関する連絡調整、事例検討、情報交換・共有等
ブロック会議 (会議形式)	7	50センターをブロックに分けての、事務局、指導員、支援員による情報交換、連絡調整等
ミーティング	550	指導員と支援員による業務調整の月例ミーティング (各市民センター月1回、2時間程度)
計	569	

6 全体行事

①「年長者作品展」

区	実施日	会場	内 容
門司	H27. 9. 9 ～H27. 9. 11	門司生涯学習センター 1階 講堂	高齢者地域交流支援 通所事業のプログラ ムの中で、利用者が 製作した様々な作品 を、各区社協主催の 「年長者作品展」に 出展
小倉南	H27. 9. 1 ～H27. 9. 5	小倉南生涯学習センター 2階 展示コーナー	
若松	H27. 10. 26 ～H27. 10. 28	若松区役所 1階 市民ホール	
八幡東	H27. 9. 7 ～H27. 9. 11	八幡東区社会福祉センター 3階研修室及び1階ロビー	
八幡西	H27. 9. 8 ～H27. 9. 11	コムシティ3階 北九州市立美術館黒崎市民 ギャラリー	
戸畑	H27. 9. 26 ～H27. 10. 1	戸畑生涯学習センター 1階 市民ギャラリー	
計		6回	

②市社協創設 50 周年記念事業 高齢者地域交流支援通所事業作品展

実施日	会場	内 容
H27. 11. 16 ～H27. 11. 23	ウェルとばた2階 交流プラザ	高齢者地域交流支援通所事業の利用 者が市社協 50 周年の歩みをテーマ に、50年の時代の変遷を表現した作 品をプログラムの中で製作し、出展

7 指導員による業務支援

種 別	回数	内 容
指導員の話	137	指導員による共通テーマの出前講演プログラム 〔主なテーマ〕介護予防、共同募金、高齢者のための 便利なサービス等
プログラム運営支援	395	臨時的事業や介護予防プログラム等の支援及び補 助、定期的な巡回による相談対応、助言等
訪問指導	1,456	庶務・経理事務指導、事故処理、情報伝達等の事業 運営に必要な事務連絡及び調整
代替業務	49	支援員の休務の際のバックアップ
計	2,037	

8 各種交流事業

種 別	回数	人員	内 容
世代間交流	16	226	そうめん流し、ウェルクラブ・子育て広場・保育園との交流 他
地域・団体との交流	325	4,507	センターまつり、避難訓練、もちつき、グラウンドゴルフ大会、ペタンク大会 他
ふれあい昼食交流会	118	1,496	食生活改善推進員の実施する「ふれあい昼食交流会」に参加し、地域の高齢者との交流を図る。
計	459	6,229	

9 実習生の受け入れ

実施日	会場・人員	内 容
H27. 5. 21 H27. 5. 25 H27. 6. 8 H27. 7. 10 H27. 7. 13 H27. 7. 24	市民センター 九州歯科大学学生 24人	九州歯科大学実習生の受入 ・実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加
H27. 7. 7 H27. 7. 9	市民センター 小倉南看護専門学校 18人	小倉南看護専門学校実習生の受入 ・実習「高齢者地域交流支援通所授業」への参加
H27. 8. 21 H27. 9. 24	ウェルとばた 市民センター 大学生10人	平成27年度相談援助実習 ・講義「生活福祉課事業概要」について ・実習「高齢者地域交流支援通所事業」へ参加 (県内の6大学より受け入れ)
計	52人	

10 支援員面接選考

実施日	面接会場	内 容
H27. 4. 13 ～H28. 3. 3 の間で延べ4回	各市民センター	一般公募により応募のあった候補者に対し、選考委員会（市民センター館長、まちづくり協議会、市社協で構成）を設けて面接選考試験を実施

11 広報・啓発

内 容	実施回数
市民センターだより掲載、各種交流事業等での事業紹介	12
市民センターだより掲載、各種交流事業等でのPRによる利用者募	11
市民センターだより掲載、チラシ配布、ポスター掲示による支援員	19
計	42

◇健康マイレージ事業

健康マイレージ事業は、生涯を通じた健康づくりを推進するため、40歳以上の市民を対象に、介護予防・生活習慣改善等の取り組みや各種健康診査の受診等をポイント化し、そのポイントを健康グッズと交換することで、健康づくりの重要性を広く普及啓発するとともに、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取り組みを促進することを目的としています。

この事業は、平成21年度から始まりましたが、当初3年間は市が直接実施し、平成24年度から社協が受託しました。昨年度は応募者数が前年比120%の24,579人という結果でしたが、本年度についても、市の目標値である応募者25,000人を上回る、27,104人の方のご応募をいただくという、大きな成果をあげることができました。

その具体的な取り組みとして、ポスター・のぼり等の広報啓発物を用いたPRや職員による出前形式の事業説明を延べ1,309回実施するとともに、ホームページでのブログの開設、社協だよりや市民センターだよりなど広報紙への掲載、本会賛助会員企業を主体とした民間企業へのPRなど、社協の組織力を十分に活用した幅広い活動を行いました。

また、校(地)区社協の福祉協力員等を主体に、見守り対象者への健康づくり活動等への参加の呼びかけを行い、「ふれあいネットワーク活動」の充実強化に努めました。

1 実施状況

(1) 実施期間

- ① 準備期間：平成27年4月1日～平成27年5月31日
- ② ポイント配付期間：平成27年6月1日～平成28年3月7日
- ③ 対象事業期間：平成27年6月1日～平成28年3月7日
- ④ 応募受付期間：平成27年10月1日～平成28年3月7日

(2) 広報・啓発活動等実施実績

① 事業説明・パンフレット等配布実績

項目	平成27年度	平成26年度	増減
事業説明回数	1,306回	1,616回	▲310回
パンフレット配布数	226,006部	220,971部	5,035部
ポイントシール配付数	490,697部	447,388部	43,309部
対象事業一覧表配布数	7,728部	7,272部	456部

② 広報紙等への掲載回数実績

掲載紙の種別	平成27年度	平成26年度
市政だより・区役所の発行する広報紙	8回	9回
市民センターだより	307回	249回
市社協・区社協・校(地)区社協の発行する広報紙	37回	44回
その他の地域団体、企業が発行する広報紙	10回	39回

掲載紙の種別	H27 年度	H26 年度
新聞・フリーペーパー	1 回	5 回
計	363 回	346 回

- ③ ホームページへの掲載（対象事業一覧表、活動報告等） 72 回
- ④ ブログ『マイレージ通信』への掲載 31 回
- ⑤ ブログ『マイレージ通信』へのアクセス回数 2,048 回
- ⑥ 市社協賛助会員企業への事業PR（DM送付含む） 350 社
- ⑦ のぼり（大）作成 70 枚
- ⑧ コーディネーター等によるイベント・事業でのPR活動

実施日	会場	出務人員	イベント・事業名
H27.11.1	西日本総合展示場	3	第4回健康フェア
計	1 回		

- ⑨ 北九州市健康づくり推進員の会による広報・啓発活動実績
実施期間：平成27年7月1日～平成28年2月29日

区	センター数 (館)	活動センター数 (館)	延べ活動数 (回)	活動費対象 実績数(回)	活動費 (円)
門司	20	17	218	165	165,000
小倉北	22	21	313	233	233,000
小倉南	24	24	438	252	252,000
若松	10	10	151	98	98,000
八幡東	13	12	309	144	144,000
八幡西	33	33	671	357	357,000
戸畑	12	12	229	144	144,000
計	134	129	2,329	1,393	1,393,000

※活動費は、1,000円/回で、1センターあたり12回まで

(3) 対象事業登録実績

区分（事業登録者）	平成27年度	平成26年度	増減
行政	168	182	▲14
保健福祉局	48	41	7
健康推進課	37	38	▲1
高齢者支援課	2	2	0
障害福祉課	0	0	0
介護保険課	0	0	0
その他	9	1	8
門司区役所	10	11	▲1

区分（事業登録者）		平成 27 年度	平成 26 年度	増減
小倉北区役所		2	12	▲10
小倉南区役所		6	5	1
若松区役所		13	16	▲3
八幡東区役所		24	15	9
八幡西区役所		8	15	▲7
戸畑区役所		5	19	▲14
その他の市関係局		52	48	4
関係団体等		163	188	▲25
体育協会・レクリエーション協会		63	52	11
三師会		8	11	▲3
各種講座・教室（カルチャーセンター等）		92	125	▲33
スポーツクラブ		16	28	▲12
市社協		53	60	▲7
企業		46	26	20
地域住民事業（区・校区社協含む）		3, 812	3, 408	404
門司区		381	308	73
小倉北区		544	544	0
小倉南区		753	701	52
若松区		325	320	5
八幡東区		349	270	79
八幡西区		1, 092	1, 003	89
戸畑区		368	262	106
市民センター		2, 729	2, 425	304
門司区（19）		390	361	29
小倉北区（22）		343	252	91
小倉南区（24）		453	368	85
若松区（10）		162	197	▲35
八幡東区（13）		276	177	99
八幡西区（33）		878	895	▲17
戸畑区（12）		227	175	52
計		6, 987	6, 317	670

※市民センターの（ ）内は、サブセンターを含むセンター数

（４）校(地)区社協による啓発活動実績

活動期間：平成 27 年 6 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日

区社協	校(地)区社協数	啓発活動回数合計（回）					活動費交付額（円）
		事業登録	連絡調整	広報	参加促進	計	
門司	21	383	346	420	2, 080	3, 229	1, 050, 000
小倉北	25	536	634	521	2, 433	4, 124	1, 250, 000

区社協	校(地) 区社協 数	啓発活動回数合計(回)					活動費交付 額(円)
		事業登録	連絡調整	広報	参加促進	計	
小倉南	27	811	542	399	3,575	5,327	1,339,000
若松	13	148	171	277	1,043	1,639	593,500
八幡東	21	195	206	744	9,647	10,792	1,050,000
八幡西	33	931	852	858	5,228	7,869	1,650,000
戸畑	14	173	239	264	1,567	2,243	700,000
計	153	3,177	2,990	3,483	25,573	35,233	7,632,500

2 応募者実績

(1) 応募件数推移

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
応募総数	9,591	15,881	21,050	25,166	27,751
有効件数	9,440	15,544	20,560	24,579	27,104
無効件数	151	337	490	587	647
前年比 (有効件数)	134%	165%	132%	120%	110%
目標達成率	47%	78%	103%	123%	108%

※無効件数は、年齢非対象、重複応募等。

※達成率の応募者目標は、H21～26年度は20,000人を分母とする。H27年度は25,000人を分母とする。

ア 性別応募者実績

性別	平成27年度	平成26年度	増減	前年比
男性	8,945	8,066	879	111%
女性	18,159	16,513	1,646	110%
計	27,104	24,579	2,525	110%

イ 区別応募者実績

区等	平成27年度				平成26年度 (計)	増減	前年比
	男	女	計	割合			
門司	971	2150	3,121	12%	2,785	336	112%
小倉北	1,173	2,657	3,830	14%	3,477	353	110%
小倉南	1,963	3,513	5,476	20%	4,804	672	114%
若松	706	1,529	2,235	8%	2,121	114	105%
八幡東	841	1,618	2,459	9%	2,208	251	111%
八幡西	2,639	5,226	7,865	29%	7,231	634	109%
戸畑	629	1,449	2,078	8%	1,898	180	109%

区等	平成 27 年度				平成 26 年度 (計)	増減	前年比
	男	女	計	割合			
市外	23	17	40	0%	55	▲15	73%
計	8,945	18,195	27,104	100%	24,579	2,525	110%

※市外の応募者は、市内在勤の本人確認をした人数を計上。

ウ 年齢別応募者実績

年齢	平成 27 年度			
	男	女	計	割合
40～49 歳	923	1,796	2,719	10%
50～59 歳	814	1,631	2,445	9%
60～64 歳	678	1,734	2,412	9%
65～69 歳	1,525	3,410	4,935	18%
70～74 歳	2,085	4,053	6,138	23%
75～79 歳	1,705	3,091	4,796	18%
80 歳～	1,215	2,444	3,659	13%
計	8,945	18,159	27,104	100%

エ 健診別応募者実績

種別	平成 27 年度	平成 26 年度	増減	前年比
特定健診	9,326	9,002	324	104%
その他の検診	17,778	15,577	2,201	114%
計	27,104	24,579	2,525	110%

※その他は、協会けんぽ、職場の健診、後期高齢者健診、肝炎ウイルス検査、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、人間ドック、がん検診、介護予防健診、被爆者検診、PET健診、脳ドッグ、基本健診

オ 景品別応募者実績

ポイント	景品名	発送数(件)	割合
5	電子体温計	2,853	11%
	調味料 2 本セット	1,140	4%
	石けん詰め合わせセット	2,361	9%
	特定保健用食品飲料詰合せ	1,312	4%
10	詰め合わせハンディマッサージャー	3,230	12%
	真空ステンレス携帯ボトル	4,899	18%
	精米	8,665	32%
	ぬか炊きセット合馬たけのこ入り野菜水煮&きみしゃんいりこ	2,644	10%
	計	27,104	100%

(2) 応募者アンケートの実施

アンケート数	回収数	回収率
1,500 件	842 件	56.1%

3 コーディネーター等業務連絡会議の開催実績

月日	会場	人員	内 容
4月7日	ウェルとばた	19	効果的な事業運営のための調整、 課題協議、企画検討、業務報告、 情報交換・共有等
5月7日		17	
6月9日		19	
7月7日		19	
8月11日		17	
9月3日		19	
10月6日		18	
11月9日		17	
12月8日		18	
1月5日		18	
2月9日		18	
3月8日		17	
計	12回		

◇地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業は、判断能力が不十分な高齢者や障害者の権利と財産を守る事業として平成11年10月にスタートして以来、これまでに900人近い方々の支援を行ってきました。利用者の預金通帳をお預かりして金銭管理を支援することで、その方が、地域で自立し、安定した生活が送れるようになることを目指しています。

しかし、平成27年度末の実契約者数は市内全域では286件となっており、ここ数年、この数値に大きな変動がないことから、支援を必要とする対象者をこの事業へ繋げていくための更なる事業PRに努めなければならないと考えています。

その一方で、判断能力の著しい低下により、本事業で支えることが困難となった利用者については、親族、関係者に対して、成年後見制度への移行支援を行っています。今年度は、5人の利用者が成年後見制度へ移行し、成年後見人等の支援のもと、安心した生活を送っています。

1 事業運営の適正化

- (1) 監視委員会の開催 (4回)
- (2) 運用委員会の開催 (8回)
- (3) 事業・会計監査の実施 (2回) (対象者351人)
- (4) 金銭管理・財産保管サービス管理状況報告書の発行 (1回)
- (5) 福岡県運営適正化委員会への定期報告 (1回)

2 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) 北九州成年後見センター理事会への参加 (10回)
- (2) 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加 (6回)
- (3) 北九州市障害者自立支援協議会・権利擁護部会への参加 (2回)
- (4) 法テラス北九州地方協議会への参加 (1回)

3 職員資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催 (2回)
第2回目は、「北九州市市民後見候補人」フォローアップ研修を聴講し、専門員・支援員合同研修会に充てた。
- (2) 専門員・支援員ブロック会議の開催 (1回)
- (3) 専門性を高めるための研修会への参加 (8回)

4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演の職員派遣 (16回、参加者691人)
- (2) 事業説明会への職員派遣 (1回、15人)
- (3) 他団体が開催する研修会等への講師等派遣 (1回、100人)
- (4) らいとホームページの活用 (更新2回)

5 サービス内容

(1) 相談

ア 内容 (件数)

相談内容	相談者 本人	家族・ 親族	行政機関			障害者 支援団体	介護 事業所	民生 委員	区 社 協 会	施 設	医 療 機 関	支 援 団 体	ホ ム レ ス	そ の 他	合 計
			保 健 福 祉	包 括 支 援	保 護										
金 銭 管 理	17	35	13	62	84	27	126	2	2	21	20	1	3	413	
財 産 保 全 ・ 財 産 侵 害	6	24	0	5	8	1	9	0	0	4	2	0	1	60	
相 続 ・ 遺 言	1	3	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8	
福 祉 サービス へ の 苦 情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日 常 生 活 の 問 題	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	4	
福 祉 サービス の 手 続 き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
親 族 ・ 家 族 関 係	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	
成 年 後 見 制 度	0	9	0	0	0	0	9	0	0	2	1	0	3	24	
そ の 他 (本 事 業 の 問 い 合 せ)	8	14	4	16	40	9	41	1	0	9	9	1	11	163	
合 計	32	88	17	85	132	39	187	3	2	36	32	2	20	675	

イ 対象者 (件数)

相談の対象者	相談者 本人	家族・ 親族	行政機関			障害者 支援団体	介護 事業所	民生 委員	区 社 協 会	施 設	医 療 機 関	支 援 団 体	ホ ム レ ス	そ の 他	合 計
			保 健 福 祉	包 括 支 援	保 護										
認 知 症 高 齢 者	11	41	8	69	56	0	150	3	0	13	10	0	3	364	
障 害 者	身 体	1	0	2	0	2	0	4	0	0	0	0	1	10	
	知 的	1	9	0	2	23	19	8	0	12	0	2	1	77	
	精 神	7	11	1	2	19	15	12	0	2	3	7	0	82	
難 病 患 者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	3	
そ の 他	2	4	2	8	9	2	6	0	0	1	7	0	8	49	
合 計	22	65	13	81	110	36	180	3	2	29	26	2	16	585	

(2) 調査および調整

	認知症 高齢者	障害者			難病患者	その他	合 計
		身体	知的	精神			
調 査	804	3	204	209	0	22	1,242
調 整	5,732	46	1,964	2,170	0	40	9,952

(3) 他機関紹介

弁護士会	司 法 書士会	社会福 祉士会	消費生活 センター	行政 機関	介護支援 事業者	施 設	医療機関	その他	合 計
0	0	0	0	2	0	0	0	7	9

(4) 契約

ア 契約締結件数及び人数

	認知症 高齢者	障害者			難病 患者	その他	合 計
		身 体	知 的	精 神			
前年度までの契約締結件数(A)	209	4	88	60	0	1	362
契約締結者数	173	2	63	50	0	1	289
財産保管	40	2	32	15	0	0	89
金銭管理・生活支援	169	2	56	45	0	1	273
本年度の契約締結件数(B)	52	0	5	8	0	2	67
契約締結者数	34	0	4	7	0	2	47
財産保管	19	0	1	1	0	0	21
金銭管理・生活支援	33	0	4	7	0	2	46
本年度の契約解除件数(C)	40	0	9	14	0	1	64
契約解除者数	31	0	7	11	0	1	50
財産保管	9	0	3	3	0	0	15
金銭管理・生活支援	31	0	6	11	0	1	49
本年度末の契約締結(A+B-C)	221	4	84	54	0	2	365
契約締結者数	176	2	60	46	0	2	286
財産保管	50	2	30	13	0	0	95
金銭管理・生活支援	171	2	54	41	0	2	270

イ 契約者の居住区

門 司	小倉北	小倉南	若 松	八幡東	八幡西	戸 畑	合 計
29	90	48	30	25	41	23	286

ウ 解約理由

	認知症 高齢者	障 害 者			難病患者	その他	合 計
		身体障害者	知的障害者	精神障害者			
死 亡	20	0	2	3	0	1	26
市 外 へ 転 居	2	0	0	0	0	0	2
入 院 ・ 入 所	0	0	0	1	0	0	1
本 人 の 意 思	8	0	3	5	0	0	16
能 力 の 喪 失	0	0	0	0	0	0	0
管 理 の 移 管	1	0	2	2	0	0	5
合 計	31	0	7	11	0	1	50

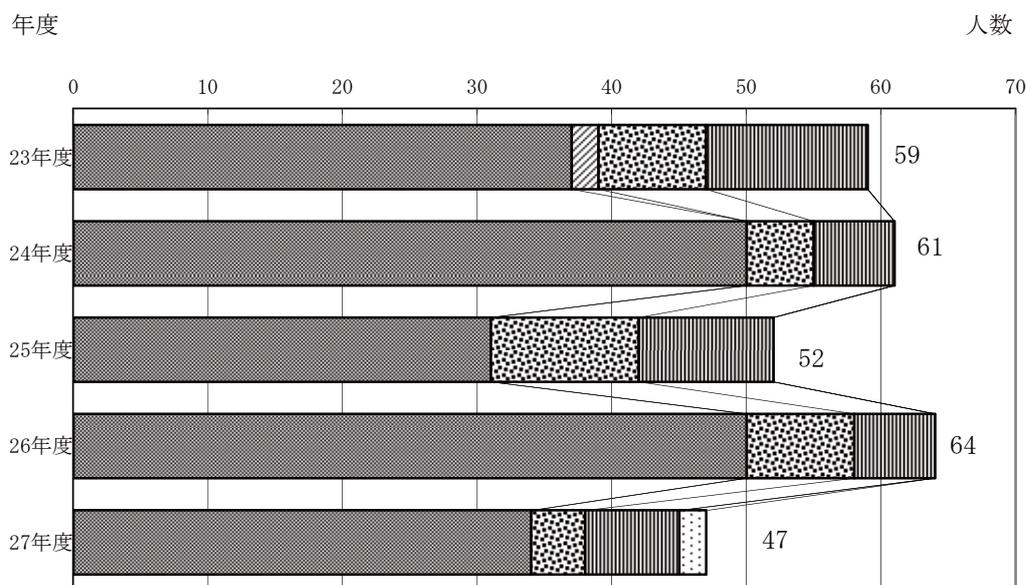
(5) サービスの実施状況

	認知症 高齢者	障害者			難病 患者	その 他	合 計	
		身 体	知 的	精 神				
財 産 保 全 サ ー ビ ス	59	0	23	21	0	0	103	
金 銭 管 理 サ ー ビ ス	2,569	22	1,214	1,001	0	50	4,856	
生 活 支 援 サ ー ビ ス	定 期 訪 問 に よ る 見 守 り	2,559	22	1,207	998	0	50	4,836
	福 祉 サ ー ビ ス の 利 用 状 況 の 確 認 ・ 情 報 提 供	2,411	6	838	861	0	45	4,161
	福 祉 サ ー ビ ス の 利 用 手 続 き に 関 す る こ と	2	0	0	0	0	0	2
	諸 手 続 き の 同 行 ・ 代 行	6	0	0	1	0	0	7
	権 利 侵 害 等 の 問 題 を 関 係 機 関 に つ な ぐ	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	7,606	50	3,282	2,882	0	145	13,965	

6 利用者の推移

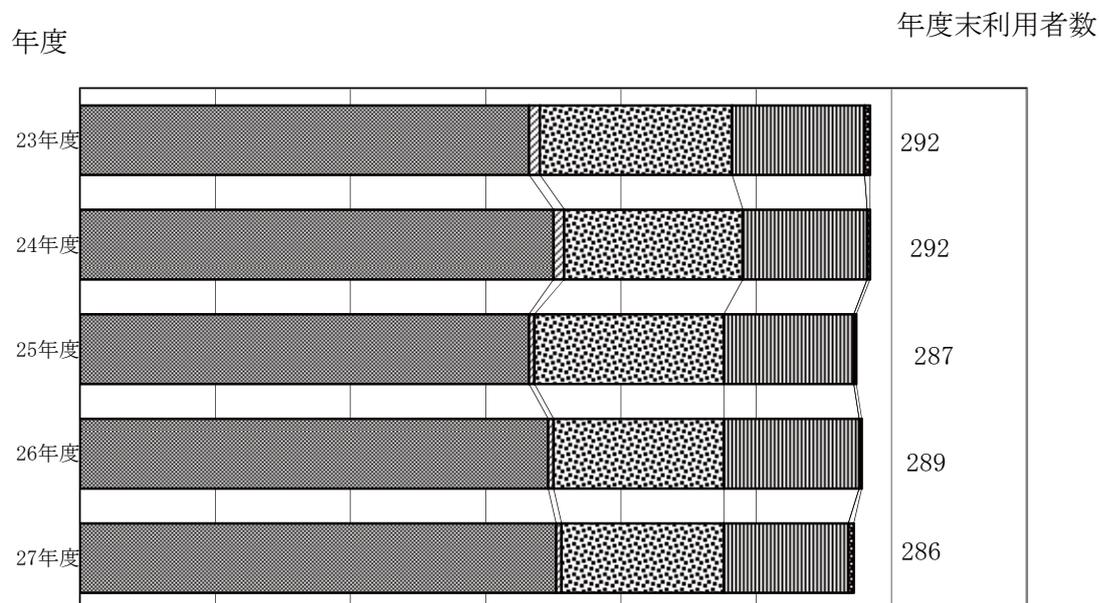
(1) 年度別契約成立者数の推移

	認知症 高齢者	身 体 障害者	知 的 障害者	精 神 障害者	難病患者	その他	計	前年度比
23年度	37	2	8	12	0	0	59	▲ 3 (5%減)
24年度	50	0	5	6	0	0	61	2 (3%増)
25年度	31	0	11	10	0	0	52	▲ 9 (15%減)
26年度	50	0	8	6	0	0	64	12 (23%増)
27年度	34	0	4	7	0	2	47	▲ 17 (27%減)



(2) 各年度末利用者実数の推移

	認知症 高齢者	身体 障害者	知的 障害者	精神 障害者	難病患者	その他	計	前年度比
平成 23 年度	166	4	71	49	0	2	292	6 (2%増)
平成 24 年度	175	4	66	46	0	1	292	0 (0%増)
平成 25 年度	166	2	70	48	0	1	287	▲ 5 (2%減)
平成 26 年度	173	2	63	50	0	1	289	2 (1%増)
平成 27 年度	176	2	60	46	0	2	286	▲ 3 (1%減)



◇法人後見事業

国において、成年後見制度を利用する環境が整えられる中、成年後見制度の需要は今後さらに増大することが見込まれています。そのため、弁護士などの専門職による後見人がその役割を担うだけでなく、専門職後見人以外の市民を含めた後見人を中心とした支援体制を構築する取り組みが全国で進められています。

国が市民後見人の活動を推進する背景には、社会貢献意欲の高い市民が後見人として活躍することで、地域における市民同士の互助・共助の意識が高まることへの期待があり、本市においても、倫理観の高い市民が後見人として個人で活動できるための仕組みづくりを、市や専門職、家庭裁判所と協議しています。

一方で、本会が平成 21 年度より取り組んでいる法人後見事業では、社会貢献型市民後見人養成研修の修了生である「支援員」が、後見担当専門員等と協議しながら、市民の視点で、対象者に寄り添った後見活動を行っており、平成 27 年 3 月末現在の受任件数は 47 件（成年被後見人 35 人、被保佐人 9 人、被補助人 3 人）となっています。

また、市民を活用した本会のこの取り組みは、全国的にも注目されており、今年度は他県・市からの視察を 4 回受入れたほか、他県・市で開催される講演会等へ 4 回講師を派遣しました。

1 事業運営の適正化

- (1) 監視委員会の開催（4 回）《再掲》
- (2) 運用委員会の開催（8 回）《再掲》
- (3) 事業・会計監査の実施（2 回）《再掲》（対象者 56 人）

2 関係機関・団体等とのネットワークづくり

- (1) 北九州成年後見センター理事会への参加（10 回）《再掲》
- (2) 北九州成年後見センター業務監理委員会への参加（6 回）《再掲》
- (3) 法テラス北九州地方協議会への参加（1 回）《再掲》
- (4) 家事関係機関との連絡協議会への参加（福岡家庭裁判所小倉支部・1 回）
- (5) 市民後見人の個人受任に向けた検討会（10 回）

3 職員の資質向上のための事業

- (1) 専門員・支援員合同研修会の開催（2 回）《再掲》
- (2) 専門性を高めるための研修会等への参加（5 回）

4 広報・啓発活動の促進

- (1) 出前講演の職員派遣（16 回、参加者 691 人）《再掲》
- (2) 事業説明会への職員派遣（1 回、15 人）《再掲》
- (3) 他都市が開催する研修会等への講師派遣（4 回、参加者 679 人）
- (4) らいとホームページの活用（更新 2 回）《再掲》
- (5) 視察の受け入れ（4 回、視察者 27 人）

5 法人後見事業の受任状況

(1) 年度末受任状況 (47 件 : 後見 35 件、保佐 9 件、補助 3 件)

(2) 月別新規受任状況

(単位:人)

		認知症		障害者			その他	計			認知症		障害者			その他	計
		高齢者		知的	精神	身体					高齢者		知的	精神	身体		
4月	後見	0	0	0	0	0	0	10月	後見	0	0	0	0	0	0	0	
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0	0	
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0	0	
5月	後見	0	1	0	0	0	1	11月	後見	0	0	0	0	0	0	0	
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0	0	
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0	0	
6月	後見	1	1	0	0	0	2	12月	後見	0	0	0	0	0	0	0	
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0	0	
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0	0	
7月	後見	1	0	0	0	0	1	1月	後見	0	0	0	0	0	0	0	
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0	0	
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0	0	
8月	後見	0	0	0	0	0	0	2月	後見	0	0	0	0	0	0	0	
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0	0	
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	0	0	0	0	0	0	0	
9月	後見	0	0	0	0	0	0	3月	後見	0	1	0	0	0	1		
	保佐	0	0	0	0	0	0		保佐	0	0	0	0	0	0		
	補助	0	0	0	0	0	0		補助	1	0	0	0	0	1		
								計	後見	2	3	0	0	0	5		
							保佐		0	0	0	0	0	0			
							補助		1	0	0	0	0	1			
							計		3	3	0	0	0	6			

(3) 新規受任ケースの申立状況

(単位:人)

	後見			保佐			補助			合計
	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	在宅	施設	病院	
本人申立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
親族申立	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
市長申立	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	1	3	1	0	0	0	1	0	0	6

(4) 年間活動回数 (1,441 回)

(5) 後見報酬請求状況

請 求 人 数	48 人 (後見 37 人、保佐 9 人、補助 2 人)
金 額	8, 205, 703 円

◇社会貢献型市民後見人養成事業

認知症や障害により判断能力が不十分な人を法的に保護する「成年後見制度」の需要は年々増え、その担い手である後見人の不足が懸念されています。そのため、地域の支え合いのキーパーソンとして、本人に寄り添い支援する「市民後見人」の育成と活用が全国的に進められています。

北九州市では、早い段階から市民後見人普及の必要性を認め、平成19年度より、毎年、社会貢献型「市民後見人」養成研修を開催しています。本市の養成研修は、基礎研修と実務研修の二段階構成となっており、今年度は、基礎研修の全過程を修了した第7期生10名を対象として実務研修を開催しました。これにより、第1期から第7期までの養成研修修了生は累計で116名となっています。

また、2月には、修了生116名を対象としたフォローアップ研修を開催し、障害者総合支援法を踏まえた福祉サービスの内容や虐待防止についての理解を深めました。修了生116名のうち51名は、個人で市民後見人として活動を行うことを希望しており、「北九州市市民後見人候補者名簿」へ登録されました。(平成28年4月1日登録)

1 第7期 北九州市社会貢献型市民後見人養成事業 「実務研修」

(1) 開催日

① 全員研修

- ア 座 学 平成27年7月25日～平成27年10月24日
- イ 家庭裁判所見学 平成27年9月7日(月)

② 個別実習

- ア 法人後見事業同行実習 平成27年7月～10月の間に延1日間
- イ 施設実習 平成27年7月～10月の間で各施設1日の計2日

(2) 会場

ウェルとばた 会議室 他

(3) 参加者及び参加人数

社会貢献型市民後見人養成事業基礎研修 第7期修了者 10名
「北九州市市民後見人養成研修修了者名簿」登録者の内、希望者

(4) 研修内容

日時・会場		科目	内容	講師
平成27年 7月25日 (土) 83・84 会議室	9:15～ 9:30	オリエンテーション	・研修の趣旨、流れ など	事務局
	9:30～ 12:00	事例検討(1) (障害者に関して)	・他問題家族の事例 (事例検討・発表・解説)	北九州市障害者基幹相談支援センター 相談員 武市 拓也 弁護士 河原 一雅

	13:00～ 16:00	対人援助の基礎(1)	・面接相談の方法と実際 ・面接記録の書き方	社会福祉士 清水 博子
	16:10～ 16:40	同行実習での留意点 (法人後見事業)	・法人後見の実務	権利擁護・市民後見センター 次長 杉本 真奈美
8月8日 (土) 83・84 会議室	9:30～ 10:50	施設実習での留意点	・高齢者グループホーム ・障害者地域活動センター	グループホーム山王 施設長 高尾 育美 戸畑障害者地域活動センター センター長 池田 博志
	11:00～ 12:00	成年後見制度の概要	・後見業務の要点と流れ	リーガルサポート 司法書士 本多 寿之
	13:00～ 14:30	後見等開始申立の実務	・申立手続書類の作成	リーガルサポート 司法書士 大城 明恵
	14:40～ 16:10	後見人就任直後の職務	・財産目録の作成	リーガルサポート 司法書士 大城 明恵
9月7日 (月) 午前 家庭裁判所 午後 83・84 会議室	10:00～ 11:00	家庭裁判所の実際	・家庭裁判所の役割や仕組み	福岡家庭裁判所小倉支部
	11:00～ 12:00	家庭裁判所見学	・福岡家庭裁判所小倉支部見学	福岡家庭裁判所小倉支部
	13:30～ 14:30	市民後見人像	・市民後見人に期待されるもの	市民後見人の会・ながさき 理事長 かく くにこ
	14:40～ 16:40	対人援助の基礎(2)	・対象者のコミュニケーション ・家族の捉え方	社会福祉士 清水 博子
9月26日 (土) 83・84 会議室	9:30～ 12:00	後見人就任中の職務	・後見計画・収支予定の作成 ・報告書の作成	リーガルサポート 司法書士 田代 洋平
	13:00～ 16:30	事例検討(2) (身上監護)	・身上監護の事例 (事例検討・発表・解説)	リーガルサポート 司法書士 森上 恵美香 司法書士 田代 洋平 司法書士 中村 淡衣 司法書士 花田 憲司

10月10日 (土) 121・122 会議室	9:30～ 12:00	後見終了時の職務	・後見付与申立の作成 ・後見事務終了の手続き ・死後事務	リーガルサポート 司法書士 梶島 浩二
	13:00～ 16:30	事例検討(3) (金銭管理・財産保護)	・金銭管理・財産保護の事例 (事例検討・発表・解説)	リーガルサポート 司法書士 田上 伸之 司法書士 松本 篤 司法書士 梶島 浩二 司法書士 恒松 史帆
10月24日 (土) 83・84 会議室	9:30～ 12:00	事例検討(4) (精神障害者に関して)	・精神障害に関わる事例 (事例検討・発表・解説)	相談支援事業所「すてら」 事業所長 佐藤 みずほ 弁護士 河原 一雅
	13:00～ 16:00	事例検討(5) (高齢者に関して)	・精神障害に関わる事例 (事例検討・発表・解説)	統括支援センター 社会福祉士 宮嶋 雅代 弁護士 河原 一雅
	16:10～ 16:30	閉講式		事務局

3 北九州市市民後見候補人フォローアップ研修

(1) 開催日：平成28年2月6日(土) 13:30～16:00

(2) 会場：ウエルとばた 多目的ホール

(3) 参加者及び参加人数：

「北九州市市民後見候補人」登録者及び登録申請者等 63人

(4) 研修内容：

①講演 『『障害者基幹相談支援センター』の役割や取り組みについて』

(講師) 北九州市障害者基幹相談支援センター

主査 佐々木 元彦

②「北九州市市民後見候補人」登録更新説明会

◇ボランティア振興事業

1 福祉教育事業

児童・生徒が将来、ボランティア・市民活動に積極的に参加する意識啓発の契機として、ボランティア活動を体験できる機会を提供するため、夏ボランティア体験学習事業を実施しています。夏ボランティア体験学習では、青少年ボランティアステーションとの協働のもと、社会福祉施設やイベント等のさまざまな形でボランティア活動を体験することで福祉の心を育んでいます。

(1) 2015 夏ボランティア体験学習事前研修会

実施日	人員・会場	内 容
H27. 7. 23 ～ H27. 7. 25	654 人 ウエルとばた	体験学習ガイダンス(諸注意ほか) 北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター コーディネーター 前田 純志

(2) 2015 夏ボランティア体験学習

実施日	人員・会場	内 容
H27. 7. 28 ～ H27. 8. 21	市内各施設および 各イベント会場	3 日間の体験学習 ・社会福祉施設体験 (654 人) ・イベント参加等、その他の活動 (1,643 人)
H27. 8. 8	45 人 ウエルとばた	・親子点字教室 (23 組 45 人)

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
参加人数	1,956	1,894	2,088	2,317	2,342

2 ボランティアネットワーク事業

中間支援組織間の定期的な連絡会を開催し、ボランティア・市民活動の推進役として、情報を共有するとともに、それぞれの専門性や特色を理解し、役割分担と連携を図りながら活動の幅を広げています。

災害ボランティアセンターの運営に際しては、的確な被災者ニーズの把握や、ボランティアによる迅速な支援が求められているため、26年度の市域を対象とした設置・運営訓練を受け、当年度からはより被災地に近い区域での開催に取り組んでいます。さらに、当年度は、(一社)北九州青年会議所、日本労働組合総連合会・福岡県連合会北九州地域協議会及び福岡県北九州地域労働者福祉協議会と、市内で自然災害が発生した際に、災害ボランティア活動や被災者支援を効率的に行うための「災害時相互協力協定」を締結しました。

(1) 市域に及ぶボランティア・市民活動団体ネットワークの構築
 中間支援組織連絡会の開催

実施日	人員・会場	内 容
H27. 4. 15	11人 コムシティ	・当会議の趣旨の再確認 ・各団体の紹介 ・27年度研修スケジュールの情報交換・情報共有
H27. 6. 24	10人 コムシティ	・各団体事業紹介 ・各団体情報交換
H27. 8. 26	11人 ウエルとばた	・各団体情報交換 ・コーディネーター合同研修会（提案）
H27. 10. 28	8人 コムシティ	・各団体情報交換
H27. 12. 7	27人 コムシティ	・臨時ワークショップ
H28. 2. 24	8人 コムシティ	・各団体情報交換 ・その他（連絡会の進行役の順番確認等）

(2) 災害時の被災者支援に向けた取り組み

ア 災害時相互協力協定締結式

実施日	会場	締結機関・団体
H27. 11. 12	ウエルとばた	・一般社団法人北九州青年会議所
H28. 3. 23	ウエルとばた	・日本労働組合総連合会・福岡県連合会北九州地域協議会 ・福岡県北九州地域労働者福祉協議会

イ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練

実施日	人員・会場	内 容
H27. 12. 10	33人 門司生涯学習センター	①開講挨拶・オリエンテーション ②講演「地域の「受援力」を高めるためには」 ～災害ボランティアセンターの機能と役割～ ③グループワーク「助けられ上手になるためのグループワーク」 ④演習「災害ボランティアセンターの模擬体験」 ～助け上手になるためのシミュレーション～ ⑤閉講 開講挨拶：門司区社会福祉協議会会長 宮原 深海 (講師) 一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児

H28. 3. 2 H28. 3. 5	39 人	(2日 19:00～) ①開講 ②講義「災害ボランティアセンターの機能と役割」 ③5日の打合せ(役割分担、班編成等の確認) (講師) 一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児 (5日 13:00～) ①開会挨拶・オリエンテーション ②訓練「安否確認・ニーズ把握訓練」 ・各地区各班に分かれて、日頃の見守り対象者を中 心とした要支援者への安否確認 ・模擬要支援者のニーズ把握 講義「災害ボランティアセンターの機能と役割」 (2日と同内容) ③模擬演習「災害ボランティアセンターの模擬体験」 ～助け上手&助けられ上手になるためのシミ ュレーション～ ・災害ボランティアとしての役割〔巡回先・ルート〕 (1) ボランティア登録〔ボランティア受付班〕 (2) ボランティア活動の登録〔マッチング班〕 (3) 資材受取・活動内容確認〔資材・オリエンテーシ ョン班〕 ④質疑応答・まとめ ⑤閉会 開会挨拶：戸畑区社会福祉協議会会長 草木 正人 (講師) 一般社団法人九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
	72 人 沢見市民 センター	

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
回 数	5	1	1	4	2
延べ参加者数	193	29	15	173	144

3 在宅高齢者サービス事業

外出・移動手段の不便や困難を解決するシルバーひまわりサービス事業や、簡単な大工仕事や家電品の修理を中心とした自力では対応が困難な困りごとを解決する腕自慢おまかせサービス事業などボランティアによる在宅高齢者サービスを実施しています。

(1) シルバーひまわりサービス事業

事業開始後 20 年を経過し活動者の高齢化が進んでおり、運転ボランティアの確保が課題となっています。企業・団体への働きかけなど、新規活動者の掘り起こしに努めています。

(2) 腕自慢おまかせサービス事業

この事業は、企業、消防団、個人等の協力により、市民のニーズに対応しています。今後、活動者を全市的に確保し、各区においてコーディネートする等、地域に密着した事業への発展を目指しています。

<シルバーひまわりサービス事業>

ア ボランティア実働人員

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
労働組合員	13	15	18	19	19	16	22	18	22	18	15	20	215
行政職員	14	19	19	23	25	27	34	28	31	22	25	23	290
企業・市民	202	203	207	211	196	212	226	206	226	217	218	219	2,543
社協職員	12	5	8	7	8	16	11	12	8	14	6	9	116
合 計	241	242	252	260	248	271	293	264	287	271	264	271	3,164

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
実働人員	3,164	3,266	2,791	3,227	3,164

イ ボランティア実働回数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
労働組合員	18	18	22	23	22	24	26	22	26	20	17	22	260
行政職員	15	26	19	29	32	35	40	33	32	28	29	25	343
企業・市民	571	533	571	563	563	566	627	556	618	503	593	658	6,922
社協職員	19	14	14	15	17	23	19	23	14	21	13	16	208
合 計	623	591	626	630	634	648	712	634	690	572	652	721	7,733

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
実働回数	7,763	8,455	7,014	8,487	7,733

ウ 目的別利用件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
通院・お見舞い	231	226	245	233	241	250	278	239	263	223	250	274	2,953
福祉施設入所及び利用	7	2	4	6	8	10	10	11	6	9	8	7	88
買物・食事	88	84	94	103	95	97	110	98	101	83	103	110	1,166

理髪・入浴	4	5	6	7	5	8	7	9	11	7	8	6	83
観光・公共施設 利用	38	31	32	42	44	33	46	41	43	30	41	51	472
合 計	368	348	381	391	393	398	451	398	424	352	410	448	4,762

年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
利用件数	4,543	5,168	5,451	4,894	4,762

エ 連絡調整会議

実施日	人員・会場	内 容
H27. 5.29	6人 連合福岡・北九州地域 協議会会議室	<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度実施状況について 成果及び課題について

<腕自慢おまかせサービス事業>

ア 活動内容別実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大工(棚製作等)	0	0	0	1	4	3	2	0	2	1	1	2	16
窓、戸等の修繕	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	7
家具の移動等	1	3	1	0	0	4	0	0	1	1	0	0	11
包丁、鋏とぎ	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3
除草、庭木剪定	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	5
清 掃	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5
電気系統修理	0	0	0	0	0	0	3	3	2	1	1	0	10
水道系統修理	0	0	0	1	1	2	1	1	0	0	0	0	6
その他	1	0	1	1	0	2	1	0	0	0	1	0	7
計	9	4	2	5	8	13	10	4	6	3	3	3	70

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
実施件数	98	171	83	66	70

4 地域福祉活動支援事業

市民が安心してボランティア活動ができるよう「ボランティア活動保険」への助成を年間を通じ行っています。地域福祉研修活動助成についても、ホームページを通して広く情報提供するとともに、研修参加費を助成することによって全国レベルでの研修会の参加機会を提供することができました。

また、ホームページ等を通じて助成金などの情報を広く提供しています。

(1) ボランティア活動保険加入掛金助成事業

取扱件数			加入者数	助成金額 (円)
団体加入		個人加入		
グループ数	人員	人員		
699	22,570	152	22,722	2,272,200

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
加入者数	22,892	22,315	22,926	22,380	22,722

(2) 地域福祉研修活動助成

1	研 修 名	第 24 回全国ボランティアフェスティバルふくしま
	期日・会場	平成 27 年 11 月 21 日 (土)・22 日 (日) 福島県郡山市
	参 加 者	城戸 律子 (ボランティアグループ「おにがしま」)
助成金額		@50,000×1名=50,000円

区 分		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
国内 研修	対象者数	3	1	2	3	1
	助成金額	150,000	43,000	80,000	125,000	50,000

5 高齢者いきがい活動支援事業

高齢者のみなさんの社会参加やいきがいづくりを促進するために、参加しやすいボランティア、生涯学習、仲間づくりの情報を総合的に収集・提供する場として、「高齢者いきがい活動情報ステーション」を開設しています。

ホームページ上に情報を掲載しているため、パソコンをお持ちの方はご家庭で気軽に情報を得ることができ、パソコンのない方は、市・各区社協ボランティア・市民活動センターや年長者大学校で情報を得ることができます。

3月末までの活動状況は、登録団体 105 団体、述べ登録情報 97 件、総検索数 11,428 件となっており、情報がほしい方にも、情報を伝えたい方にも好評をいただき、高齢者のいきがい活動につながり始めています。

(1) 総閲覧件数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
件数	1,002	926	1,030	1,033	1,119	1,086	904	940	799	861	939	789	11,428

(2) 年度末時点での登録団体件数

区 分	ボランティア (1)	生涯学習 (2)	仲間づくり (3)	延べ数 (1)+(2)+(3)	実数
門 司	6	5	5	16	8
小倉北	17	18	19	54	40
小倉南	12	4	7	23	16
若 松	3	2	2	7	3
八幡東	5	4	2	11	7
八幡西	9	10	6	25	14
戸 畑	10	4	7	21	15
市 外	1	2	1	4	2
計	63	49	49	161	105

(3) 承認情報件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ボランティア	2	1	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	10
生涯学習講座	6	7	3	3	6	12	3	1	5	5	1	9	61
仲間づくり	0	1	0	6	4	2	0	2	3	6	1	1	26
計	8	9	5	10	10	16	3	3	8	12	2	11	97

(4) 情報閲覧件数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ボランティア	143	175	207	160	102	113	141	81	79	71	60	51	1,383
生涯学習講座	111	185	206	132	246	290	275	228	201	182	183	211	2,450
仲間づくり	281	189	290	305	233	280	174	155	93	222	391	190	2,803
計	535	549	703	597	581	683	590	464	373	475	634	452	6,636

6 介護支援ボランティア事業

高齢者の社会参加や地域貢献を積極的に奨励・支援し、これにより自身の健康増進や生きがいづくりにつなげ、地域と施設等との交流を通して施設等利用者の生活をより豊かにすることを目的として平成25年度から実施しています。

65歳以上の北九州市民（介護保険第1号被保険者）が介護保険施設等においてボランティア活動を行った場合に、その活動実績をポイント化し、貯まったポイントは換金または北九州地域福祉振興基金（ひまわり基金）に寄付することができます。

平成28年3月末現在のボランティア登録数は1,608人、受入施設数は267施設に及び、活動者の生きがいづくりに留まらず、新たなボランティアの掘り起こしにつながりました。

また、ボランティア活動の内容も多岐にわたり、延べ回数は16,521回に上っています。

(1) 受入施設登録状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

ア 登録施設 267 施設

イ 施設の種類の種類 (併設を含む)

施設の種類の種類	施設数	施設の種類の種類	施設数
介護老人福祉施設	35	通所介護	129
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	10	通所リハビリテーション	15
介護老人保健施設	17	認知症対応型通所介護	14
介護療養型医療施設	2	短期入所生活介護	35
特定施設入居者生活介護	28	看護小規模多機能型居宅介護	1
認知症対応型共同生活介護	55	—	
小規模多機能型居宅介護	25	合 計	366

(2) ボランティア登録状況 (平成 28 年 3 月 31 日現在) (人)

	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳～	合計
男	78	111	94	49	8	340
女	354	436	301	136	41	1,268
合 計	432	547	395	185	49	1,608

(3) 平成 27 年度ボランティア活動者・受入施設の登録数

年 月	ボランティア活動者			受入施設		
	新規登録	退会	変更	新規登録	退会	変更
H27. 4	37	1	1	0	0	1
H27. 5	27	1	4	9	1	2
H27. 6	24	4	7	3	0	1
H27. 7	33	1	0	7	0	6
H27. 8	8	1	1	1	1	3
H27. 9	26	3	6	2	0	1
H27.10	12	0	5	5	2	6
H27.11	19	0	1	0	0	0
H27.12	10	6	2	1	0	2
H28. 1	5	8	10	3	0	1
H28. 2	18	11	6	0	0	1
H28. 3	41	2	4	5	0	1
合計	260	38	47	36	4	25

(4) 換金・寄付申請状況(対象者:平成27年12月31日現在の登録ボランティア)

	換 金	寄 付 (ひまわり基金)	換金・寄付 (ひまわり基金)	合 計
人 数	536	152	47	735
金 額	1,905,200	318,000	換金 145,500 寄付 59,100	2,427,800

※ボランティア活動実施者数(1回以上の活動者数) 874人(平成27年1~12月)
ボランティア活動延活動回数 17,549回(平成27年1~12月)

(5) 内容別ボランティア活動状況(平成27年4月~平成28年3月)

活動の種類	延べ回数
①レクリエーション(趣味活動)等の補助	4,954
②芸能等の披露	2,188
③話し相手	2,586
④行事の手伝い	680
⑤食事介助の補助(お茶出し・配膳・下膳等)	492
⑥掃除・衣類整理の補助	2,590
⑦散歩・館内移動・送迎の補助	185
⑧その他施設職員と共に行う補助的な活動	2,846
合 計	16,521

7 市民ふれあいフェスティバル事業

全市的なボランティアの集いのイベントとして、各区社協ボランティア・市民活動センターとの共催のもと、実行委員会形式によりテーマを決定し、委員の企画・進行により開催しています。

今年度は、北九州市社会福祉協議会創設50周年記念として「北九州市社会福祉大会」と同時に開催しました。シンポジウムでは、「新たなボランティア・市民活動の担い手を育むために」をテーマに、ミッションの共有、成長・仲間・反応を実感できるしくみづくりの重要性についての基調講演ののち、パネリストとともに来場者からの質問・相談など活発な意見が交換されました。

「パネル展示」「活動紹介」「活動支援バザー」「福祉車両・高齢者疑似体験」等の催しには、47団体のボランティアグループ・市民活動団体・企業・学校が出展し、延4,955名の方にご来場いただきました。

<実行委員会>

実施日	人員・会場	内 容
H27. 7. 1	17人 ウェルとばた	・正・副委員長の選任について ・実行委員会の取り組みについて ・平成27年度の実施内容について
H27. 8. 19	11人 ウェルとばた	・全体会の経過報告について ・イベント等の経過報告について ・役割分担について ・今後のスケジュールについて

H27. 10. 28	11人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担について ・イベント等の経過報告（最終案）について ・今後のスケジュールについて
H27. 12. 9	14人 ウェルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告について ・次年度の検討課題について

< 催事内容 >

実施日	人員・会場	内 容
H27. 11. 15	4,955人 ウェルとばた および周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム テーマ：新たなボランティア・市民活動の担い手を育てるために ○基調講演 講師：北九州市立大学大学院 マネジメント研究科 准教授 松永 裕己 ○意見交換会 ファシリテーター： 北九州市立大学大学院 マネジメント研究科 准教授 松永 裕己 パネリスト： 税理士法人 TAパートナーズ 代表 相浦 圭太 特定非営利活動法人 通院介護センター「さわやか」 コーディネーター兼事務局長 高原 由美 北九州市立大学 地域創生学群3年 野瀬 瑠美 ・活動紹介、パネル展示 ・活動支援バザー ・多世代交流 ・ステージでのボランティアグループ・市民活動団体による演舞等の発表会 ・車いす寄贈式典 ・福祉車両体験（車いす操作・試乗） ・福祉疑似体験（アイマスク・高齢者）

年度	名 称	内 容	場 所	参加人数
平成 23 年度	市民ふれあいフェスティバル	・全体会、分科会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、送迎車両贈呈式	戸畑	4,153
平成 24 年度	市民ふれあいフェスティバル	・全体会、分科会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、送迎車両贈呈式	戸畑	4,193
平成 25 年度	市民ふれあいフェスティバル	・全体会、分科会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,773
平成 26 年度	市民ふれあいフェスティバル	・全体会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,648

平成 27 年度	市民ふれあいフェスティバル	・全体会、活動発表コーナー、バザー、ミニステージ、福祉体験、多世代交流コーナー	戸畑	4,955
----------	---------------	---	----	-------

8 ボランティア育成・啓発事業

市民に、ボランティア活動をはじめのきっかけを提供し、またより深い理解をしてもらうため、さまざまな啓発資料を作成しています。

<啓発資料の作成>

発行時期	資料名	発行部数
H27. 9	ボランティアというカタチ	3,000部
H28. 2	ボランティアグループ名簿 2015 年度	750部
H28. 3	2014 ボランティアグループ等実態調査	1,000部

◇社会福祉ボランティア大学校事業

研修課では、「北九州市地域福祉計画」や「北九州市地域福祉活動第四次計画～住民ふくしの元気プラン～」を効果的に推進させるため、地域コミュニティに福祉の視点で取り組む人材の養成・育成を目指し、研修の充実を図りました。

今年度新たに取り組んだ「送迎ボランティア・フォローアップ研修」では、市内の福祉有償運送実施団体に所属する運転ボランティア活動者の高齢化問題に対応し、スキルアップを図るとともに安全で安心な活動が継続できるよう、企業・団体との連携により事業を実施しました。

また、頻発する自然災害により、市民の防災に対する関心が高まるなか実施した「災害ボランティア・フォローアップ研修」では、九州北部豪雨被災地の八女市星野村での支援活動をメニューに盛り込むなど、災害時のボランティアセンター設置に向けた体制づくりを視野に、研修を実施することができました。

市社協創設 50 周年記念事業として開催した「市民講演会」では、市社協の 50 年の歩みを紹介したうえで、「自分の個性と可能性を信じて～あなたも地域の力になれる～」をテーマに、元バレーボール全日本代表の三屋裕子氏を招聘し、ボランティア活動への参加のきっかけや仲間づくりなど、その手掛かりになる講演内容としました。この市民講演会には、地域福祉活動やボランティア活動未経験者も多数参加し、当初の目的を達成することができました。

研修全般では、本会の活動方針である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、ボランティア活動の推進や地域福祉の向上に務めながら、関係機関・団体との連携のもと、延べ 4,050 人に対し研修を実施することができました。

1 研修体系の区分別研修実施状況一覧

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	5	5	176	8～9
ふくしのまちづくり講座	校区住民	7	3	21	822	10～3
計		8	—	26	998	—

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
新任者 新任福祉協力員等研修	新任福祉協力員等	8	1	8	395	6～8

現任者	現任福祉協力員等研修	現任福祉協力員等	7	1	7	438	9～1
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社会福祉協議会の実務者	1	1	1	96	12
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社会福祉協議会役員	1	1	1	784	11
	校(地)区社会福祉協議会新任役員研修	校(地)区社会福祉協議会新任役員	1	1	1	73	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社会福祉協議会・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	5	5	167	8～12
計			19	—	23	1,953	—

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	私にもできる災害ボランティア入門講座	市民	1	1	1	28	8
	傾聴ボランティア養成講座	市民	1	3	3	57	7
	福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体で運転協力者を希望する者	3	2	6	95	6～3
活動者	災害ボランティア・フォローアップ研修	災害ボランティア入門講座受講者等	1	1	1	28	10
	傾聴ボランティア・フォローアップ研修	傾聴ボランティア	1	1	1	38	5
	送迎ボランティア・フォローアップ研修	送迎ボランティア	1	1	1	30	10
リーダー	ボランティア・リーダー研修	リーダー次期リーダー	1	1	1	30	12
計			9	—	14	306	—

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
企業のための社会貢献活動セミナー	企業の社会貢献活動担当者等	1	1	1	30	1

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
管理者 ボランティアを快く受け入れるための施設長研修	施設長等	1	1	1	32	7

(6) 市社協創設50周年記念市民講演会

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
市社協創設50周年記念市民講演会	市民	1	1	1	731	2

2 資料作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひとコーナー」 『きたきゅうしゅう市社協だより』掲載)	172,000部	平成27年5月1日・8月1日 11月1日・平成28年1月15日
事業報告書	350部	平成27年5月1日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,500部	平成27年6月1日

3 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成23年度	3	12	361
平成24年度	9	27	794
平成25年度	8	26	1,097
平成26年度	8	26	1,078
平成27年度	8	26	998

(2) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の人材育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 23 年度	34	54	2,246
平成 24 年度	28	32	1,631
平成 25 年度	27	31	1,729
平成 26 年度	19	23	1,754
平成 27 年度	19	23	1,953

(3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 23 年度	8	15	254
平成 24 年度	8	15	239
平成 25 年度	10	17	352
平成 26 年度	9	14	305
平成 27 年度	9	14	306

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 23 年度	3	3	250
平成 24 年度	3	3	230
平成 25 年度	4	4	134
平成 26 年度	1	1	18
平成 27 年度	1	1	30

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年 度	開催回数（回）	延べ開催日数（日）	参加実人数（人）
平成 23 年度	2	3	82
平成 24 年度	2	3	61
平成 25 年度	2	3	92
平成 26 年度	1	2	47
平成 27 年度	1	1	32

◇北九州シニアネットワークアカデミー事業

1 周望学舎事業

周望学舎は「宿泊のできる年長者の研修施設」という要望に応じて、高齢者の生きがい対策と生涯学習という二つの性格を併せ持つ、元気な高齢者を対象とした施設として、全国に先駆けて昭和54年8月に設置されました。

発足当初は、老人クラブ指導者養成から趣味活動支援としての実技指導、さらに高齢者の生きがいづくりを主とした研修内容としていましたが、近年は地域活動・地域貢献をめざす人材養成と活動者育成にも力を注いでいます。

平成27年度の研修では、地域や社会福祉施設等でのボランティア体験等を実施するとともに、地域福祉活動の必要性を理解するための講座の充実に努め、全コースで認知症サポーター養成講座、地域・ボランティア活動に関する講義を行いました。

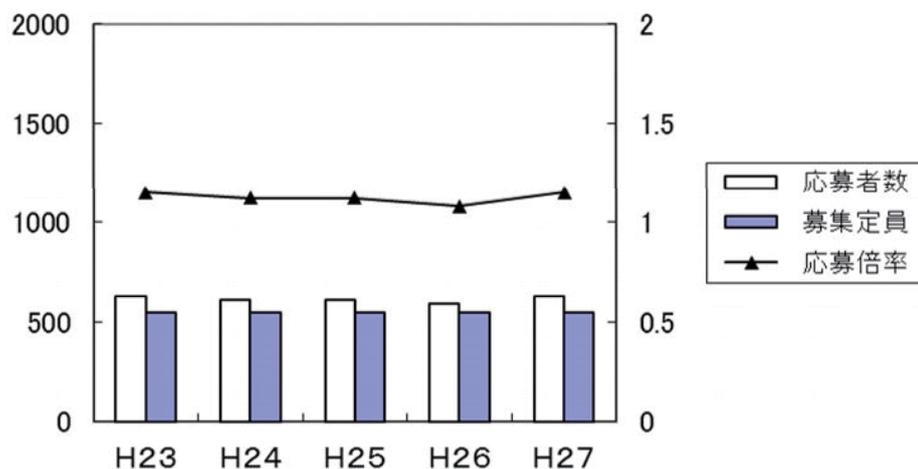
なお、多数の学舎行事や講座を健康マイレージ事業に登録し、健康づくりの推進に努めました。

また、第3期指定管理者として、「学び・体験で創る新たなライフプラン」ができる学習体系の確立と、修了生が地域福祉活動へ参加できる仕組みづくりを積極的に推進しました。

(1) 応募状況の推移

【応募者数・応募倍率等の推移】

(年間コース)		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
新人	男	63	63	63	40	43
	女	75	75	74	66	68
経験者	男	215	215	215	216	222
	女	258	258	257	268	294
合計		627	611	609	590	627
定員		546	546	546	546	546
応募倍率		1.15	1.12	1.12	1.08	1.15



(2) 研修生等(利用者)の推移

ア 全体的な傾向

年間コース利用者については、新規コースの開設などにより延べ19,194人となりました。また、研究クラブは研修室の空き等を有効に活用し、実技コースでの学びをさらに充実させています。

分類		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
年間コース	コース数	16	16	16	15	15
	研修生数(延べ)	20,927	20,100	20,941	18,805	19,194
研究クラブ	グループ数	3	3	3	2	4
	利用者数(延べ)	3,310	1,263	2,437	1,421	2,317
同好会	グループ数	4	4	5	6	5
	利用者数(延べ)	191	890	1,133	1,558	1,670

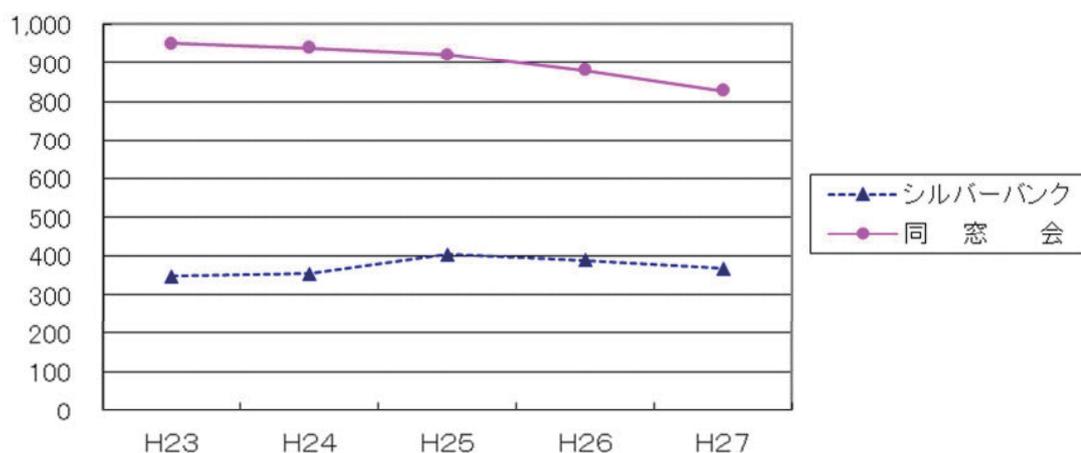
施設年間利用状況	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用者数(延べ)	32,557	32,476	35,067	32,106	33,380

イ 修了生組織の活動状況

周望学舎修了生の組織として、開校の翌年に結成されたボランティア団体「周望学舎シルバーバンク」と平成4年4月に組織された「周望学舎同窓会」があります。

シルバーバンク及び同窓会は、会員の高齢化が進んでいるものの、高齢者の技術等を活かして地域活動や異世代との交流など多彩な活動を続けています。

会員数	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
シルバーバンク	327	354	403	388	366
同窓会	950	940	922	880	828



(3) 平成27年度研修実施状況

コース名		修了者数	利用者数(延べ)			研修回数		
			男	女	計	日帰り	宿泊	計
年間	地域ふれあい	32	309	852	1,161	39	2	41
	心と身体の健康	32	365	833	1,198	39	2	41
	健康づくりサポーター	41	600	889	1,489	39	2	41
	国際情報	42	647	838	1,485	39	2	41
	アジアを学ぶ	41	672	778	1,450	39	2	41
	ふるさとの文化	41	782	709	1,491	39	2	41
	生活情報	39	658	808	1,466	39	2	41
	歴史に学ぶ	39	695	734	1,429	39	2	41
	暮らしと環境	31	597	596	1,193	39	2	41
	健康管理	42	542	976	1,518	39	2	41
	体力増進	40	735	761	1,496	39	2	41
	花と野菜づくり	26	454	508	962	39	2	41
	写真入門	31	691	451	1,142	39	2	41
	陶芸	23	385	477	862	39	2	41
	書道入門	23	369	483	852	39	2	41
	計①	523	8,501	10,693	19,194	585	30	615
	委員会・諸会議②		357	193	550	22	0	22
	小計 ①+②=③		8,858	10,886	19,744	607	30	637
ワード初級		183	296	479	24	0	24	
ワード中級		110	136	246	12	0	12	
エクセル初級		106	87	193	12	0	12	
エクセル中級		58	54	112	6	0	6	
デジカメ入門		97	46	143	6	0	6	
デジカメ活用		107	51	158	6	0	6	
パソコン初級		82	101	183	12	0	12	
パソコン活用		107	145	252	12	0	12	
インターネット		183	208	391	18	0	18	
年賀状		77	74	151	6	0	6	
絵手紙		13	44	57	5	0	5	
一日体験		14	17	31	1	0	1	
法律講座		27	49	76	5	0	5	
シニアカレッジ(西南女学院)		141	173	314	10	0	10	
シニアカレッジ(東筑紫)		112	399	511	10	0	10	
シニアカレッジ(北九州大)		65	175	240	6	0	6	
年長者と孫の集い		23	22	45	0	1	1	
小計④		1,505	2,077	3,582	151	1	152	
研究クラブ	写真		342	242	584	20	0	20
	社交ダンス		459	723	1,182	36	0	36
	書道		163	235	398	24	0	24
	陶芸		54	99	153	23	0	23
	小計⑤		1,018	1,299	2,317	103	0	103
シルバーク		1,080	2,034	3,114	374	0	374	
同窓会		351	562	913	216	0	216	

同 好 会		784	886	1,670	137	0	137
		利用者数(延べ)			研修回数		
		男	女	計	日帰り	宿泊	計
修了生	パソコンボランティア	180	105	285	114	0	114
	園芸ボランティア	234	445	679	34	0	34
	健康ボランティア	252	165	417	58	0	58
小計⑥		2,881	4,197	7,078	933	0	933
穴 生 学 舎		171	149	320	1	15	16
そ の 他		137	202	339	15	0	15
小計⑦		308	351	659	16	15	31
総合計 (③+④+⑤+⑥+⑦)		14,570	18,810	33,380	1,810	46	1,856

(4) 周望学舎年間行事等

ア 入学記念講演会

月・日	人員・会場	内 容
H27. 4. 10	483人 八幡市民会館	記念講演 「咲いた花なら散るのは定め、きれいに散ろう! 高齢者!!社会に参画して健康寿命を延ばそう! 月刊生涯学習通信「風の便り」 編集長 三浦 清一郎

イ スポーツ大会 (市社協 50 周年記念事業)

月・日	人員・会場	内 容
H27. 6. 25	522人 総合体育館	入場行進・競技 「仲良しリレー」、「大玉おくり」、「炭坑節」等・閉会式

ウ 大学祭 (市社協 50 周年記念事業)

月・日	人員・会場	内 容
H27. 10. 3 ～ H27. 10. 4	研修生延べ 1,169人 一般来場者 131名 周望学舎	開会式・学習成果を生かした展示、体験コーナー、臨床心理士 吉村春生による講演会、研修生による演芸大会、ウォークラリー、出店、社交ダンスパーティー等・閉会式

エ 修学旅行

月・日	人員	内 容
H27. 11. 12 ～ H27. 11. 20	研修生延べ 370人	3便に分かれ1泊2日で実施 山口県萩市他 (ザビエル記念聖堂、瑠璃光寺五重塔、千春楽城山、萩温泉、松陰神社、松下村塾、角島・角島大橋等)

オ 修了記念作品展（実技コース・研究クラブ）

月・日	人員・会場	内 容
H28. 2. 3 ～ H28. 2. 9	639人 北九州芸術劇場 市民ギャラリー	陶芸、書道、写真 学習成果発表 合計 141 点展示

カ 周望学舎・穴生学舎合同作品展

月・日	人員・会場	内 容
H28. 2. 16 ～ H28. 2. 22	113人 ウェルとばた 交流プラザ	周望学舎（写真入門コース・写真研究クラブ）、 穴生学舎（写真入門コース・絵画入門コース） の作品 合計 113 点展示

キ 年長者と孫のつどい

月・日	人員・会場	内 容
H27. 8. 6 ～ H27. 8. 7	43人 周望学舎	南小倉児童館児童も参加し、周望学舎シルバ ーバンクによる折り紙、お手玉、竹馬等の昔 遊びを通じた異世代交流やニュースポーツ体 験等 青少年ボランティアステーションの協力によ り高校生ボランティアも9名参加

ク シニアカレッジ（大学活用型校外授業）

月・日	人員・会場	内 容
H27. 7. 24 ～ H27. 10. 2	42人 西南女学院	「地域で支えるとは」、「Let's 減塩生活」、「コ ンピューターと学習」等、計10回（延べ314人）
H27. 9. 9 ～ H27. 11. 25	60人 東筑紫学園	「アロマの楽しみ方」、「五感を刺激して脳 活!」、「トータルファッション講座」等、計10 回（延べ511人）
H27. 9. 12 ～ H27. 10. 17	59人 北九州市立大	「仏教が伝えた食文化」、「松下村塾」、「落語で 哲学する」等、計6回 （延べ240人）

ケ 一日体験入学

月・日	人員・会場	内 容
H28. 2. 2	31人 周望学舎	学舎案内および館内見学 講義「長崎街道物語」、「有酸素運動＋脳トレ ＋貯筋運動」

コ 大学との交流事業

月・日	人員・会場	内 容
H27. 6. 18	30人 北九州市立大	学生との交流 フォークダンス、卓球等

サ 視察・見学

月・日	人員	団 体 名
H27. 5. 28	57人	北九州市立南小倉小学校 3 年生

シ 実習生受け入れ

月・日	人員	団 体 名
H27. 10. 15 H27. 10. 28	51人	西日本看護専門学校

(5) 資 料

資 料 名	発行部数	発行日
香梅(平成 27 年度年間コース修了記念アルバム)	500 部	平成 28 年 2 月 8 日

(6) 広 報

資 料 名	発行部数	発行回数
研修生の手作り学舎新聞およびかわら版	2,000 部 1,800 部	新聞：1 回／年 かわら版：3 回／年
学舎案内	900 部	1 回／年

(7) コース委員長会議 (15 コース)

月・日	人員・会場	内 容
H27. 5. 12	委員27人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> ・正副代表選出について ・自家用車通学と交通安全ボランティアについて ・周望学舎三大行事日程について ・平成 27 年度学舎運営について
H27. 9. 14	委員23人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの小型化に伴う確認事項について ・連絡事項 (1) 大学祭 (2) 修学旅行 (3) 後期授業料納付について (4) 消防訓練 (5) 修了式の日程 (6) 職員ブログ
H28. 1. 29	委員24人 周望学舎	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項 (1) 修了式 (2) 修了証書 (3) 修了記念作品展・合同作品展 (4) 「香梅」 (5) 修了アンケート・利用者アンケート

(8) 各種会議 (三大行事等) (会場：周望学舎)

会議名	人員(延べ)	回 数
大学祭実行委員会	研修生・研究クラブ生171人	5回
スポーツ大会実行委員会	研修生 116 人	4 回
修学旅行実行委員会	研修生 104 人	4 回
新聞編集委員会	研修生 63 人	3 回
作品展実行委員会	研修・クラブ生 20 人	2 回

(9) バスの運行

研修生送迎の他、全コースの校外授業においてスクールバスを活用し7月までの大型バスでの運行は413回、466時間、8月からの中型バスへの変更後は650回、799時間の運行を行いました。

(10) 周望学舎同窓会

ア 会員数 828名

イ 支部活動

支 部 名				
門司支部	小倉北支部	小倉南支部	戸畑・若松支部	八幡支部
130人	255人	300人	77人	66人
<活動内容>				
・会員相互の親睦(総会、一泊旅行・日帰りバスハイク・クリスマスの集い)				
・売店活動(支部活動)				
・支部総会(懇親会)				
・健康づくり(歩こう会・登山・ボーリング、グラウンドゴルフ大会)				
・ボランティア活動・同窓会新聞の発行 等				

ウ 記念講演会

月・日	人員・会場	内 容
H27. 4. 18	116人 ウエルとばた 多目的ホール	テーマ「落語で考える仲間づくり」 北九州市レクリエーション協会所属 アマチュア演芸グループ 川笑一座 座長 川崎亭 好朝

エ 広報紙

	発行部数	発行回数
周望同窓会新聞「ふれあい」	2,000部	2回/年

(11) 周望学舎シルバーバンク

ア 会員数 19サークル
預託会員 177人
賛助会員 189人

イ 支 部 門司支部
小倉北支部
小倉南支部
若戸支部
八幡支部

ウ サークル活動

	サークル名	会員数	主な活動の内容	主な活動場所と活動日
伝承グループ	創作折り紙	27	福祉施設、児童館、小学校等での伝承活動及び折り紙研究	福祉施設、児童文化会館 小学校、イベント会場等
	お手玉	11	お手玉の作り方、遊び方の伝承	福祉施設等 (研修日 毎月第3水曜日)
	竹の会	17	竹細工、竹トンボ、竹笛 水鉄砲等作り方・遊び方の伝承	市民センター イベント会場等(不定期)
	読み聞かせ	6	福祉施設等で 本の読み聞かせ・紙芝居等	子育てふれあい交流プラザ (毎週木曜日) その他施設等
	昔遊び	7	竹馬、コマ廻し、皿廻し等の 昔遊びを伝承する	市民センター イベント会場等(不定期)
友愛グループ	椿会	1	特別養護老人ホームでの 生け花の指導・洗濯物の整理等	シルバーサンホーム (第2・4水曜日午後)
	見守り介護	5	障害者見守り、話し相手	戸畑障害者活動センター (第2・4木曜日)
	マジック	1	福祉施設訪問 マジック披露	福祉施設、イベント会場 (不定期)
	ハーモニカ	14	福祉施設訪問・ハーモニカ演奏	福祉施設、イベント会場 (研修日 第1・2・3木曜日)
	遊書会	5	福祉施設に於いて習字指導	福祉施設シティホーム、 (毎月第3木曜日)
	シルバーサービス	1	在宅高齢者宅での(日曜大工的な)簡易修理、草刈、剪定	各地域(不定期)
	すみれ会	6	福祉施設訪問 フラダンス実演	イベント会場、施設等 (研修日 毎週月曜日)
	よさこいアレンジ	18	福祉施設訪問 よさこい踊り実演	福祉施設、イベント会場 (研修日 毎週金曜日)
	周和会	11	福祉施設訪問 日本舞踊実演	福祉施設、イベント会場 (研修日 毎週火・金曜日)
	子育て支援	16	託児スタッフ	市民センター、イベント会場等 (不定期)
ひまわりの会	12	高齢者施設での介護・雑事支援	福祉施設等	
その他	バラの会	8	趣味の手芸で相互の親睦 (作品はイベントに提供)	周望学舎(毎週金曜日)
	収集	22	主にプルタブ収集を通して施設に車椅子を贈る活動	周望学舎 小倉北区社協ボランティア・市民活動センター
	編集	9	会報紙(バンクだより)の編集、発行(年1回)	周望学舎(不定期)

※各サークル重複在籍者あり。

エ サークル活動・活動人員

(ア) 友愛活動	延べ	2,307人
(イ) 調査研究活動	延べ	241人
(ウ) ボランティア養成研修	延べ	2,228人
(エ) 伝承活動	延べ	245人
(オ) その他の活動	延べ	2人

オ 預託会員研修

月・日	会 場	内 容
H28. 3. 16	周望学舎 ゼンリン地区の資料館	光化学スモッグ PM2.5 ってなに？、社会保障・ 税番号制度、ゼンリン地区の資料館見学

カ 広報

資 料 名	発行部数	発行回数
会報紙「シルバーバンクだより」	1,136部	1回/年

(12) 研究クラブ、同好会活動

ア 会員数	研究クラブ	4クラブ	101人
	同好会	5サークル	78人

イ 研究クラブ・同好会活動

区分	グループ名	活動の内容	活動場所	活動日
ク ラ ブ 研 究	写真	実技コースで学んだ技 術を更にレベルアップ する活動	周望学舎	隔週火曜日
	社交ダンス			木曜日午前中
	書道			隔週月曜日
	陶芸			隔週木曜日
同 好 会	周望卓球同好会	卓 球	周望学舎	概ね毎週金曜日
	周望詩吟同好会	詩 吟		第1,3水曜日
	風船バレー同好会	ふうせんバレー		概ね毎週水曜日
	陶芸同好会	陶 芸		概ね毎週木曜日
	社交ダンス周望 会	社交ダンス		概ね毎週木曜日

2 穴生学舎・穴生ドーム事業

穴生学舎は、高齢者の生きがい対策の一環として増大かつ多様化する高齢者のニーズに応えるため、「周望学舎」に続き平成6年9月に新たな福祉と生涯学習の拠点として設置されました。

穴生学舎では、人口の高齢化に伴い急増する高齢者の「いきがい・健康・ふれあい」づくりと地域活動の推進役としての力量を高めるため、郷土のなりたちコースを新設するなど健康や福祉にかかわる幅広い学習や研修・事業を提供しました。

地域活動情報支援センターでは、学舎で学んだ成果が地域社会で活かせるよう、社会参加する機会や様々な情報を提供すると共に、OB会や研究クラブ等の自主活動を支援して社会における役割意識の高揚に努めました。

また、当学舎に併設されている穴生ドームは、健康志向の高い高齢者をはじめ一般市民にニュースポーツの出前講座や健康ウォーキング事業などのさまざまな自主事業を実施し、市民の健康・体力づくりの支援に努めました。

[穴生学舎]

(1) 応募状況の推移

平成28年度研修生の募集に向けて、ホームページでの情報提供や市民が関心を持つ体験講座、公開講座等を企画し、応募率の向上に努めました。また、新聞三大紙面での広告及び掲示用のポスターによる周知も行いました。

なお、平成23年度以降の応募者数、それに含まれる新人の数は、若干の減少傾向となっていますが、今後とも新たな研修生を確保するため市民や企業などに対し積極的なPRを行いながら、入学後は地域活動者となる人材の育成に努めます。

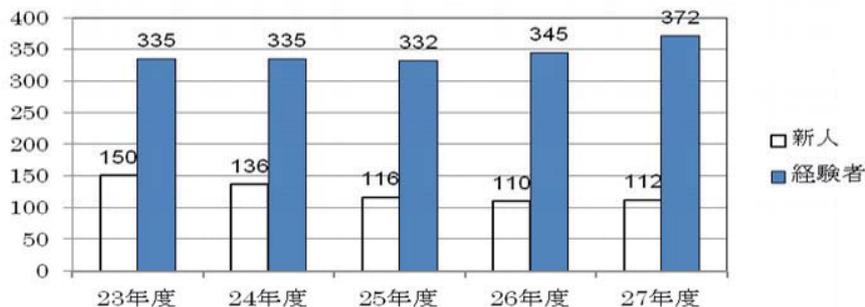
【応募状況の推移】

区分		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
新人	男	72	64	52	46	55
	女	78	72	64	64	57
	計	150	136	116	110	112
経験者	男	163	173	169	160	164
	女	172	162	203	185	208
	計	335	335	372	345	372
合計		485	471	488	455	484

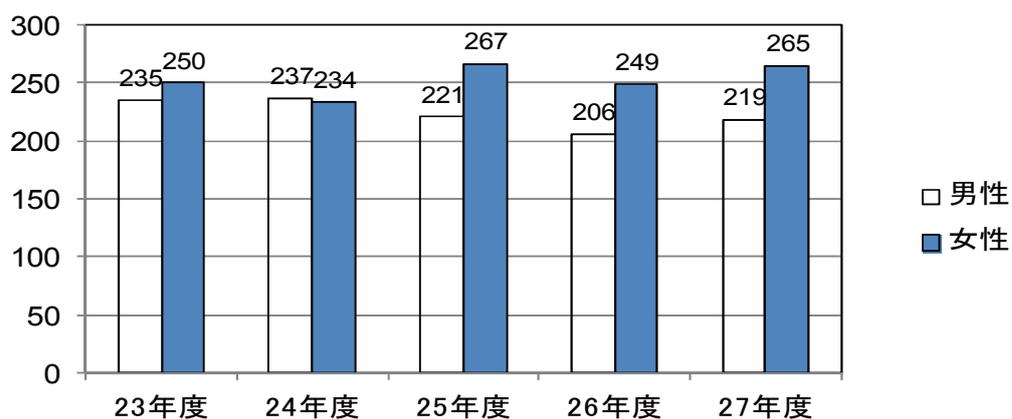
※平成21年度から市社協が第2期「指定管理者」となり管理運営を受託。

※平成26年度から市社協と里山を考える会の共同事業体が第3期「指定管理者」となり管理運営を受託。穴生学舎については、市社協が管理運営を担当。

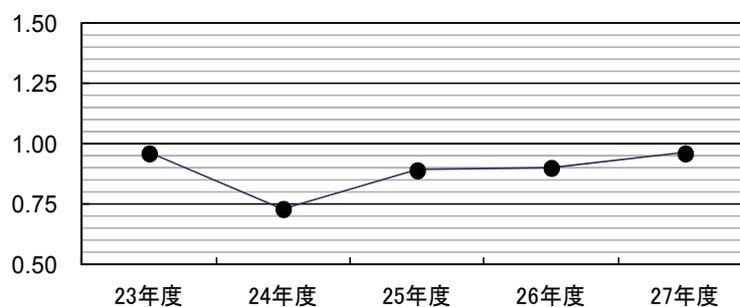
【新人と経験者の推移】



【男女の推移】



【応募倍率の推移】

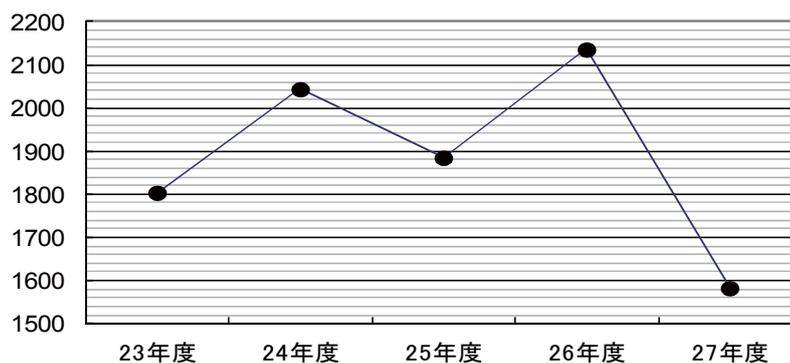


(2) 研修等の推移 (年間コース・研究クラブ・同好会)

分類		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
年間 コース	コース数	16	16	16	15	15
	研修生数(延べ)	16, 125	16, 270	14, 947	15, 344	14, 984
研究 クラブ	グループ数	6	6	6	5	5
	利用者数(延べ)	1, 194	1, 738	2, 025	1, 548	1, 767
同好会	グループ数	2	2	2	1	0
	利用者数(延べ)	951	1, 213	1, 223	822	0

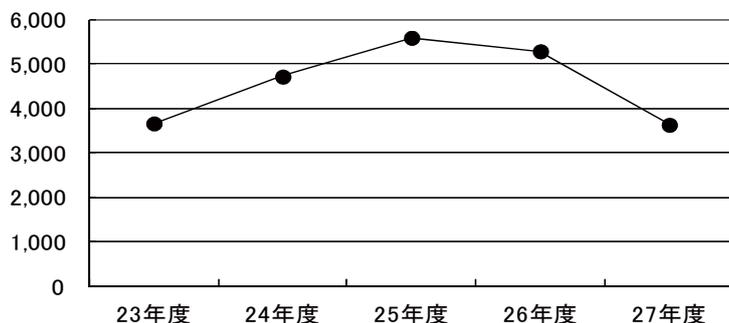
(3) 高齢者支援事業 (ふれあいいきいきサロン) 参加者の推移

穴生学舎クッキングボランティアの会による、一人暮らし等の高齢者に対して健康に良い食事の提供、健康チェック、ふれあい交流を実施しました。



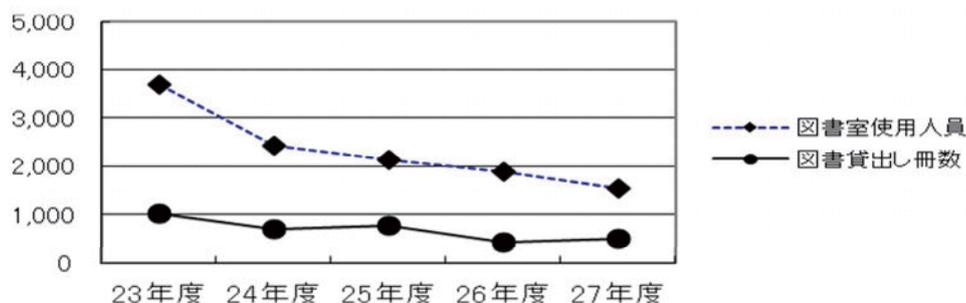
(4) 地域・世代間交流・子育て支援事業参加者の推移

ボランティアグループ・コース研修生による、近隣の幼稚園児や小学校児童との昔遊びの伝承、ニュースポーツ、レクリエーションを通じた交流事業を実施しました。

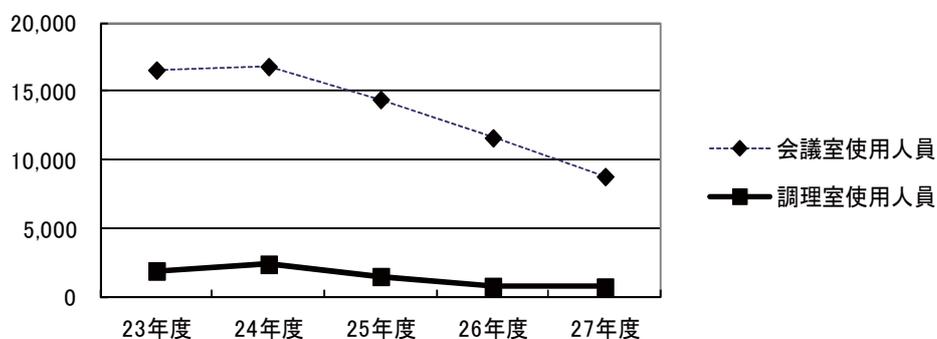


(5) 穴生学舎地域開放事業

【図書室使用人数の推移】



【会議室等使用の推移】



(6) 研修実施状況

コース名	在籍数	利用者数(延べ)			研修回数			
		男	女	計	宿泊	日帰り	計	
年間コース	地域ふれあい	23	434	338	772	2	36	38
	健康づくりサポーター	34	392	768	1,160	2	36	38
	心と身体の健康	29	342	696	1,038	2	36	38
	歴史に学ぶ	35	582	591	1,173	2	36	38
	アジアを学ぶ	34	598	622	1,220	2	36	38
	文化伝承	34	441	730	1,171	2	35	37
	国際情報	33	563	579	1,142	2	36	38
	健康管理	31	656	415	1,071	2	36	38
生活情報	23	144	629	773	2	36	38	

	健康スポーツ	22	361	513	874	2	35	37	
	郷土のなりたち	34	672	469	1,141	2	36	38	
	実用書道	24	266	567	833	2	36	38	
	絵画入門	23	483	346	829	2	36	38	
	英会話	22	506	259	765	2	36	38	
	写真入門	29	699	323	1,022	2	36	38	
	小 計	430	7,139	7,845	14,984	30	538	568	
短期講座	パソコン系講座	79	95	242	337	0	23	23	
	パソコン系講座以外	0	0	0	0	0	0	0	
	男性料理教室	99	319	0	319	0	12	12	
	自主講座	77	43	34	77	0	2	2	
	公開講座	62	19	43	62	0	1	1	
	一日体験講座	65	25	40	65	0	2	2	
	シニアサマーカレッジ	51	235	172	407	0	9	9	
	シニアカレッジ	42	266	78	344	0	10	10	
	小 計	475	1,002	609	1,611	0	59	59	
研究クラブ	書道	10	17	154	171	0	27	27	
	写 真	一四撮会	16	90	40	130	0	10	10
		いちご写友会	17	142	67	209	0	16	16
	絵画	一五一絵	19	179	315	494	0	32	32
	英会話	E 2 5 会	10	251	73	324	0	41	41
		U P 2 6	14	209	230	439	0	44	44
小 計	86	888	879	1,767	0	170	170		
	ボランティア活動	-	-	-	5,392	0	653	653	
	その他の活動 (会議室の利用等)	-	-	-	9,595	0	447	447	
	合 計	991	9,029	9,333	33,349	30	1,867	1,897	

(7) 年間行事等

ア 入学式記念講演会

月 日	人員・会場	内 容
H27. 4. 10	346 人 八幡市民会館	テーマ:「咲いた花なら散るのは定め、きれいに散ろう！ 高齢者！！社会に参画して健康寿命を伸ばそう！」 講 師：月刊生涯学習通信「風の便り」 編集長 三浦 清一郎

イ 第22回ふれあいスポーツ大会（市社協創設50周年記念事業）

月 日	人員・会場	内 容
H27. 6. 14	707 人 穴生ドーム	障害物競走、大玉転がし、玉入れ等の紅白チーム対抗戦 他

ウ 第21回穴生学舎大学祭&ドームフェスタ（市社協創設50周年記念事業）

月 日	人員・会場	内 容
H27. 10. 17 ～ H27. 10. 18	7,520人 穴生学舎 穴生ドーム	19年度から大学祭とドームフェスタを同時開催。 学舎研修生による学習成果発表と地域・世代間交流 を目的に、幼児から高齢者までが楽しめる各種ふれ あい催事コーナーの実施。

エ 修学旅行

月 日	人員	内 容
H27. 11. 17 ～ H27. 11. 25	研修生 298人	3便に分かれ1泊2日で実施 山口県萩市他 (瑠璃光寺、秋吉台、角島大橋、花燃ゆ大河ドラ マ館、松蔭神社・松下村塾・徳佐りんご狩り 等)

オ 公開講座

月 日	人員・会場	内 容
H28. 2. 6	62人 穴生学舎	テーマ：幸せの人間関係 講 師：北九州市立大学 名誉教授 中島 俊介

カ ロビーコンサート

月 日	人員	内 容
H27. 4. 28	86人	ピアノの演奏と歌唱
H27. 8. 26	60人	穴生学舎ハンドベルボランティア瑠璃色の会によ る演奏
H27. 10. 27	42人	キーボードの演奏と歌唱
H28. 2. 26	80人	ハーモニカソロ演奏、ハーモニカと歌

キ 修了記念作品展

月 日	人員・会場	内 容
H28. 2. 8 ～ H28. 2. 14	540人 黒崎市民ギャラリー 穴生学舎1階ホール	実用書道・絵画入門・写真入門コースの学習成果の 発表 出点数 計101点

ク 周望学舎・穴生学舎合同作品展

月 日	人員・会場	内 容
H28. 2. 16 ～ H28. 2. 22	113人 ウェルとばた 交流プラザ	周望学舎の写真入門コース・写真研究クラブ、穴 生学舎写真入門コース、絵画入門コースの学習成 果の発表 出点数 計113点

ケ シニアと孫の夏休み in 穴生学舎

月 日	人員・会場	内 容
H28. 8. 7	14組・30人 穴生学舎	クッキング（昼食作り）、ニュースポーツ

コ 高齢者支援事業

実施回数	人員・会場	内 容
22 回	延べ 1,583 人 穴生学舎	ボランティアによる地域の一人暮らし高齢者とのふれあい交流活動「ふれあいいきいきサロン」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・サロン実施回数 : 22 回（月 2 回実施） ・サロン参加者 : 延べ 938 人 ・運営、協力ボランティア : 延べ 645 人

サ 地域、世代間交流・子育て支援事業

会 場	人 員	内 容
穴生学舎及び 穴生ドーム	3,830 人	<ul style="list-style-type: none"> ・文化伝承ボランティアによる昔遊びの指導 10 人、こじか幼稚園児 68 人、萩原小学校児童 63 人、引野小学校児童 60 人 ・クッキングボランティアとの穴生児童館児童とのふれあい交流 52 人 ・文化伝承コース研修生による昔の遊びやレクリエーションを通じての世代間交流 30 人 緑ヶ丘第二幼稚園児 30 人 ・ドームフェスタ及び大学祭における文化伝承ボランティアや研修生による昔遊び、トランポリン、キッズコーナー（ブーメラン、紙鉄砲、折紙等）の実施 ドームフェスタ 1,450 人 大学祭(研修コース催事) 2,067 人

シ 校外授業「シニアサマーカレッジ・シニアカレッジ」

実施回数	会 場	入学者数	参加人員(延べ)	内 容
9 回	九州共立大学	51 人	407 人	<ul style="list-style-type: none"> ・歩いて、走って、元気よく！～ロコモ予防と健康づくり～ ・久留米と競馬記念レース～久留米藩と藩主・有馬家～ 等
10 回	九州国際大学	42 人	344 人	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル社会を生き抜く複眼的視点 ・9. 11 同時多発テロと 11. 13 パリ同時テロからこれからのグローバル社会を考える 等

ス 一日体験講座

月 日	人員・会場	内 容
H27. 12. 10	39人 穴生学舎	①テーマ：60歳から始めたい健康と体力づくり 講 師：九州共立大学 准教授 篠原 純司 ②テーマ：戦国・女城主（乱世に咲いたあだ花） 講 師：自由ヶ丘高校 教諭 三浦 明彦
H28. 1. 15	26人 穴生学舎	①テーマ：アメリカ ウォッチング～Past&Present～ 講 師：九州共立大学 教授 行時 潔 ②テーマ：暮らしに役立つ東洋医学 講 師：皇法健康所 所長 平井 将弘

セ 広報紙の発行

名 称	発行部数(1回)	発行回数
穴生学舎新聞	2,000部	・A4版8ページ1回発行
かわら版	各500部	・A4版4ページ3回発行

ソ 資料の発行

資 料 名	発行部数	発 行 日
学舎案内	650部	平成27年4月10日
研修生募集要項	6,500部	平成28年2月1日
薫風(穴生学舎修了記念文集)	465部	平成28年2月22日

タ 地域開放事業

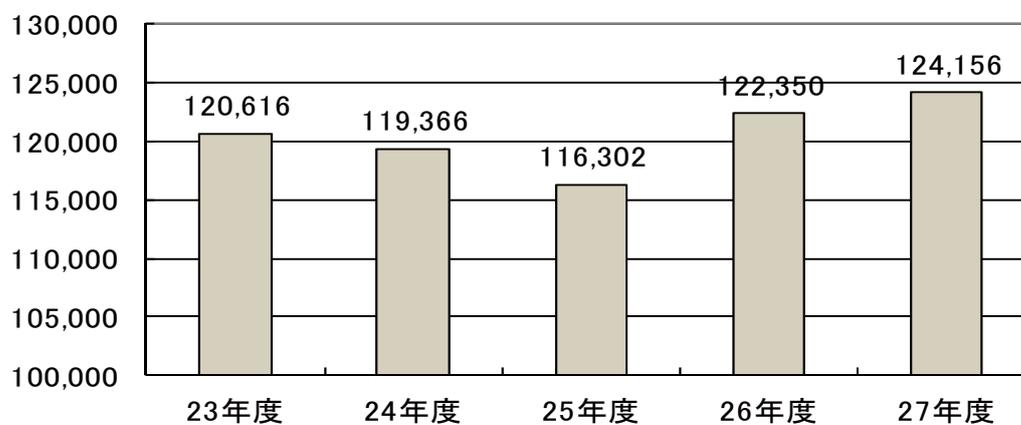
実施回数	使用回数	使用人員	備 考
図書の貸し出し	開館日数 166日 貸出冊数 508冊	貸出人数 350人 図書館利用者 1,534人	・研修生及び一般市民
大会議室	50回	2,236人	・研修コース、各種委員会 ・八幡西区老人クラブ連合会 ・北九州市グラウンドゴルフ協会 ・八幡西区役所保健福祉課等
A B会議室	89回	2,523人	・ふれあいいきいきサロン ・VO・同好会等連絡会議等
調理室	26回	766人	・クッキングボランティア ・周望学舎 ・研修コース ・紙すきの会等
和 室	6回	41人	・手話ソングボランティアかえで等
ボランティアルーム 交流サロン他	64回	678人	・夢追塾同窓会 ・C. L. V. 等
その他	54回	1,817人	・修了記念作品展等
計	455回	9,595人	

チ 各種会議

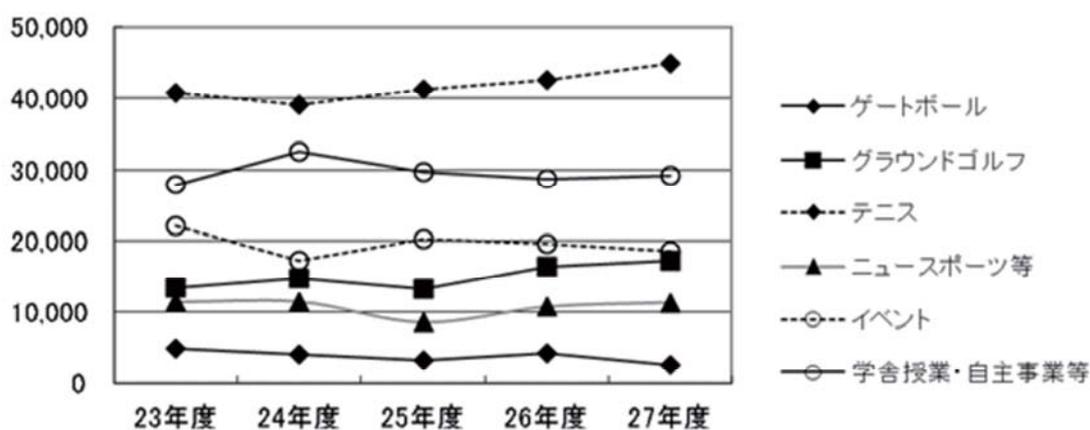
会議名	回数	人員 (延べ)	備考
コース委員長会議	3回	44人	—
スポーツ大会実行委員会	5回	138人	—
大学祭実行委員会	5回	122人	—
修学旅行実行委員会	5回	129人	—
新聞編集委員会	10回	144人	—
ボランティア・研究クラブ 連絡会議	4回	86人	年間使用に関する事項及び各種行事の連絡会議
ボランティアグループ 連絡協議会	2回	48人	ボランティアグループ相互の意見交換
研究クラブ連絡会議	1回	6人	研究クラブ相互の意見交換

[穴生ドーム]

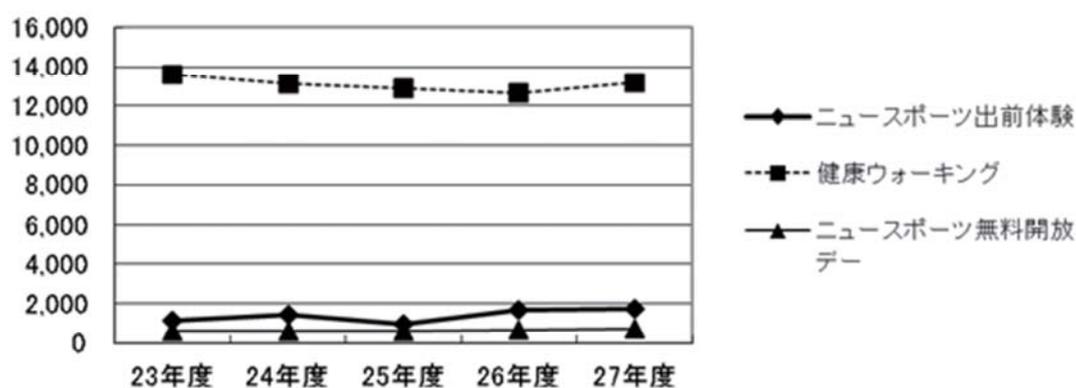
(1) 穴生ドーム年間利用者の推移



(2) 穴生ドーム目的別利用者の推移



(3) 穴生ドーム自主事業参加者の推移



(4) 穴生ドーム利用状況

区分		年間利用人員 (人)	1日平均 (人)	比率 (%)
① 早朝 利用	ゲートボール	0	0	0
	グラウンドゴルフ	3,034	9	26.5
	テニス	6,657	19	58.1
	ニュースポーツ	1,775	5	15.5
② 個人 利用	ゲートボール	17	0	0.1
	グラウンドゴルフ	1,484	4	7.4
	テニス	18,645	53	92.4
	ニュースポーツ	30	0	0.1
③ 専用 利用	ゲートボール	2,656	8	4.2
	グラウンドゴルフ	12,814	36	20.2
	テニス	19,679	56	31.1
	ニュースポーツ	9,509	27	15.0
	イベント	18,667	53	29.5

④ 周望・穴生学舎体育授業	3,646	10	2.9
⑤ 昼休利用	0	0	0.0
⑥ 自主事業	11,009	31	8.9
⑦ 屋外コート	1,359	4	1.1
⑧ ウォーキング	13,175	37	10.6
合 計	124,156	351	100.0
開館日数	354		

*種目別利用者人員

項目	年間利用人員 (人)	一日平均 (人)	比率 (%)
ゲートボール	2,673	7.6	2.2
グラウンドゴルフ	17,332	49.0	14.0
テニス	44,981	127.1	36.2
ニュースポーツ	11,314	32.0	9.1
イベント	18,667	52.7	15.0
屋外・体育授業・その他	29,189	82.5	23.5

(5) 穴生ドームテニス教室 (初級)

回数	人 数	内 容
10	327 人	ラケットに慣れる、ボールのバウンドに慣れる、フットワークを覚える、打点の位置を覚える等

(6) 穴生ドームテニス教室 (中級)

回数	人 数	内 容
5	155 人	クロス・ストレート打ち、サーブ・スマッシュ打ち、サーブからラリー、ラリー練習からのダブルスゲーム、ダブルスゲーム

(7) 穴生ドーム高齢者の健康づくり事業

ア 穴生ドーム主催イベント及び大会

回数	人 数	内 容
4	7,748 人	穴生ドーム杯グラウンドゴルフ交歓大会、テニス交歓大会、穴生ドームフェスタ、ビーチボール交歓大会

イ ニュースポーツの振興に伴う高齢者のスポーツ大会

回数	人 数	内 容
2	403 人	第 28・29 回クラブ間交流スポーツ大会

ウ 郊外ウォーキング

回数	人数	内容
1	33人	風師山ハイキング

エ ニュースポーツ出前体験

回数	人数	内容
73	1,760人	出前講演方式によりニュースポーツを体験していただき、健康づくりを勧める。

オ 健康ウォーキング

回数	人数	内容
339	13,175人	ドームの2階通路を無料開放し、安全かつ自分のペースで気軽に取り組める運動であるウォーキングを行う機会を提供。生活習慣病の予防に取り組んでいただく。

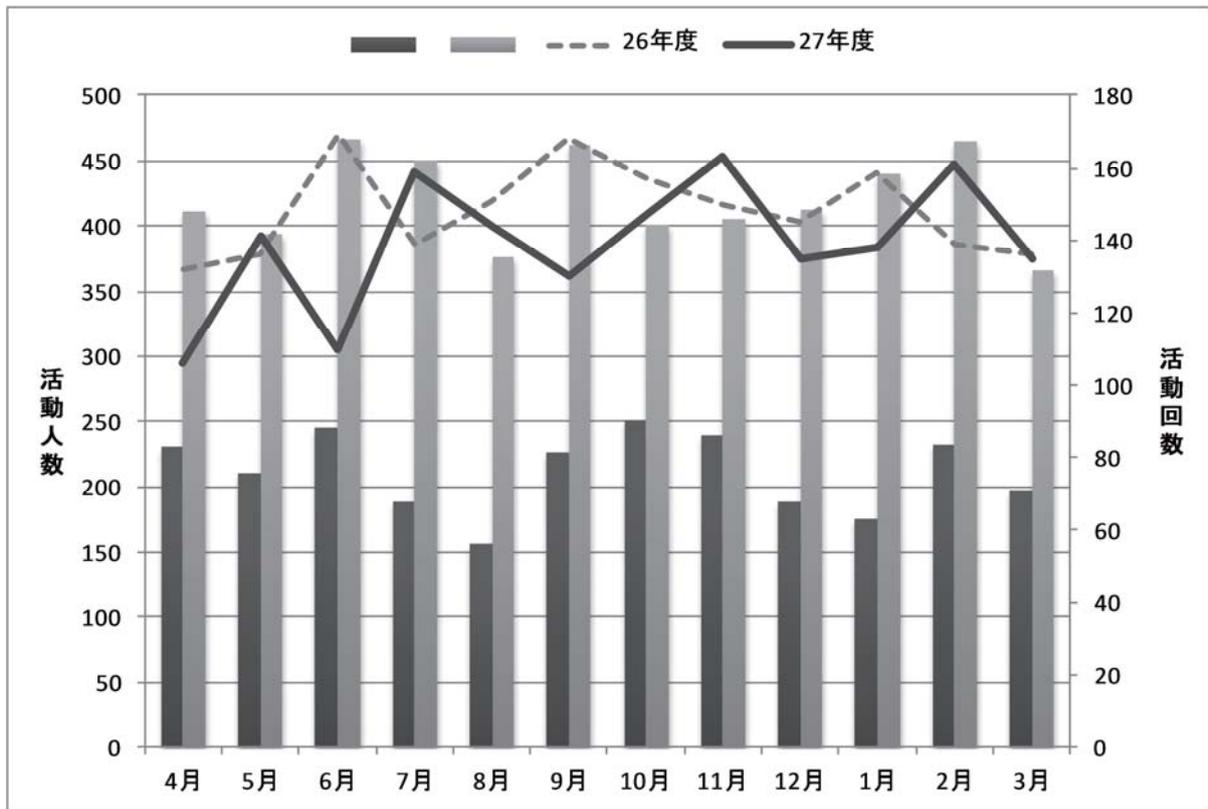
カ ニュースポーツ無料開放デー

回数	人数	内容
12	706人	ドームを無料開放し、市民の方々に気軽に身体を動かせる機会を提供。ニュースポーツの体験を通じて、健康・体力づくりや世代間交流・仲間づくりに取り組む。

3 地域活動情報支援センター

(1) 年長者研修大学校穴生学舎ボランティアグループ活動報告

	活動者数(延べ)	男	女	活動回数	
				平成26年度	平成27年度
4月	641	230	411	132	106
5月	604	211	393	136	141
6月	711	245	466	169	110
7月	639	189	450	139	159
8月	533	157	376	151	144
9月	688	226	462	168	130
10月	652	251	401	157	147
11月	645	239	406	150	163
12月	601	189	412	145	135
1月	615	175	440	159	138
2月	697	232	465	139	161
3月	563	197	366	136	135
年間合計	7,589	2,541	5,048	1,781	1,669



(2) 地域活動情報支援センター コーディネート状況

コーディネート内容	件数	備考
ボランティア活動体験受け入れ先に関すること (周望学舎・穴生学舎)	6	特養老人ホーム好日苑、NPO法人列島会、パレス穴生、年長者の里白銀、ケアハウスあいおい等の施設で活動体験を行う。
ボランティアについて (穴生学舎講義)	7	研修コースでの穴生学舎ボランティアグループに関する説明など。
関係機関からの相談・依頼 関係機関への相談・依頼	7	市ボランティア・市民活動センターや各区ボランティア・市民活動センターからのボランティアグループに関する問い合わせ・活動依頼。
市内学校・市民センター、外部施設・団体からのボランティア相談・依頼	5	八幡南図書館、八幡西区萩原小学校学童保育クラブ、若松区青葉学童保育クラブ、黒崎よさこい祭り実行委員会、三六まちづくり協議会からの相談・依頼。
ボランティアグループへの活動依頼	20	市内高齢者施設、正和なみき病院等からの相談・依頼。
ボランティアグループからの活動相談	10	助成金・体験教室についての相談。風船バレーボール会員募集事務。
ボランティアグループ以外からの依頼	6	穴生学舎写真クラブ・絵画クラブ、外部施設の作品展の日程調整。研究クラブ会議の日程調整。

研修生・修了生・OB会からの相談	5	花ボランティア、パソコンボランティア、図書ボランティアへの入会相談。ボランティア活動先の相談。
一般の方からの相談	14	ボランティアグループについての相談、見学希望等。
講座・研修・地域開放事業等の開催	25	男性料理講座、ロビーコンサート、シニアと孫の夏休み、マジック入門講座、図書室での読み聞かせ・朗読の会、ハンドベル体験教室。
ボランティアフェスタ in 八幡西 (実行委員会・企画委員会)	10	参加ボランティアの依頼、各会議への参加、開催スタッフ、PR出演依頼、出店依頼等。
取材、原稿依頼等の広報活動	5	J-COM取材、八幡西ふるさと新聞の原稿依頼。
ふれあいいきいきサロンに関すること	62	ふれあいいきいきサロンの資料・名簿作成、昼食会への参加。保健師等の依頼。産業医大での代表者講義に同行。穴生児童館との交流における日程等の調整。
ボランティア活動や打ち合わせに同行	4	ボランティア活動体験・ボランティア活動に同行、現状把握。
穴生学舎ボランティアグループ 連絡協議会	10	ボランティアグループ連絡協議会開催に関する事務及び日程調整、登録申請に関すること。図書ボランティア定例会議同席。
年長者研修大学校研修生 募集について	24	業者へ入学案内・ポスターのデザイン・見積もり依頼、新聞広告業者への見積もり依頼。市社協・各区社協・市民センター等への入学案内の配布。
修了生アンケートについて	5	返信用封筒の印刷依頼、郵便局への料金後納の手続き。
夢追塾同窓会活動について	222	会議室の予約・調整。次年度の会議室予約。
合 計 件 数	447	

◇常設委員会

1 生活福祉資金調査委員会：申請なしにより開催なし

2 民間社会福祉施設整備資金貸付審査委員会：開催なし

3 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会

実施日	人員・会場	内 容
H27. 12. 17	8人 ウエルとばた	1 平成 26 年度事業報告 2 平成 28 年度事業計画（案） 3 任期満了に伴う運営委員会委員の推薦について

4 ボランティア・市民活動センター運営委員会

実施日	人員・会場	内 容
H27. 5. 29	18人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度の運営委員会の取り組みについて ・正・副委員長の選任について ・平成 26 年度ボランティア・市民活動センター事業報告について ・平成 28 年度事業方針策定にかかる意見聴取について ・地域福祉活動支援事業（地域福祉研修活動助成）について
H27. 8. 6	19人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度事業方針策定における運営委員意見について ・平成 27 年度地域福祉活動支援事業（地域福祉研修活動助成）について ・研修専門委員会の報告について
H28. 3. 10	14人 ウエルとばた	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度地域福祉活動支援事業（地域福祉研修活動助成）助成結果について ・平成 28 年度ボランティア・市民活動センター事業（案）について

5 北九州シニアネットワークアカデミー運営・改善委員会

実施日	人員・会場	内 容
H27. 7. 9	17人 穴生学舎	<ol style="list-style-type: none"> 1 委員・事務局等の紹介 2 年長者研修大学校周望学舎の視察 3 年長者研修大学校等の概要について 4 北九州シニアネットワークアカデミーの運営について 5 その他
H28. 2. 18	16人 ウエルとばた	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成 28 年度年長者研修大学校研修生募集（案内）について 2 平成 28 年度の重点的取組みについて 3 その他 4 周望学舎・穴生学舎合同作品展視察

6 総合企画委員会

回	実施日	人員・会場	内 容
第1回	H27. 6. 26	18人 ウェルとばた	1 正副委員長の選任について 2 平成27年度総合企画委員会の取り組みについて 3 北九州市地域福祉活動第四次計画（平成26年度）の点検・評価について 4 （仮称）北九州市地域福祉活動第五次計画について
第2回	H27. 10. 30	16人 ウェルとばた	1 （仮称）北九州市地域福祉活動第五次計画素案について
第3回	H28. 2. 15	16人 ウェルとばた	1 （仮称）北九州市地域福祉活動第五次計画（最終案） - 住民ふくしの元気プラン 2026～2020 - について 2 地域福祉活動第五次計画の広報・周知について 3 平成28年度主な取り組みについて

7 権利擁護・市民後見センター 監視委員会

月 日	人員会場	内 容
H27. 4. 27	21 戸 畑	<ul style="list-style-type: none"> ・正副委員長の選任について ・監査員の選任について ・平成27年度事業計画について ・法人後見事業新規受任者の進捗状況について（3人） ・地域福祉権利擁護事業新規審査ケースの進捗状況について（15人）
H27. 7. 27	21 戸 畑	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度事業報告について ・平成26年度監査について ・法人後見事業新規受任者の進捗状況について（2人） ・地域福祉権利擁護事業新規審査ケース進捗状況について（16人） ・地域福祉権利擁護事業新規契約者の進捗状況について（1人）
H27. 10. 26	20 戸 畑	<ul style="list-style-type: none"> ・対応困難案件について（1人） ・法人後見事業新規受任者の進捗状況について（4人） ・地域福祉権利擁護事業新規審査ケースの進捗状況について（11人）
H28. 2. 8	20 戸 畑	<ul style="list-style-type: none"> ・対応困難案件について（1人） ・法人後見事業新規受任者の進捗状況について（1人） ・地域福祉権利擁護事業新規審査ケースの進捗状況について（19人）

8 権利擁護・市民後見センター 運用委員会

月 日	会場人員	内 容
H26. 4. 15	10 戸 畑	<ul style="list-style-type: none"> ・法人後見事業受任審査人数 1人 ・正副委員長の選任について ・地域福祉権利擁護事業の契約状況について ・法人後見事業の受任状況について ・今後の日程について
H26. 5. 20	12 戸 畑	<ul style="list-style-type: none"> ・法人後見事業受任審査人数 1人 ・今後の日程について

H26. 6. 4	10 戸 畑	・法人後見受任審査人数 1人
H26. 7. 2	10 戸 畑	・法人後見受任審査人数 1人
H26. 11. 5	9 戸 畑	・法人後見受任審査人数 1人 ・法人後見事業受任状況について
H26. 12. 16	10 戸 畑	・葬祭執行に際しての相続人との連絡調整について
H27. 2. 17	8 戸 畑	・法人後見受任審査人数 2人
H27. 3. 16	11 戸 畑	・法人後見受任審査人数 3人
計 8 回		法人後見受任審査人数 11人 内訳 ・認知症高齢者 6人（後見4人、保佐1人、補助1人） ・知的障害者 3人（後見3人、保佐0人、補助0人） ・精神障害者 2人（後見2人、保佐0人、補助0人）

9 表彰審査委員会

実施日	人員・会場	内 容
H27. 10. 22	7人 ウェルとばた	1 平成 27 年度表彰記念式典について 2 委員長の選任について 3 被表彰候補者の審査・答申について

